

第五十九回帝國議會
衆議院

蠶絲業組合法案外一件委員會會議錄(速)第三回

付託議案

蠶絲業組合法案(政府提出)
蠶絲業法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和六年三月十六日(月曜日)午前十時
三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小山邦太郎君

理事 下元鹿之助君

理事 高橋 欽哉君

理事 高橋 守平君

理事 青木 精一君

理事 橫川 重次君

山枏 儀重君 菅村 太事君

海老澤爲次郎君 加藤 知正君

木村 清治君 永田 良吉君

林 七六君 中野 猛雄君

鷺野米太郎君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 町田 忠治君

出席政府委員左ノ如シ

農林參與官 山田 道兄君

農林省蠶絲局長 小平 權一君

農林書記官 田淵 敬治君

農林書記官 井野 碩哉君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

蠶絲業組合法案(政府提出)

蠶絲業法中改正法律案(政府提出)

○小山委員長 ソレデハ會議ヲ開キマ

ス、一昨日ノ木村サンノ御質問ニ對シ

第五類第三十三號

蠶絲業組合法案(政府提出)外一件委員會會議錄

第三回

昭和六年三月十六日

一

マシテ、大臣ヨリ御答ヲ致スベキ筈デ
アリマスガ、只今貴族院ノ方ニ行ッテ
居リマスノデ、大臣御出席ノ上御答ヲ
致スコト、シテ、木村サンヘノ答辯ハ
保留致シタイト思ヒマス、此際永田良
吉サンニ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス
○永田委員 委員長ノ御注意モアリマ
シタカラ、私ハ極ク結論カラ簡單ニ申
上ゲタイト思ヒマス、他ノ議員ノ御方
カラ、先日來乾繭組合ヲ何故入レナイ
カト云フ質問ガアッタノデアリマスガ、
私モ斯様ナル疑問ト、希望ヲ抱イテ居
ルノデアリマス、養蠶家ノ立場トシテ、
ドウシテモ乾繭組合ヲ入レテ戴キマセ
スト云フト、甚ダ工合ガ惡イノデアリ
マス、吾々ハ鹿兒島縣ノ田舎ノ者デア
リマスガ、繭ノ販賣ニ苦ンデ、自ラ率
先シテ乾繭ノ組合モ作ッタノデアリマ
スガ、是ハ主トシテ吾々ノ地方ノ養蠶
組合員ガ、此乾繭組合ニ同ジ人ガ入ッ
テ居ルノデアリマスカラ、是非共是ハ
加入ヲ切ニ御願ヒスル次第デアリマス
ガ、此事モ前ノ議員ノ質問ト同ジ事デ
アリマス、之ニ對スル御決心ヲ重ネテ
又御願ヒスル次第デアリマス、次ニ私
ハ繭・蠶・絲業ノ初カラ終リマデ、聯
關シテ一貫シテ仕事ノ經營ヲヤッテ居
ル會社ガアルノデアリマス、是ハ近キ
一例ヲ申シマスルト云フト、私ノ大隅
ニハ、鐘紡系統ノ昭和蠶業會社ガ、現
在二千町歩ノ畑地ヲ買ッテ、之ニ桑ヲ
植エテ養蠶ヲヤル、サウシテ繭ヲ造ッ
テ、其繭ヲ自ラ生絲ニシテ、將來之ヲ
絹織物ニシテ外國ニマデ出ス、繭・蠶・
絲業ノ、初カラ終リマデ一貫シテヤル
ト云フ系統ノ會社ハ、如何ナル取扱ヲ
爲サルノデアリマスカ、斯ウ云フ會社
ハ、養蠶ノ初カラ終マデヤルノデアリ
マスカラ、左様ナルモノハ今回ノ組合
法ニ、養蠶組合トシテモ加入センケレ
バナラヌシ、又製絲ノ方トカ、或ハ色
色ノ組合ニ加入スル場合、一方デハ負
擔モ大分掛リマスシ、向フノ方デハ之
ニ加入スルコトガ困リハセヌカト思ッ
テ居リマス、或ハ拒ムヤウナ傾向ガア
リハセヌカト私ハ察シテ居リマス、殊
ニ二千町歩モ桑園ヲ持ッテ居リマス、
一村或ハ一郡、場合ニ依ルト一縣ヲモ
壓倒スルヤウナ力ヲ持ッテ居ルノデア
リマスカラ、是等ニ對スル御意見モ、
此際御尋ネシテ置キタイト思フノデア
リマス、次ニ此負擔ノ關係デアリマス
ガ、私ハ之ニ付テ少シ心配ヲ致シテ居
ルノデアリマス、現在吾々ノ地方ノ養
蠶組合ニ於キマシテハ、先進地ノ組合
ハ左様ナコトハナイカモ知レマセヌ
ガ、マダ幼稚ノ吾々ノ地方デハ、現在
養蠶組合ガ、村農會ト手ヲ握ッテ、或ル
所デハ養蠶組合長ハ經費多端ノ際ニ廢
シテ、農會長ニ之ヲ兼務サシテ居ル所
ガアルノデアリマス、ソレガ此際獨立
シマス、色々養蠶組合ノ方デ金モ掛
リマス、詰リ農家ト養蠶家ガ同ジ人デ
アル關係カラ、養蠶組合ヲ別ニ起シマ
スト、相當ソレニ負擔ガ加重シテ參リ
マス、是ガ斯ウ云フ農村疲弊ノ際ニ、
宜カラウト思ッテヤッタコトガ、或ル意
味ニ於テハ不平ガ起ルヤウナ心配ガア
リハシナイカ、此點ニ付キマシテ、政
府ニ於テハ從來養蠶業ノ獎勵等ノ補助
ヲ相當ニヤッテイラシヤルケレドモ、
私ハ斯ウ云フ新ナル組合ヲ起シ、養蠶
業ノ一大作振ヲサレルニハ、ヤハリ補
助獎勵費ノ如キハ、直接町村ニ出來ナ
イナラバ、縣ノ各種ノ團體等ニ獎勵補
助ヲヤッテ、間接ニ是等ノ助成ヲシテ戴
クト云フヤウナ御工風ハナカッタモノ
デアルカ、是ガ私ハ非常ニ疑問ニ思ッ
テ居ル點デアリマス、是等ニ對スル當
局ノ御意見ヲ御尋致シマス

次ニ先日カラ私ハ度々御願シテ居ル
ノデアリマスガ、當局ノ御考ハ、農林
省ト商工省トノ省ノ關係デカ知レマセ
ヌケレドモ、要スルニ私ハ、養蠶業ノ
最後ノ目的ハ、養蠶ヤ製絲デ終ルベキ
デハナイ、サウシテ之ヲ米國ニ輸出ス
レバ事足レリト信ズルノハ誤デアツテ、
ヤハリ將來ハ絹織物ニシテ大部分ハ輸
出スルト云フ所マデ、我國ノ養蠶業ハ
進ムベキモノデアルト云フコトヲ私ハ
深ク信ジテ居リマス、此點カラ養蠶業
ノ今回ノ組合法ニ對シマシテモ、中央
ノ蠶絲會デ、色々ナコトヲ統一シテオ
ヤリニナリマシテ、此組合ノ中ニ生絲
輸出業ノ聯合會モアルノデアリマス
カ、是ハ何トカ官制ヲ一部改正スル
カ、或ハ所管ノ變更替ヲ爲スカシテ、
絹織物ノ業者モ之ニ加入スル、或ハ絹
布ヲ賣買スル問屋等モ之ニ加入シマシ
テ、若シソレガ出來ナイナラバ、中央
蠶絲會ノ所ニ新ニ、絹織物ニ關スル所
ノ關係者モ之ヲ統一綜合シテ、終始一
貫是ガ獎勵ノ方法ヲ統一シテヤツテ戴
ク當局ノ御意向ハナイモノデアリマス
カ、私ハ切ニ此事ヲ平生カラ主張シ、
希望シテ已マヌ次第デアリマス、此點
ニ付キマシテ一應御尋シテ置キマス
ソレカラ特別議員ト云フモノガ、中
央蠶絲會ニ見エテ居リマス、是ハ生絲
問屋聯合會トカ、生絲輸出業ノ組合聯

合會ガナイ場合ト云フコトガ、註ニ言ッ
テ居リマスガ、此特別議員ニ選任セラ
レル方ハ、ドウ云フ方ヲナサルノデア
リマスカ、之ニ付テ一應ノ御尋ヲ致シ
テ置キマス
○小平政府委員 永田委員ノ御質問ニ
御答致シマスガ、乾繭組合何故入レ
ナカッタカト云フコトニ付テハ、此前色
色議論ガ出マシタガ、乾繭組合ノ中ノ養
蠶業組合デ經營スルモノハ、一昨日モ申
シマシタ通りニ、任意加入ノ形デ、郡ノ
公法人タル養蠶業組合ニ加入シテ、養
蠶業組合ノ繭ノ共同販賣ノ統制ノ仕事
ニ加ツテ、一緒ニ養蠶業者ノ繭ノ販賣ヲ
統制スルト云フ考方デ、此案ヲ建テマ
シタ譯デアリマス、ソレカラ乾繭組合
ノ問題ニ付キマシテハ、此案ヲ立案シ
モ、非常ニ苦心シマシタノデアリマス
ガ、郡市區域ノ養蠶業組合、其他總テ
此法律デ認メマス蠶絲業組合ハ、公法
人ニナツテ居リマシテ、總テ統制方面ヲ
主トシテ考ヘテ居リマシテ、經濟行爲
ハ考ヘテ居リマセヌ關係上、乾繭組合
ノ問題ニ付テハ、非常ニ苦心シタノデ
アリマス、其結果此案ニ現ハレテ居ル
ヤウナ形ニナツタノデアリマシテ、若シ
乾繭ノ設備ヲ持ツテ居ルモノガ、總テ強
制加入ト云フヤウナコトニナツテ來マ
スト、養蠶業組合ノミナラズ、色々ナ

方面ノ乾繭設備ヲ持ツテ居ルモノガ、強
制加入セシメラレルヤウナ事情ニナリ
マス、ソレカラ今ハ補助ガアリマスケ
レドモ、補助ト云フモノモ、ホンノ農
林省ノ補助ヲ貰フ心得ノヤウナ形デ、
農林省ノ規定ガ出來テ居リマスノデ、
補助ノ條件ト云フノデ、強制加入ト云
フコトモ是ハ法制上殆ト出來ナイコト
デアリマシテ、若シ乾繭販賣ト云フコ
トデ押ヘテ來マスト、乾繭業者全部強
制加入ニナラナケレバナラヌト云フヤ
ウナコトニ、法制上カラハナル譯デア
リマシテ、色々考慮シマシテ、乾繭ノ
組合ガマダ數ガ多クアリマセヌシ、色
色ナ關係デ、取敢ヘズ任意加入ニシテ
目的ヲ達スルヤウニシタイト云フコト
ニ考ヘタ譯デアリマス、勿論乾繭組合
ヲ獎勵シテ、乾繭取引ヲ理想トシテ、
生繭ノ取引ヲ止メサシテ、乾繭取引ニ
スルト云フコトハ、日本ノ蠶絲業上非
常ニ重要ナコトデアリマシテ、農林省
デモ其方針デ進ンデ來テ居ル譯デアリ
マス、將來乾繭組合ノ問題ニ付テ、特
別ニ法制上考慮スル時期ハ勿論アルト
思フノデアリマスガ、此案ヲ立テル今
ノ時ニ於テ、之ヲ一ツノ強制加入ノ別
ノ團體ニスルト云フコトハ、甚ダ困難
ナ事情ガアリマシテ、斯ウ云フ案ニナ
ッタ譯デアリマス、ソレカラシテ養蠶
ヲ行ヒ、絹織物マデモ行フト云フ、サ

ウ云フ業者ニ付テハ、ドウ云フ扱ニナ
ルカト云フ御話デアリマス、是モ私ノ
方デ案ヲ立テル時ニハ、色々考慮シタ
ノデアリマスガ、養蠶ノ方ハ、養蠶實
行組合ト云フ任意組合ヲ組織シタモノ
ガ強制加入ニナル譯デアリマスカラ、
養蠶製絲絹織物マデヤツテ居ル業者ハ、
養蠶ノ方ニ付テハ養蠶實行組合ニ任意
加入スルカ入ラヌカノ問題ニナツテ居リ
マス、隨テ其地方ニ於テ、養蠶實行組
合ニ入ツテ、一種ノ共同作業ヲヤル必
要ガアル場合ニハ、成ダケ入ツテ戴ク
コトガ宜イノデアリマスガ、若シ實行
組合ヲ組織スルコトガ其必要ガナイ場
合ニハ、ヤハリ實行組合ハ任意加入デ
アリマスカラ、養蠶ノ方面ハ自由ノ立
場ニナリ得ルカト思フノデアリマス、
併シ製絲ヲシ、其絲ヲ輸出スルト云フ
コトニナリマスレバ、製絲業組合ニ入
ルト同時ニ、輸出組合ニモ入ルト云フ
形ニナル譯デアリマス、是ハ現在ニ於
キマシテモ、大キナ製絲業者ハ自ラ絲
ヲ營業ノ目的ノ爲ニ輸出シテ居リマ
ス、サウ云フノハヤハリ輸出關係ノ組
合ニ連絡ヲ取ツテ居ルノデアリマス
カ、製絲業ヲ營ミ、且ツ輸出業モ行フ
ト云フ場合ニ於テハ、製絲ノ組合ト輸
出ノ方ノ組合ト兩方ニ關係シテ、兩方
ニ入ルコトニナルカト思フノデアリマ
ス、併シ織物ノ方ハ、此統制ノ組織ニ

問屋聯合會トカ、生絲輸出業ノ組合聯
合會ガナイ場合ト云フコトガ、註ニ言ッ
テ居リマスガ、此特別議員ニ選任セラ
レル方ハ、ドウ云フ方ヲナサルノデア
リマスカ、之ニ付テ一應ノ御尋ヲ致シ
テ置キマス
○小平政府委員 永田委員ノ御質問ニ
御答致シマスガ、乾繭組合何故入レ
ナカッタカト云フコトニ付テハ、此前色
色議論ガ出マシタガ、乾繭組合ノ中ノ養
蠶業組合デ經營スルモノハ、一昨日モ申
シマシタ通りニ、任意加入ノ形デ、郡ノ
公法人タル養蠶業組合ニ加入シテ、養
蠶業組合ノ繭ノ共同販賣ノ統制ノ仕事
ニ加ツテ、一緒ニ養蠶業者ノ繭ノ販賣ヲ
統制スルト云フ考方デ、此案ヲ建テマ
シタ譯デアリマス、ソレカラ乾繭組合
ノ問題ニ付キマシテハ、此案ヲ立案シ
モ、非常ニ苦心シマシタノデアリマス
ガ、郡市區域ノ養蠶業組合、其他總テ
此法律デ認メマス蠶絲業組合ハ、公法
人ニナツテ居リマシテ、總テ統制方面ヲ
主トシテ考ヘテ居リマシテ、經濟行爲
ハ考ヘテ居リマセヌ關係上、乾繭組合
ノ問題ニ付テハ、非常ニ苦心シタノデ
アリマス、其結果此案ニ現ハレテ居ル
ヤウナ形ニナツタノデアリマシテ、若シ
乾繭ノ設備ヲ持ツテ居ルモノガ、總テ強
制加入ト云フヤウナコトニナツテ來マ
スト、養蠶業組合ノミナラズ、色々ナ

於テハ關係ガナクナッテ居リマスカラ、出來ルダケサウ云フ方面ハ負擔ヲ輕減出來ルヤウニ、各地方デ協調ヲ保ッテ行カシタイト思ッテ居リマス、隨テ農會ノ方トノ關係ニナリマスガ、農會ノ方モ、任意ニ蠶絲組合ニ加入シテ、共ニ俱ニ手ヲ取ッテ協調シテ行クヤウニ案ハ出來テ居リマスカラ、兼務ノ關係ガアレバ、ヤハリ其儘兼務ノ關係デ指導獎勵スレバ、十分目的ハ達シ得ルカト思フノデアリマス、サウ云フ關係ハ、此制度ガ出來タ爲ニ、今マデノ關係ヲ破ラナケレバナラヌト云フコトニハナラナイカト思フノデアリマス、出來ルダケ各部落ニ於テハ、法制上其他種々ノ關係上別ノモノニ形ハ現レマスケレドモ、兼務シテ行ケバ、目的ガ尙ホ協調ヲ保ッテ、十分達セラレルト思フノデアリマス

ソレカラ次ノ絹織物トノ關係デアリマスガ、絹織物業者ノ團體ヲ、此團體ニ取入レルト云フコトハ、絹織物業者ノ範圍ガ非常ニ明確ヲ缺イテ居リマシテ、此統制團體ニ今直チニ入レルト云フコトハ非常ニ困難ナ事情ガアリマシテ、農林省トシテハ所管外デアリマシケレバナラヌノデアリマスケレドモ、從來蠶絲業關係ノ團體統制ニハ、絹織物業者ハ入レテ居ラナイ關係モアリマスシ、絹織物ト云フコトニナリマス、非常ニ範圍ガ廣クナリマシテ、統制上却ッテ效果ガ現ハレナイ點アリマシテ、此點ハ此制度カラ除イテ居ルノデアリマスガ、勿論絹織物ノ關係ヲ十分考慮シナケレバナラヌノデアリマシテ、現在ノ蠶絲同業組合中央會ニ於キマシテモ、日本ノ絹ヲ織物ニシテマデモ海外ニ出サナケレバナラヌトカ、或ハ内地ニ於テモ絹ヲ色々ナ織物ニ多ク使フ方面ニ開拓シテ行カナケレバナラヌト云フノデ、中央會デハ絹織物ノ關係業者ヲ集メテ、懸賞募集ヲシタリ、研究モシテ居リマス、ソレ等絹織物關係ノ專門ノ技術者ヲ囑託シマシテ、色々ヤッテ居ルヤウナ次第デアリマスガ、團體トシテ之ニ取入レコトハ非常ニ困難ノ實情ニアルカト思フノデアリマス

ソレカラ特別議員ノ御話ガアリマシタガ、特別議員トシテ絹織物業關係者ヲ入レルト云フコトハ十分考慮シタイト思フノデアリマス、現在デモ蠶絲中央會ノ特別議員ニハ、商工關係ノ人モ入ッテ居リマシ、商務局長モ特別議員ニ御願シテ居ルヤウナ次第デアリマスガ、此點ハ將來十分特別議員ノ關係デ考慮シタイト思フノデアリマス

ソレカラ特別議員ノ選任ノ御質問デアリマシタガ、特別議員ハ、現在ノ蠶絲業中央會デモ、大體關係業者デナイ、而モ蠶絲業ニ經驗ヲ有スル者ヲ特別議員ニ任命スル方針ニ致シテ居リマス、今後モ此新シイ日本中央蠶絲會ガ出來マシタニ付キマシテモ、特別議員ニハ同業者、詰リ此制度ニ依ッテ組合ヲ組織シテ來ルモノ以外ニ、蠶絲業ニ關係アル經驗アル方々ニ特別議員ヲ御願致シタイト思ッテ居リマス、其例ヲ申上ゲルノハ或ハ早過ギルカト思フノデアリマスガ、或ハ商工會議所關係ノ人トカ、織物業ノ關係ノ人トカ、或ハ蠶絲ノ方ノ學者デアルト云フ方々ニ御願致シテ、公平ナ立場デ日本全體ノ蠶絲業ノ國策ニ公平ナ意見ヲ述ベテ貰フ人々ヲ此方面ニ入レタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○永田委員 乾繭組合ノコトハ能ク分リマシタガ、但シ私ハ多少困難ハアッテモ、此際ヤハリ郡府縣並ニ全國ニ關聯シタ乾繭組合モ是非認メテ戴クヤウニ切望スル次第デアリマス、ソレカラ負擔ノ關係ニ付テ、何等サウ云フ心配ハナイト仰シヤイマシタガ、私ハ地方ノ實狀カラ、多少サウ云フコトモ考ヘテ居ルノデアリマス、無論先進地ノ地方ハ、左様ナコトハナイト考ヘマスケレドモ、吾々關西方面ノマダ幼稚ノ所デハ、現ニ農會長ナドガ、養蠶組合長ヲ町村、郡縣ニ於テ兼務致シテ居ル例ガ多々アルノデアリマス、是ガ別ニ團體ヲ拵ヘマス、或ハ組合長ノ出張旅費

デアルトカ、各種ノ事情ニ依ッテ多少ノ組合費ノ増加ハ免レヌト思ッテ居リマス、其際ニ於テ、ヤハリ最後ノ負擔ヲ背負ハナケレバナラヌノハ、吾々養蠶家デハナイカト思フデアリマス、無論縣ノ方デモ多少補助ナンカシマスケレドモ、ソレ等ハ微々タルモノデ、大體ハ養蠶家が負擔センケレバナラヌコトニナリマスカラ、此點ハ當局ノ御見解ト多少相違ガアルモノト私ハ察シテ居リマス、是等ニ付テハ十分御考慮ヲシテ戴イテ、此次ノ豫算等ニ於キマシテハ、地方府縣ニ對スル獎勵補助金等ノ増加ハ、無論私ハ必要デハナイカト信ジテ居ルノデアリマス

ソレカラ實際ノコトデアリマスカラ申上ゲマスガ、資本金ヲ五百萬圓モ一千萬圓モ、或ハ二千萬圓モ持ッテ居ル大キナ會社ガ、土地ヲ買ッテ養蠶ヲヤル、サウシテ製絲カラ絹織物ノ斡旋マデヤルト云フコトニナリマス、私ノ方ノ村デハ、村内ノ多數ノ養蠶家ヨリモ、其一會社ノ桑園ヤ仕事ガ大キクナッテ居ル例ガアルノデアリマス、サウ云フ際ニ吾々町村ノ簡易法人養蠶實行組合ニ入ッテ貰ヒ、儲テ負擔ノ點ニナリマス、之ヲ如何ニスルカ、或ハ面積割ニスルカ、或ル會社ノ社長一人ヲ代表トシテ入レルカト云フ場合ニ困ルコトガ起リヤセヌカト思ヒマス、尙ホ郡縣ノ

製絲組合等ニ於テモ、或ハ國トノ負擔關係ニ於テモ製絲會社ニ逃ヲ食フヤウナコトガ起リヤセヌカ、是ハ心配ナイモノデセウカ之ヲ伺ヒタイ

○小平政府委員 負擔關係ノ補助ノ御質問デアリマシタガ、養蠶關係ノ共同設備ニ對スル色々ナ補助ガゴザイマスガ、是等ハ將來出來ルダケ養蠶實行組合ヲ通ジテ、補助金ヲ出ス方針ニ致シタイト思フデアリマス、現在モ出來ルダケ養蠶組合ヲ相手ニシテ補助金ヲ出シテ居リマシタガ、任意組合ノ關係デ、補助金ノ監督上非常ニ現在困ッテ居リマス、今後實行組合ガ公法人ニナレバ、補助ヲ出ス點カラハ非常ニ便宜ニナリマスカラ、稚蠶共同飼育トカ、共同桑園設置トカ、夏秋蠶不足ノ爲ノ桑園ノ設置補助費トカ云フヤウナ、總テ補助費ハ相成ベクハ簡易法人タル實行組合ヲ通ジテ出シタイト思ッテ居リマス、從來ハ任意組合ヲ相手ニシテ居リマシタガ、色々ナ點デ不便ヲ感ジテ居リマシタガ、實行組合ニナリマスレバ、餘程今マデヨリモ補助金ヲ出ス點カラ見レバ都合ガ好クナルカト思フノデアリマス、其他低利資金ノ關係ニ於キマシテモ、簡易法人ニナリマスレバ、

今迄ヨリハ一層實行組合ガ中心ニナッテ、サウ云フ補助金ナリ、資金ナリヲ、取り好イ機關ニナルカト思フデアリ

マス、勿論斯ウ云フ簡易團體ニ、出來ルダケ補助金ヲ將來モ増加スル必要ノアルコトハ御尤デアリマス、蠶絲局トシテモ、出來ルダケサウ云フ方面ニ將來努力シタイト思ッテ居リマス、ソレカラシテ尙ホ加入ガ洩レルヤ否ヤト云フ御質問デアリマシタガ、養蠶ノ方ハ實行組合ヲ押ヘテ居リマスカラ、實行組合ガ其地方デ圓滿ニ出來マスレバ強制加入デ、ソレニ全部加入スルコトニナリマスノデ、是ハ實行組合ノ普及ノ如何ニ依ルコトデアリマス、私ノ方トシテハ、出來ルダケ實行組合ヲ養蠶ノ基礎ノ根柢ニシテ、實行組合デ共同作業ヲヤラシテ行クト云フ方針ニシタイト

思フデアリマス、ソレハ實行組合ニ依テ、從來デモ任意組合デヤッテ居ル養蠶業者ノ收益ト、何等共同作業ヲヤラナイ養蠶業者ノ收益ト較ベテ見マス、平均二割位ノ增收ガ統計ニ現レテ居リマス、稚蠶共同飼育トカ、サウ云フ共同作業ヲヤレバ、隨分農家ノ生産費ガ減ッテ來テ、收益ガ増加スルノデアリマスカラ、極力共同作業ヲ勸メテ行ッテ、養蠶組合ガ出來マシテ、或ハ永田委員ノ御意見ノヤウニ、多少經費ガ増スト云フ點ガアリマスレバ、共同作業ノ獎勵ニ依ッテ生産費ヲ減ラシテ、多少増加スル經費ハ負擔出ルヤウニシタイト思ッテ居ルノデアリマス、從來ノ統計デモ

二割——甚ダ不正確ナ統計デアリマスガ、二割位ノ增收ガアルヤウナコトニナッテ來テ居リマスカラ、十分實行組合ヲ獎勵シテ行ケバ、農家ノ經濟ハ從來ヨリモ多少ノ負擔ヲ増シテモ改善出來ルデナカラウカト思フデアリマス、ソレカラシテ製絲業者ノ強制加入ノ點デアリマスガ、現在日本全國ノ三千ノ製絲業者ノ中ニハ、全國ヲ區域トスル隨分大キナ會社ガゴザイマス、サウ云フ大キナ會社デモ、各地方ノ製絲組合ニ當然入ッテ貰フコトニ考ヘテ居リマス、ソレデ從前ノ同業組合トハ違ッテ、公法人デアアル、當然加入ノ組織ニナッテ居リマスカラ其點ハ製絲業組合ナリ、蠶絲業組合ナリハ、出來サヘスレバ加入ノ點ハ法制上心配ナクナルコト、考ヘテ居ル次第デアリマス

○永田委員 只今實行組合ナラ、國庫ノ補助ヲヤッテモ差支ナイト云フ御話デアリマシテ安心致シマシタガ、從來私共ハ地方ニ居ッテ養蠶組合ノ實務ニ携ッテ居ルノデアリマス、其關係カラ申上ゲマスと云フト、國ノ方カラ縣ヲ通ジテ、町村等ノ養蠶組合ニ補助ヲ頂戴スルノハ、漸ク一組合ニ對シテ十圓カ何ボカノ、ホンノ少イ金ニナッテ居リマス、假ニ二萬七千ノ全國ノ養蠶ノ小サイ部落ノ組合ガアルト致シマシテ、十圓トシテ僅カニ二十七萬圓位ノモノデ

アリマス、是デハ眞ニ徹底的ニ此效果
ハ擧ラヌト思ッテ居リマス、之ニハ少ク
トモ百圓内外ハヤッテ戴クコトニシテ
戴キマセヌト云フト、眞ノ效果ハ擧ラ
ヌト信ズルモノデアリマスカラ、現在
僅カニ三十萬圓位、縣ヲ通ジテ日本全
國ニ御獎勵ナスッテ居ルノヲ、斯ウ云フ
機會ニ於キマシテ十倍位、二三百萬圓
ニ御増加アルヤウニ希望スル次第デア
リマスガ、其理由ハ、殊ニ斯ウ云フ藪
ガ下落ヲシマシテ、農村ガ疲弊シテ居
リマス現在ニ於キマシテ、斯ウ云フ組
合法ヲ實施スルニ當リマシテハ、餘程
幼稚ナ養蠶ノ地方デハ困ルト思フノデ
アリマスカラ、特ニ養蠶ノ組合ニ對シ
テ、補助ノ増加ヲ切望シテ已マヌ次第
デアリマス、之ヲ以テ私ノ質問ハ打切
ト致シマス

合ヲ設置致シマシテ、農村ト道府農
會トノ經費ノ支出ナドニ付キマシテ、
所謂農民ニ過重ノ負擔ヲスルヤウナコ
トノ嫌ハナイカ、斯ウ云フヤウナコト
ヲ私モ伺ヒタイト思ッテ居リマシテ、只
今永田サンカラノ御質問ニ付テ政府委
員カラノ御答辯ニ付テ、ソレガハッキリ
シナイヤウニ思ッテ居リマス、ソレハド
シナイヤウナコトニナルカ、其真相ヲ伺
ヒタイ積リデアリマス

○小平政府委員 林委員ノ御質問ノ、
農會ノ方ニ經費ヲ納メテ居ルシ、是ガ
出來レバ此方ニモ經費ヲ納メルコトニ
ナル、經費ノ關係ガドウナルカト云フ
御話デアリマスカラ、何ッテ居リマス
ガ、此養蠶ノ實行組合ハ、現在アル養
蠶組合ヲ其儘認メテ、ソレガ變ッテ行ク
コトニ考ヘテ居リマス、現在ハ任意組
合ノ養蠶組合ハ約二萬七千アリマス
ガ、是ハ非常ナ勢デ増加シテ居リマス、
最近數年間ニ丁度六千組合位増加シテ
居ルト云フヤウナ事情ニナッテ居リマ
ス、ソレカラ其他ニ現在同業組合デ養
蠶組合ノ同業組合ガ百十五六アリマス
ガ、其組合員ガ、約六十萬人ノ養蠶業
者ガ入ッテ居リマス、ソレカラシテ養
蠶、製絲、蠶種屋等ヲ合シテ同業組合
ニ入ッテ居ル養蠶業者ガ三十萬人以上
アリマス、ソレ等ヲ合シテ見マスト云
フト、却テ現在ノヤウニ、重要物產同

業組合法ニ依ル同業組合ニモ養蠶業者
ガ入ラナケレバナラヌシ、ソレカラ又
一方ニハソレデハ目的ガ達セラレナイ
ト云フノデ、任意組合ヲ作り、ソレガ
郡ノ聯合、縣ノ聯合會ヲ作り、中央ニ養
蠶組合、ノ中央聯合會マデモ組織シテ、
而シテ色々ナ經費ヲ使ッテ居リマス、
此任意組合ノ方ハ、現在ハ法制上別
ニ法人ノ組織ニ依ッテ居リマセヌ、
民法ノ普通ノ規定デ律セラレルヤ
ウナ譯デアリマシテ、從テ其任意組
合タル二萬七千ノ養蠶組合ノ意見
ヲ、中央マデ出スト云フ點ニ於テハ
甚ダ不完全デアリマシテ其結果或ハ何
千ト云フ養蠶業者ガ集ッテ、度々大會ヲ
開イテ見タリ、或ハ又サウ云フ利益代
表以外ニ、資金ヲ借リル場合ニ於テモ、
全體ノ公正證書ヲ作成シナケレバナラ
ヌトカ、色々ノ點デ、從來ハ養蠶業者
ガ大部分色々ナ組織ヲシテ居ッテ、其關
係デ可ナリノ經費ヲ使ッタヤウナ譯デ
アリマスガ、今度ハソレガ一切整理サ
レテ、總テ統一シテ、此法制ニ依ッテ團
體ノ組織ガ代ッテ出來ル譯デアリマス
カラ、却ッテ從來ヨリモ經費ガ輕クナル
ノデハナカラウカト云フ方ニモ考ヘテ
居リマス、勿論養蠶業者ガ共同作業ヲ
ヤッテ、實行組合ヲ作ッテ、稚蠶共同飼
育ナリ、稚蠶ノ共同桑園ナリ、或ハ霜
害ノ豫防ナリ、養蠶業者ノ經濟ヲ發達
シセル爲メニ、任意組合ガ實行組合ニ
變ッテ行ケバ、ソレガ發達スルニ隨ッテ、
ソレガ多少經費ハ必要ニナッテ來マス
ガ、ソレガ農家ノ經濟上、養蠶業者ノ
經濟ガヨリ宜クナッテ行クノデアリマ
シテ、ソレガ爲ニ僅ナ經費ガ増加ニナ
ッテモ、農家ノ負擔ノ増加ニハナルマイ
ト思フノデアリマス、勿論農會ノ方デ
養蠶業ノ指導獎勵統制ガ十分取レテ、
サウシテ實行組合ガ存在ノ必要ガナイ
ヤウナ時ニハ、此法律デハ農會自身ガ
任意ニ郡ノ養蠶業組合ニ加入シテ目的
ヲ達セラル、ヤウニナッテ居リマスル
關係上、農會ノ方デ十分養蠶ノ指導獎
勵ガ出來レバ、實行組合ノ方ノ經費ハ
輕クシテモ宜イト云フ事情モアリマス
ルノデ、此團體ガ出來タ爲ニ、農會ノ
經費ト常ニ重複シテ、多クノ負擔ヲ養
蠶業者ガ致サナケレバナラナイ、ソレ
ガ爲ニ從來ヨリモ非常ニ過重ニナルト
云フヤウナ點ハ毛頭ナイヤウニ考ヘテ
居ル次第デゴザイマス、ソレダケ御答
シマス

○小山委員長 御諮リ致シマスガ、順
序トシテ菅村サンノ御質問ヲ願フ譯デ
アリマスケレドモ、菅村サンノハ大臣
御出席ノ上致シタイト云フ御希望デア
リマスカラ、之ヲ保留致シマス、林サ
ノ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス

○林委員 私モ大臣ガ御出席ニナッテ、
成ベク伺ヒタイト思ヒマスガ、大臣ガ
御出デニナルマデニ政府委員カラ伺フ
コトニ致シマスガ、只今永田委員カラ
御質問デ、其御答辯中稍、ドウモ私一寸
マダ了解ニ苦シムコトハ、蠶絲同業組

合ヲ設置致シマシテ、農村ト道府農
會トノ經費ノ支出ナドニ付キマシテ、
所謂農民ニ過重ノ負擔ヲスルヤウナコ
トノ嫌ハナイカ、斯ウ云フヤウナコト
ヲ私モ伺ヒタイト思ッテ居リマシテ、只
今永田サンカラノ御質問ニ付テ政府委
員カラノ御答辯ニ付テ、ソレガハッキリ
シナイヤウニ思ッテ居リマス、ソレハド
シナイヤウナコトニナルカ、其真相ヲ伺
ヒタイ積リデアリマス

○林委員 特別ナ設備其他ニ付キマシ
テ、費用ノ掛カルコトハ當然ノコト、
思フノデアリマスルガ、先ヅ以テ今回
新シク出來マスル所ノ、蠶絲業組合ト
云フモノガ出來マシテモ、農民ニハ過
重ノ負擔ハナイト云フコトヲ認メテ宜
シイ譯デアリマセウカ、モウ一度御答

願ヒタイ

○小平政府委員 御説ノ通りニ考ヘテ居リマス、現在デモ任意組合ガ各都市ニハ皆聯合會ヲ作ッテ居リマシテ、ソレデヤハリ色々役員ヲ置イテ居ルヤウナ次第デアリマス、却ッテ統制ガ從來ヨリモ完備スレバ、從來ノヤウナ無用ノ經費ガナクナル點ガ想像出來ルカト思フノデアリマス、隨ッテ從來ト同ジ程度ニ、養蠶業ノ指導獎勵ヲスル場合ニ於キマシテハ、別ニ負擔ガ多クナルトハ考ヘテ居リマセヌ、勿論養蠶業者ガ自覺シテ、從來ヨリモ共同作業ガ非常ニ宜クナッテ、稚蠶共同飼育ヲ全部ノ農家ガヤルト云フコトニナリマスレバ、經費ガ増スノハ當然デアリマス、農家ノ收益ヲ増加スル爲ニ、經費ノ増加スルコトハ、是ハ當然ノコトデアルカト思フノデアリマスガ、併シ現在ノ儘ニ變ッタ爲ニ、經費ガ多クナルト云フコトハ毛頭ナイヤウニ考ヘテ居リマス

○林委員 諒解致シマシタ、此組合法ノ所謂原案ト申シマスルカ、之ニ付キマシテ關聯致シマシテ一寸茲ニ伺ッダ上ニ、尙ホ質問致シタイト存ジマスルガ、此組合法ノ第一章第一條ニ於キマシテ、一、二、三、四、五、六ト六團體ノ如ク茲ニ示サレテアリマスルガ、又此原案ノ第二章ノ蠶絲業組合聯合會ト云フ所ヘ行キマスレバ、所謂七組合ニナ

ルヤウナ場合ガアリマスルガ、是ハ一體ドウ云フヤウナ所ニ依ッテ考ヘテ宜シイノデアリマスルカ、要スルニ此七組合中、所謂第二章ニアリマスル所ノ五十七條ノ一ノ、道府縣養蠶業組合聯合會ニハ、全國養蠶業組合聯合會、斯様ナコトニナッテ居リマスルガ、是ハ何ダカ一ツノモノガ道府縣ト言ヒ、全國ト言ヒ致シマシテ考ヘテ見ルニ、似タヤウナモノガ茲ニ竝ンデ居ルヤウニ考ヘマ

スルガ、其理由ヲ御聞カセ願ヒタイ

○小平政府委員 林委員ノ今ノ御質問ハ、五十七條ノ第一號ト二號ガ重複スルヤウナト云フ御考ノヤウナ御質問デアッタト思ヒマスガ、此養蠶ノ方ハ、部落區域ノ任意組合ガ集ッテ、郡市ノ養蠶業組合ヲ造ル、ソレガ道府縣ノ聯合會ヲ造リ、更ニ全國ノ養蠶組合聯合會ヲ造ルコトニナッテ居リマス、隨テ聯合會トシテハ、養蠶組合ノ方ノ關係ハ、道府縣ノ聯合會ト、全國ノ聯合會ト、二段ノ聯合會ガ出來得ルヤウニ法制ヲ立ッタノデアリマス、然ルニ其他ノ同一ノ組合ハ、原則トシテ府縣ノ區域トシテ單位組合ガ出來マシテ、ソレガ全國的ニ聯合スル譯デアリマス、聯合會ガ一ツノ種類組合ニナル譯デアリマスガ、養蠶ノ方ハ、聯合會ガ二ツノ種類ニナリ得ルヤウニ認メテ居ルノデアリマス、隨テ五十七條ハ、養蠶組合ノ方ハ、

道府縣ノ場合ト、全國ノ場合トアリマスガ、全國ノ場合ニハ、此一號ノ道府縣ノ養蠶組合聯合會ガ、二號ノ全國養蠶業組合聯合會ノ組織員ニナッテシマフノデアリマスカラ、全國區域蠶絲業組合ト云フモノハ、六種類ニナッテシマフ譯デアリマス、ソレデ全國以下ノ聯合會ハ、養蠶業組合ニ限ッテ、道府縣ニ設立サレル譯デアリマス、隨テ全國區域ノ蠶絲業組合聯合會ハヤハリ六種類デ、第一條ノ蠶絲業組合ノ種類ト同ジデアリマス、唯養蠶ノ方ダケハ、組織ノ單位ガ小サナ組織デアリマスカラ、郡ニ造リ、道府縣ニ造リ、更ニ全國聯合ヲ造ルト云フコトニシタ關係上二ツニ見エルガ、事實ハ全國ノ組合聯合會カラ見レバ一ツノモノニ纏マル譯デアリマスカラ、別ニ七ツノ種類ガアルト云フ譯デハゴザイマセヌ

○林委員 サウ致シマス、此組合ハ養蠶組合ト致シマスレバ、道府縣ノ組合ヘ這入ルベキモノガ、全國養蠶組合ノ方ヘ這入ッテ宜シイモノデアリマスルカ、是ハヤハリ兩立シテ行カナケレバ、斯様ナコトハイケナイノデアリマスカ、今ノ御説明カラ行キマスレバ、ヤハリ第一章第一節總則ノ養蠶業組合ト云フモノデ足リルヤウニ私ハ考ヘマ

スガ、此道府縣ト全國ト、肩書ヲ二ツ持タナケレバ何ガ故ニイケナイカ、是

ハ非常ニ複雑デアリ、且ツ之ヲ設立致シマスル上ニ、昨日來モ此蠶繭組合ヲ入レタイトカ、又現ニ只今モ此蠶絲業組合ガ販賣業組合ヲナセ加盟シテ吳レナイカト云フヤウナ意見モ出テ來テ居ルヤウニ思ヒマスルカラ、色々斯ウ複雑シナイデ、第一章ノ第一節ノ總則ニ於ケルガ如ク、養蠶業組合ト、斯様ナコトニ致シテモ差支ナイヤウニ、私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、之ニ付テ今一應御説明ヲ願ヒタイ

○小平政府委員 全國區域ハ、養蠶業組合聯合會ハ、原則トシテ道府縣區域ノ聯合會デ組織シテ居リマスケレドモ、併シ單位組合トシテハ、養蠶組合ガ、若シ道府縣ノ區域トシテ養蠶業組合ガ組織出來レバ、ソレハ直接全國養蠶業組合聯合會ニ加入シ得ル途ハ開イテ居リマス、詰リ養蠶業ノ方ハ基礎團體ガ小サナ團體デアリマスカラ、原則トシテハ郡市養蠶業組合ヲ組織シテ、ソレガ直チニ全國聯合會ヲ作ルト云フコトハ、或ハ事務的ニ見テ、養蠶業組合ノ事務ヲ執ル上ニ於テ、非常ナ不便ナ點モアリマスノデ、道府縣デ聯合會ヲ作ッテ、更ニ全國聯合會ヲ作ルト云フコトガマア原則デアリマスケレドモ、或ハ

地方ニ依ッテハ、養蠶業組合ガ道府縣デ出來ル場合モ想像致シマス、サウ云フ場合ニハ道府縣區域ノ養蠶業組合ガ、

ハ非常ニ複雑デアリ、且ツ之ヲ設立致シマスル上ニ、昨日來モ此蠶繭組合ヲ入レタイトカ、又現ニ只今モ此蠶絲業組合ガ販賣業組合ヲナセ加盟シテ吳レナイカト云フヤウナ意見モ出テ來テ居ルヤウニ思ヒマスルカラ、色々斯ウ複雑シナイデ、第一章ノ第一節ノ總則ニ於ケルガ如ク、養蠶業組合ト、斯様ナコトニ致シテモ差支ナイヤウニ、私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、之ニ付テ今一應御説明ヲ願ヒタイ

○小平政府委員 全國區域ハ、養蠶業組合聯合會ハ、原則トシテ道府縣區域ノ聯合會デ組織シテ居リマスケレドモ、併シ單位組合トシテハ、養蠶組合ガ、若シ道府縣ノ區域トシテ養蠶業組合ガ組織出來レバ、ソレハ直接全國養蠶業組合聯合會ニ加入シ得ル途ハ開イテ居リマス、詰リ養蠶業ノ方ハ基礎團體ガ小サナ團體デアリマスカラ、原則トシテハ郡市養蠶業組合ヲ組織シテ、ソレガ直チニ全國聯合會ヲ作ルト云フコトハ、或ハ事務的ニ見テ、養蠶業組合ノ事務ヲ執ル上ニ於テ、非常ナ不便ナ點モアリマスノデ、道府縣デ聯合會ヲ作ッテ、更ニ全國聯合會ヲ作ルト云フコトガマア原則デアリマスケレドモ、或ハ

地方ニ依ッテハ、養蠶業組合ガ道府縣デ出來ル場合モ想像致シマス、サウ云フ場合ニハ道府縣區域ノ養蠶業組合ガ、

直接全國聯合組合ヲ組織スルト云フコトニナツテ居リマス、是ハ實狀ニ應ジテ如何様ニモ出來得ルノデアリマス、若シ郡區域ノ養蠶業組合ガ、道府縣デ聯合シタイ場合ニ於テ、道府縣デ聯合會ガナイト云フコトニナルト、是ハ又非常ニ困ルコトデハナイカト云フノデ、何レニモ據リ得ル途ヲ開イテアルノデアリマス、若シ林サンノ御説ノヤウニ、郡區域——原則ハ郡市區域デアリマス

ケレドモ、養蠶實行組合ハ大體部落本位デアリマスカラ、或ハ數箇町村デ養蠶實行組合ヲ組織スル養蠶業組合ガ出來ナイトモ限ラナイ、サウ云フ場合ニ於テ、道府縣デ聯合會ヲ作ッテハイカスト云フコトニナルト、是ハ實際問題トシテ困ルコトニナルノデハナイカト思ヒマスカラ、道府縣デ聯合會ヲ作ルコトモ、又道府縣區域單位ノ養蠶業組合ヲ作ルコトモ認メテアルノデアリマス、左様ニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○林委員 只今ノ小平サンノ御説明ニ付キマシテ、マダ私チヨット諒解ニ苦シム所ガアリマス、所謂道府縣ニ致シマシテモ、或ハ郡單位ニ致シマシテモ、全國ト云フ意味合ニ行キマシタナラバ、ソレデ何事モ全體ヲ通ジテ、其範圍内ニ於テ、而モ國ガ玆ニ法律ヲ制定致シマスル以上ハ、ソレニ準ジテ仕

事ヲサシテ行クト云フヤウナコトハ、何等差支ナイヤウニ思フノデアリマスガ、所謂只今ノ御話ノ如ク、全國的ニ出來タモノノ中ニ、又後カラ色々郡單位或ハ縣單位ニ出來テモ、ソレハ認メルト云フヤウニナツテハ、折角作リマサル法律ガ非常ニ複雑ニモナリ、又蒸シ返シニモナリ、オカシナモノニナリハシナイカト思ヒマスガ、其邊ハ如何ニナリマスカ

○小平政府委員 全國ノ聯合會ガ出來テ後ニ、道府縣ノ聯合會其他ガ出來タ場合ト云フ御質問ノヤウニ伺ッタノデアリマスガ、例ハ道府縣區域ノ養蠶業組合ガ出來テ、ソレガ全國養蠶業組合聯合會ヲ作ッタ時ニ、又後デ道府縣聯合會ガ出來ル、サウ云フ場合ニ道府縣區域ノ養蠶業組合ガ分レテ、郡市區單位ノ組合ノ上ニ、道府縣區域ノ聯合會ガ出來タリ、道府縣區域ノ養蠶業組合ノ上ニ道府縣區域ノ養蠶業組合ハ、是ハ存在シ得ナイノデアリマスカラ、道府縣區域ノ養蠶業組合聯合會ガ出來タ後ニ、道府縣區域ノ養蠶業組合ハナクナリマスカラ、府縣區域ノ養蠶關係ノ團體ハ聯合會ニ變ツテシマフノデアリマス、ソレデソレガ全國聯合會ニ入リマスルカラ、後ニ重複スルヤウナ心配ハナイノデアリマス

○青木委員 チヨット關聯シテ——サウシマス此團體統制ノ組織ハ、郡市區域ノ養蠶組合ガ地方ニ於テ出來ナイデ、直ニ道府縣養蠶聯合會ト云フヤウナモノガ出來テモ、差支ナイト云フ御解釋デスカ、郡市區域ノ養蠶組合ト云フモノヲ作ラセテ、サウシテ道府縣養蠶組合ト云フモノデ、纏メルト云フヤウナ順序ニ組立テ得ルノデハナイノデスカ

○小平政府委員 原則トシテハ郡市ノ養蠶業組合ガ出來ル譯デアリマスガ、是ハ地方ノ事情ニ依リマシテ、養蠶實行組合ガ各郡ニ組合ヲ作ル所ノ數ガ少イト云フ場合、或ハ各部落ニアル養蠶居ッテ、郡市ヲ纏メル、或ハ總郡ヲ纏メル、或ハ道府縣全體ヲ纏メテ、一ツノ養蠶業組合ヲ作ルト云フ風ニ、其地方ノ事情ニ依ッテ必ズシモ、郡市ノ養蠶業組合ヲ作ラヌデ、道府縣ノ養蠶業組合ヲ作ッテモ構ハヌト云フヤウニ考ヘテ居リマス、或ハ其地方ノ事情ニ依ッテ産業組合ノ、前ニハ共同販賣ガアッタ、ソレ等ト養蠶實行組合ト一緒ニナツテヤル關係上、全府縣ノ養蠶業組合ヲ作ッテモ宜イ時ニハ、又郡市ニ支部ヲ置クナリ便宜ノ方法ヲ講ジテモ構ハヌト、斯ウ考ヘテ居リマス

○林委員 只今ノ御質問ニ關聯シテ居リマスルガ、此蠶種製造組合ノ組合員ノ中ニ、先刻チヨット御質問致シテ置キマシタ所ノ、蠶種販賣組合ト云フモノガ、相當ニ權威アルモノガ各地ニ在ルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、之ヲ入レルコトハ不法ト申シマスカ、之ヲ何カ入レテハ差支ガアルノデアリマスカ、又入レテ惡イモノナラ、其理由ト云フモノハ何處ニアリマスカ、之ニ付テ御説明ヲ願ヒタイ

○小平政府委員 蠶種ノ販賣業者ノ組合ノ御質問カト思フノデアリマスガ、此蠶絲業組合ノ制度ハ、日本ノ蠶絲業者ト、蠶種製造業者、ソレカラ生絲ノ製造ヲ爲ス産業組合ト、製絲業者ト、ソレカラ問屋ト輸出業者、此六種類ヲ押ヘテ、之ヲ統制スルト云フコトヲ主眼ニシテ居ル譯デアリマス、此六種類ノ業者ヲ統一シテ、サウシテ統制ヲ執ッテ行クノガ、日本ノ蠶絲業全體ノ統制ヲ執ル上ニ於テ——其根幹ヲ押ヘテ行クコトガ、最も重要ナリト考ヘタ結果、六種類ノ業者ヲ押ヘテ來タ譯デアリマス、勿論蠶種ヲ販賣スル者トカ、或ハ製造業者トカ、附屬ノ業者ト云フモノトカ其他色々ナモノガゴザイマス、サウ云フモノヲ一緒ニ統制ノ團體ニ入レテ行クト、或ハ足手纏ヒニ

ナツテ根幹ノ業者ノ統制ガ執レナイヤ
ウナコトモ想像出來得ル關係上、是等
ノ附屬ノ業者ハ現在蠶絲業法ニ依ッテ、
重要物產同業組合ヲ組織スルコトニナ
ッテ居リマスガ、ソレハヤハリ從前通
リ、重要物產同業組合法ノ同業組合ニ
依ッテ弊害ノ矯正ヲシテ戴クコトニシ
テ居リマス、此制度カラハ根幹ニ從タ
ルモノハ第二ニ考ヘルト云フ譯デ除イ
テアリマス、之ヲ入レ始メルト際限ガ
ナイノデアリマス

カ、其點ヲ事實問題トシテ能ク伺ッテ置
キタイト思ヒマス

フ御趣意デアレバ、生絲問屋業ニ一本
ノ獨立性ヲ認メテアルノハ、少シク議
論ガ外レテ居ルヤウデスガ、將來ニ向ッ
テハ此組合ガ十分機能ヲ發揮シテ只今
御説明ノヤウナ理想ニ行クコトヲ望ム
ノデスガ、現在ニ於テハ養蠶家ハ種屋
ヨリドウ云フ種ガ宜シイカト云フヤウ
ナ指導ヲ受ケテ良イ種ヲ選擇スルト云
フヤウナ實情ニアルヤウニモ想像セラ
レマスガ、全國十萬以上ノ蠶種販賣業
者ヲ此統制カラ根本的ニ除外シテシマ
フト云フコトハ、何ダカ現状ヲ非常ニ
變革スルヤウナ結果ニナルノデ、蠶種
業者ノ方カラ言フト不平不滿ガアルヤ
ウデアリマス、今マデハ之ヲ蠶絲業同
業組合中央會ニ參加サセテ居ルヤウナ
狀態デスガ、之ヲ何トカ指導シテ行クヤ
ウニシナカッタナラバ、蠶絲業ノ改善、
取引ノ改善、蠶種ノ改善等ノ上ニ於テ多
少支障ヲ來シハセヌカト云フ實際問題
カラ私ハ憂ヘテ居ルノデスガ、此邊ハ
局長ノ御説明ニナッタヤウナ理想的ノ
扱ヒデ果シテ行ケルモノデアリマスカ
ドウカ、今少シ穿ッタ御説明ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス

法ノ同業組合ニ依ッテ其弊害矯正ニ付
テハ十分ニヤラセタイ、ソレハ農林大
臣ノ認可ノ組合デアリマシテ、農林省
トシテハ其方面ノ制度ニ於テハ現存ノ
蠶種販賣業者ノ蠶種販賣ニ付テ弊害ナ
キヤウ、又養蠶業ニ不利益デナイヤウ
ニスルニ付テハ、現在ノ同業組合デ其
指導監督ニ依ッテ十分ヤリ得ル、又蠶絲
業法ニ依ッテ免許制度ニナッテ居リマシ
テ、其方面ニ於テモ十分目的ヲ達セラ
レルモノト考ヘテ居ル譯デアリマス

○林委員 サウスレバ蠶種ノ販賣行爲
ニ付テハヤハリ製造組合ノ中デ取締ル
ト云フカ、其中ニ含ンデ居ルト承知シ
テ宜シイ譯デアリマス

○小平政府委員 蠶種ノ製造ヲシ、販
賣ヲスル者ハ蠶絲業組合ニ入ル譯デア
リマス、唯、他人ノ作ッタ種ヲ買ッテ來テ
賣ル者ハ除イテアリマス、此中間機關
ハ、或ハ蠶種業ノ方ト養蠶業ノ方ノ團
體ノ統制ニ依ッテ十分ニ統制ガ取レテ
行キマスシ、此機關デ蠶種製造業ガ統
制サレ、養蠶業ガ統制サレテ來レバ、
中間ニアル階級ハ單純ニ弊害ヲ矯正ス
ルダケデアッテ、之ヲ入レテ來ルコトガ
統制カラ言ヘバ却テ此方ノ統制ヲ亂ス
コトニナルノデハナイカト云フコトニ
ナッテ、寧ロ中間ニ在ル單純ナ、人ノ作ッ
タ種ヲ買ッテ來テ養蠶業者ニ販賣スル
者ハ除イテ置イテ、蠶絲ノ方ト養蠶ノ
方ヲ統制シテ來レバ、ソレデ十分目的
ヲ達スルノデハナイカト云フ具合ニ考
ヘテ居リマス、養蠶ノ方ノ實行組合ナ
リ、養蠶業組合ナリデ、共同購入、共
同販賣ガ統制サレテ來レバ蠶種製造業
者カラ、或ハ直接買フコトガ合理的ニ
ナッテ來ルカモ知レヌ、現在モサウ云フ
傾向ニ相當ナッテ居ルノデハナイカト
考ヘテ居リマス、サウ云フ意味デサウ
云フ中間ノ業者ハ除イテアル譯デアリ
マス、却テ其方ガ蠶絲業ノ統制ガ取レ
ルヤウニ考ヘタ譯デアリマス

○青木委員 中間業者ヲ總テ除クト云
フ御趣意デアレバ、生絲問屋業ニ一本
ノ獨立性ヲ認メテアルノハ、少シク議
論ガ外レテ居ルヤウデスガ、將來ニ向ッ
テハ此組合ガ十分機能ヲ發揮シテ只今
御説明ノヤウナ理想ニ行クコトヲ望ム
ノデスガ、現在ニ於テハ養蠶家ハ種屋
ヨリドウ云フ種ガ宜シイカト云フヤウ
ナ指導ヲ受ケテ良イ種ヲ選擇スルト云
フヤウナ實情ニアルヤウニモ想像セラ
レマスガ、全國十萬以上ノ蠶種販賣業
者ヲ此統制カラ根本的ニ除外シテシマ
フト云フコトハ、何ダカ現状ヲ非常ニ
變革スルヤウナ結果ニナルノデ、蠶種
業者ノ方カラ言フト不平不滿ガアルヤ
ウデアリマス、今マデハ之ヲ蠶絲業同
業組合中央會ニ參加サセテ居ルヤウナ
狀態デスガ、之ヲ何トカ指導シテ行クヤ
ウニシナカッタナラバ、蠶絲業ノ改善、
取引ノ改善、蠶種ノ改善等ノ上ニ於テ多
少支障ヲ來シハセヌカト云フ實際問題
カラ私ハ憂ヘテ居ルノデスガ、此邊ハ
局長ノ御説明ニナッタヤウナ理想的ノ
扱ヒデ果シテ行ケルモノデアリマスカ
ドウカ、今少シ穿ッタ御説明ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス

○井野政府委員 補足シテ申上ゲテ置
キマスガ、此度作リマシタ蠶絲業組合
ト云フモノハ、大體蠶絲業者ノ利益ヲ
代表スルモノデモアリマスガ、統制ト
云フコトガ根幹ニナッテ居ル譯デアリ
マス、隨テ其統制トカ、業態ト云フコ
トヲ主ニ見ナイト、徒ニ色々ノ業態ガ
這入ッテ來マスト、却テ統制ガ不十分ニ
ナル嫌ヒガアリマスノデ、主ナル業態
ダケヲ此度ノ同業組合ニ於テハ認メタ
ノデアリマス、隨テ生絲ノ輸出業組
合、生絲問屋組合、生絲ノ製絲、蠶種
製造、養蠶、是ガ統制ノ上ニ於テ最モ
根幹ヲ爲ス業態ト見テ居リマシテ、統
制致ス時ニ其業態ヲ押ヘルコトガ統制
ヲ完全ナラシムル點デアル、ソレ以外
ノ仲立、所謂蠶種ノ仲立ト云フモノハ、
寧ロ部分的ノモノデアルト、斯ウ考ヘ
マシタガ故ニ、是カラ省イタノデアリ

○小平政府委員 蠶種ノ製造業者ノ中
ニハ蠶種販賣業者ハ入ラスノデアリマ
ス、蠶種ノ販賣ヲ爲ス業者ガアレバ、
ソレハ別ニ同業組合ヲ御作りニナレバ
宜イト考ヘテ居リマス

○青木委員 關聯シマスカラ此處デ御
伺シマスガ、只今ノ蠶種ノ販賣業者、
是ハ相當地方ニ於テハ事實問題トシテ
活躍ヲ致シテ居ル現狀デアリマス、之
ヲ除外シテサウシテ唯、製造業者ダケ
ヲ此統制ノ中ニ認メルト云フコトニナ
ルト、蠶絲業統制ノ上、改善ノ上ニ派
生的ニ支障ヲ來ス憂ヒハアリマセヌ
カ、本當ニ之ヲ除外シテ置イテ蠶絲業
改善ノ實ヲ擧ゲ得ル御見込デアリマス

○青木委員 中間業者ヲ總テ除クト云
フ御趣意デアレバ、生絲問屋業ニ一本
ノ獨立性ヲ認メテアルノハ、少シク議
論ガ外レテ居ルヤウデスガ、將來ニ向ッ
テハ此組合ガ十分機能ヲ發揮シテ只今
御説明ノヤウナ理想ニ行クコトヲ望ム
ノデスガ、現在ニ於テハ養蠶家ハ種屋
ヨリドウ云フ種ガ宜シイカト云フヤウ
ナ指導ヲ受ケテ良イ種ヲ選擇スルト云
フヤウナ實情ニアルヤウニモ想像セラ
レマスガ、全國十萬以上ノ蠶種販賣業
者ヲ此統制カラ根本的ニ除外シテシマ
フト云フコトハ、何ダカ現状ヲ非常ニ
變革スルヤウナ結果ニナルノデ、蠶種
業者ノ方カラ言フト不平不滿ガアルヤ
ウデアリマス、今マデハ之ヲ蠶絲業同
業組合中央會ニ參加サセテ居ルヤウナ
狀態デスガ、之ヲ何トカ指導シテ行クヤ
ウニシナカッタナラバ、蠶絲業ノ改善、
取引ノ改善、蠶種ノ改善等ノ上ニ於テ多
少支障ヲ來シハセヌカト云フ實際問題
カラ私ハ憂ヘテ居ルノデスガ、此邊ハ
局長ノ御説明ニナッタヤウナ理想的ノ
扱ヒデ果シテ行ケルモノデアリマスカ
ドウカ、今少シ穿ッタ御説明ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス

○小平政府委員 蠶種ヲ賣買スルダケ
ノ業者ニ付テハ勿論免許制度デ十分監
督ハシテ居リマス、尙ホ是ハ同業組合
ヲ組織シ得ルコトニナッテ居リマス、或
ハ必要ナル場合ニハ重要物產同業組合

○青木委員 關聯シマスカラ此處デ御
伺シマスガ、只今ノ蠶種ノ販賣業者、
是ハ相當地方ニ於テハ事實問題トシテ
活躍ヲ致シテ居ル現狀デアリマス、之
ヲ除外シテサウシテ唯、製造業者ダケ
ヲ此統制ノ中ニ認メルト云フコトニナ
ルト、蠶絲業統制ノ上、改善ノ上ニ派
生的ニ支障ヲ來ス憂ヒハアリマセヌ
カ、本當ニ之ヲ除外シテ置イテ蠶絲業
改善ノ實ヲ擧ゲ得ル御見込デアリマス

○青木委員 中間業者ヲ總テ除クト云
フ御趣意デアレバ、生絲問屋業ニ一本
ノ獨立性ヲ認メテアルノハ、少シク議
論ガ外レテ居ルヤウデスガ、將來ニ向ッ
テハ此組合ガ十分機能ヲ發揮シテ只今
御説明ノヤウナ理想ニ行クコトヲ望ム
ノデスガ、現在ニ於テハ養蠶家ハ種屋
ヨリドウ云フ種ガ宜シイカト云フヤウ
ナ指導ヲ受ケテ良イ種ヲ選擇スルト云
フヤウナ實情ニアルヤウニモ想像セラ
レマスガ、全國十萬以上ノ蠶種販賣業
者ヲ此統制カラ根本的ニ除外シテシマ
フト云フコトハ、何ダカ現状ヲ非常ニ
變革スルヤウナ結果ニナルノデ、蠶種
業者ノ方カラ言フト不平不滿ガアルヤ
ウデアリマス、今マデハ之ヲ蠶絲業同
業組合中央會ニ參加サセテ居ルヤウナ
狀態デスガ、之ヲ何トカ指導シテ行クヤ
ウニシナカッタナラバ、蠶絲業ノ改善、
取引ノ改善、蠶種ノ改善等ノ上ニ於テ多
少支障ヲ來シハセヌカト云フ實際問題
カラ私ハ憂ヘテ居ルノデスガ、此邊ハ
局長ノ御説明ニナッタヤウナ理想的ノ
扱ヒデ果シテ行ケルモノデアリマスカ
ドウカ、今少シ穿ッタ御説明ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス

○小平政府委員 蠶種ヲ賣買スルダケ
ノ業者ニ付テハ勿論免許制度デ十分監
督ハシテ居リマス、尙ホ是ハ同業組合
ヲ組織シ得ルコトニナッテ居リマス、或
ハ必要ナル場合ニハ重要物產同業組合

○小平政府委員 蠶種ヲ賣買スルダケ
ノ業者ニ付テハ勿論免許制度デ十分監
督ハシテ居リマス、尙ホ是ハ同業組合
ヲ組織シ得ルコトニナッテ居リマス、或
ハ必要ナル場合ニハ重要物產同業組合

マシテ、其統制機關ノ根幹ト云フモノヲ御考ヘ願ヘレバ、其點ガ能ク御諒承願ヘルト思フデアリマス

○横川委員 只今政府ノ御話ノ中ニ主ナル業態ト云フ御話ガアリマシタガ、主ナルト云フ意味ハ、重要性ヲ現ハスモノデアリマスカ乃至ハ分量ト申シマスカ、量的ニ廣イト云フ意味デゴザイマスカ、ドチラノ意味デスカ、或ハ兩様ノ意味デアリマスカ

○井野政府委員 ソレハ大體統制ト云フコトカラ見マシタ重要性デゴザイマス

○横川委員 サウスルト之ニ現ハレテ居リマセヌモノハ、重要性ヲ帶ビテ居ラナイト云フ結論ニナラウト思ヒマシタガ、如何デアリマスカ

○井野政府委員 統制ヲ行ヒマス上ニ最モ必要ナル業態、斯ウ云フ譯デゴザイマス、デスカラ之ニ現ハレテ居リマセヌト申シマスノハ、例ヘバ今ノ蠶種ノ仲立業者ト云フモノハ……

○横川委員 全般的ニ考ヘマシテ……

○井野政府委員 全般的ニ申シマスト大體統制上押ヘル必要ガアル業態、斯ウ云フコトニナリマス

○横川委員 必要ト云フ意味ノ大臣ノ御説ト關聯シテ考ヘルト、重要デアリ、必要デアルコトガ、此統制ノ種目ノ中ニ這入ッテ居ラナイヤウニモ思フノデ

アリマシタガ、私ハ主トシテ大臣ガ御見エニナリマシタカラ御伺ヒ致シタイ點ガアルノデアリマスルガ、只今ノ御話ニ依リマスルト、大臣ノ説明シタ意味ト大變矛盾シタ意味デ、必要ト重要ト云フ字ヲ御使用ニナッテ居ルヤウデアリマスルガ、大臣ノ御言葉ヲ信用シテ宜イノデアリマスカ

○井野政府委員 重要ト申シマシタコトニ付テ横川サンノ御考ヘニナッテ居ラレルノハ、乾繭組合ガ、重要デアアルガ、是カラ省イテ居ルカラ重要デナイト見テ居ルト云フヤウニ御取リニナラレルト困ルノデアリマス、乾繭組合ハ決シテ是カラ除外シタ觀念デハアリマセヌガ、唯乾繭組合ノ統制ノ方法トシテハ、養蠶者トシテ統制スルガ是ナリト云フ見地カラ此法制ガ出來テ居ルノデアリマス、乾繭組合ガ蠶絲業組合ヲ六ツニ分ケタ區分ノ中ノ養蠶業組合ノ中ニ含マレテ居ルト云フコトハ、之ヲ除外シタモノデナク、從來ノ政府ノ指導方針ニ何等牴觸スルコトナキハ、過日大臣ガ申サレタ通りデアリマシテ、決シテ乾繭組合ヲ輕視スルト云フ意味デナイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○青木委員 サウシマス、此蠶絲業組合法案ト蠶絲業法ノ第一條トノ關係ハ、蠶絲業者、蠶絲業團體ト云フ建前カラ

ラ、ドウ云フ風ニナッテ居ルノデアリマスカ

○小平政府委員 蠶絲業法ノ方ハ取締ヲ主トシテ規定シテアルノデアリマス、弊害ヲ取締ルト云フ點ヲ主トシテ考ヘ、尙ホ蠶絲業法デハ色々ナ病毒トカ、消毒トカ、サウ云フ點ヲ主ニ蠶絲業法デハ規定シテ居ル關係上、蠶絲業法ノ中ノ蠶絲業ニ關係ノ業者ヲ必ズシテ全部蠶絲業組合法ノ業者ニ取入レテ居ナイノデアリマス、蠶絲業法ノ方ハ、主トシテ行政廳ガ弊害、殊ニ病毒ノ傳染トカ云フ點ヲ主トシテ取締ルト云フ點カラ規定シテアリマス關係上、此方ノ業者ガ必ズシテ全部コチラヘ這入ッテ居ラナイ譯デアリマス、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○青木委員 サウスルト蠶絲業法デ、蠶絲業者トシテ認メラレテ居ル業態ノ中ノ或者ハ蠶絲業組合カラ除外サレル者モ幾多アルト云フノデスカ

○小平政府委員 左様デゴザイマス

○木村委員 只今ノ御答辯ニ依ルト、或者ハ除外シ、或者ハ入レル、ソレデハ統制ガ付カナクナルデハナイカ、一ハ統制ヲ付ケルト云フコトハ、此業ニ從事シ、此業ニ最モ關係ノ密ナ者ノ、其弊害ヲ矯正スルト云フコトガ、即チ統制ノ意味ダラウト思フ、ソレガ蠶絲業法ノ目的デアル、組合法ノ主ナル目

的ハ統制ニ在ルト思フ、然ルニ蠶絲業法ノ最モ重要ナル統制上、或者ハ除外シ、或者ハ入レルト云フコトデハ、矛盾シテ居ルデハナイカト思フ、ソレデハ統制ト云フコトハ期シ得ラヌト思ヒマスガ、モウ一應詳カニ御答辯ヲ願ヒマス

○小平政府委員 今度ノ蠶絲業組合法デ申シマス統制ト云フノハ、今マデ同業組合法デ弊害ノ矯正ト云フヤウナコトヲ行ッテ居ッタ、サウ云フ統制ヨリモズッテ廣イ大キナ意味ノ統制ヲ考ヘテ居ル譯デアリマス、例ヘバ規格ノ統一弊害ノ矯正ヨリ、寧ロ進ンデ、弊害デハナイケレドモ、日本全體ノ利益ヲ圖ル上カラ、或ハ蠶絲業全體ノ發達ヲ圖ルト云フ意味カラノ大キナ統制デアリマシテ、單純ニ弊害ヲ矯メルト云フヨリモ、更ニ進ンダ意味ノ統制デアリマス、隨テ、其意味カラ申セバ、蠶絲業ノ根幹デアアル六ツノ業者ヲ押ヘテ行クノガ最モ必要デアルト考ヘタ譯デアリマス

○青木委員 ドウモ御説明ガ徹底シナイ、立法ノ主義トナサル點ト、蠶絲業ヲ統制シテ、弊害ヲ矯正シ、改良發達ヲ圖ルト云フ上カラ申シマス、弊害ノ最モ多イ蠶種ノ取次販賣業者デアルトカ、繭買デアルトカ云フヤウナ者ノ統制或ハ弊害矯正モ共ニヤッテ行キ得

ルヤウナ建前デナケレバ、ドウモ統制ガ付キ兼ルヤウニ思フ、養蠶家ニ對シテ實害ヲ與ヘテ居リマス直接ノ關係カラ申シマシテモ、繭ノ仲買人トカ或ハ蠶種ノ賣買業者ト云フヤウナ者ハ、直接養蠶業者ニ對シテ利害關係ヲ持ッテ居ル、是ハ他ノ同業組合デヤッテ行クト云フヤウナ説明デハ、大ナル使命ヲ以テ生レントスル蠶絲業組合制度ノ法案ニ、何カ大キナ取殘シタモノガアルヤウニ思ハレル、軍艦ニシマシテモ、主力艦ダケハズト統制ヲ取ッテ居ルガ、アト小サナ主力艦ノ周圍ニ配置サレテ居ル所ノ小サイ軍艦、ソレト使命ヲ持ッテ居ル軍艦ト云フモノハ取除カレテ、合同スルト云フコトニナルト同様ニ、ドウモ蠶絲業全體ノ統制、改良發達ト云フ目的使命ノ上カラ言ッテ、大ナル疑義ガアルト思フノデアリマシテ、其點ハ是ト何トカ關係ヲ付ケテ道連レニシテ、サウシテ改良指導シテ行クト云フ御説明ガナイト、私共ノ疑問ハ解ケナイノデスガ、如何デスカ

○小平政府委員 青木委員ノ御話ノヤウナ養蠶業者ニ不利益ヲ及ボス取引、サウ云フ單純ナ弊害ヲ抑ヘルト云フ點ダケナラバ、從來ノ同業組合法デ目的ガ達セラレルト思フノデアリマス、進ンデ生産ノ進歩トカ生産ノ調節トカ、出荷ノ統制ヲ圖ルトカ、蠶品種ヲ統一スルトカ云フヤウナ、積極的ノ統制事業ガ、日本ノ蠶絲業ノ改良發達上非常ニ必要デアルト云フノデ、統制團體タル蠶絲業組合ノ法律ヲ立案シタ譯デアリマシテ、サウ云フ弊害矯正ト云フ點ダケナラバ從來ノ同業組合ニ依ッテ十分目的ハ達セラレルノデアリマス、從來ノ同業組合モ農林大臣ガ所管シテ居リマシテ、單純ナ弊害矯正ノ目的ナラバ之ニ依ッテ十分達セラレルト思フノデアリマス、然ルニ弊害ノ矯正ト云フ點ヨリモ寧ろ蠶絲業全體ノ統制ヲシテ、品種ヲ統一シテ使用セシメヨウ、或ハ製造ニ對シテハ斯ウ云フ規格ニ依ラシメル、或ハ製絲業者ヲシテ必要ナル場合ニハ養蠶ト製絲ノ利害ヲ十分ニ考慮シタ上ニ全國的ニ生産ノ調節ヲスルトカ、或ハ海外販路ニ向ッテ十分ナル施設ヲスルトカ云フ、全體ノ統制ヲ圖ル意味デ、積極的ニ統制ヲ圖ル意味デ、此蠶絲業組合法ヲ立案シタ譯デアリマシテ、養蠶業者ニ對シテ不利益ナ賣買ヲスルトカ云フナラバ、行政廳ガ此蠶絲業法ニ依ッテ、十分監督シ、又必要ナラバ同業組合デ其弊害ノ矯正ノ目的ダケハ十分達シ得ル譯デアリマシタガ、ソレ以上ノ蠶絲業ノ積極的統制ヲ考ヘタ結果、此蠶絲業組合法案ヲ作ッタ譯デアリマシテ、即チ此蠶絲業ノ統制ト云フコトハ、從來ノ單純ナ弊害ノ

矯正ト云フコトデナクテ、進ンデ全體ヲ積極的ニ統制スルト云フ點ヲ御考ニナレバ、御諒解ガ出來ルノデハナカラウカト考ヘル次第デアリマス

○横川委員 此案ニ關聯シテ意見ヲ述ベタイト思ヒマス、蠶絲業ノ業態ト云フ意味合全般カラ申シマスレバ、中間機關ヲ疎外スルコトハ實質上不徹底デアリ、矛盾ヲ含ムモノデアルト思ヒマス、蠶絲業ヲ歸納的ニ見レバ恐ラク養蠶業者ノ事業ト製絲業者ノ過程ト、又之ヲ海外竝ニ國內ノ消費者ニ販賣スル販賣機關、及ビ此三者ヲ連絡スベキ取引ノ過程、詰リ中間ノ機關ヲ疎外シタ意味合ニ於テハ、蠶絲業ト云フモノヲ觀察スルコトハ出來得ナイト思ヒマス、其意味デ、既ニ製絲家ヨリ生絲販賣業者ニ至リマス過程ニ於テハ、生繭取引ト云フモノガアリマシテ、其過程ヲ圓滑ナラシムル組織ガアルノデアリマス、又養蠶家ヨリ製絲家ニ至リマス過程ノ中ニ於キマシテハ、乾繭ノ取引市場ト云フカ何ト云フカ、特別ノ機關ガ將來起ルベキモノデアルト思フノデアリマスガ、將來發展ノ方向ヲ示ス意味合ヨリ、又發展サスベク政府ノ方針ノ上ヨリ考ヘマシテ、茲ニ養蠶家カラ製絲業ニ至リマス過程ノ中ニ、何等カ機關ガナケレバナラヌト云フコトハ當然ノ事デアリマシテ、ソレハ段々養

蠶家ノ自覺ニ依ッテ又養蠶業組合ニ於テ、左様ナ精神ニ則リマシテ、中間ノ無駄ナ失費ヲ省キマシテ、生産ノ價格ヲ成ベク低減セシムルト云フ機能ガ、現在改良ノ主眼トシテ行ハレテ居ルノデアリマスガ故ニ、斯様ナ見地カラ見マシテ、茲ニ乾繭組合ガ生レナケレバナラヌ、即チ現在マデノ蠶種ノ仲買ノ仕事乃至繭ノ仲買ノ仕事ニ對抗スル機關デアリ、又最も合理的ニ之ヲ買ッテナラヌ、又生レシムベク努力シテ居ルノデアリマスガ、茲ニ乾繭取引ト云フコトヲ豫想シナイデ、中間業者ヲ否定スルト云フコトハ、ドウシテモ茲ニ矛盾ガ起ルト思フノデアリマス、其矛盾ヲナカラシムル上ニ於テ、ドウシテモ茲ニ何等カノ中間機關、即チ乾繭組合ト云フモノガ是認セラレナケレバ、蠶絲業ノ統制ト云フ意味ニ於テモ缺ケル所ガアルト思ヒマス、是ダケ申上ゲテ置キマスカラ御記憶ヲ願ヒマス

○青木委員 ドウモ此立法ニハ不純ナ動機ガ何カ挾ッテハ居ナイカ、中央會組織ノ上ニ於テ、養蠶業者ノ發言力ヲ減殺スル爲ニ、製絲家或ハ問屋、輸出業者ノ勢力ヲ養蠶業者以上ニ中央會ノ組織ノ上ニ於テ維持スル爲ニ、養蠶業者ノ味方トナルヤウ團體ヲ成ベク省カウト云フヤウナ、不純ナ頭デ此立法ノ骨

ト云フヤウナ、不純ナ頭デ此立法ノ骨

ト云フヤウナ、不純ナ頭デ此立法ノ骨

ト云フヤウナ、不純ナ頭デ此立法ノ骨

ト云フヤウナ、不純ナ頭デ此立法ノ骨

ト云フヤウナ、不純ナ頭デ此立法ノ骨

ト云フヤウナ、不純ナ頭デ此立法ノ骨

子ハ出來テハ居ナイカ、斯ウ云フ疑念ガ世間ニ往々アルノデアリマス、成程中間業者等ハ、蠶絲業ノ業態、系統カラ申シマス、後ニ段々發達ノ過程ニ於テ生レテ來ル一ツノ業デアリ、蠶絲業其モノ、實體デハナイ、一種ノ補助機關ノヤウニナッテ居ルガ、サウ云フモノモ漸次省イテ、問屋業ノ如キ最モハツキリシタ中間者ノ獨立ヲ認メテ居ルト云フコトデアリマス、ドウモ中央會ノ幹部組織ヲスル上ニ於テ、依然トシテ大日本蠶絲會ノ弊害ヲ新タナル立法ニ於テ中央會幹部組織ノ上ニ維持シヨウト云フ不純ナル考カラ斯ウ云フ骨子ノ立案ヲシタノデハナイカト私ハ疑フ節ガ多クアル、主務省トシテハ、ソナ考ハアリマスマイガ、併シ漏レ聞ク所ニ依レバ、大日本蠶絲會ノ幹部ニ指導ヲ與ヘテ、サウシテヤハリ大日本蠶絲會ノ幹部ガ權勢ヲ保チ得ルヤウナ立案ノ方式ヲ與ヘタト云フヤウナコトモ、世間ニ噂トシテ傳ヘラレテ居ルト云フヤウナコトモ聞イテ居ル、此六團體ノ組織カラ申シマスルト云フト、中央會ヲ見マスルト、養蠶家代表ト云フモノ、發言勢力ト云フモノハズツ狹メラレテ來テ居ッテ、ヤハリ製絲家、輸出業者ガ蔓ルト云フヤウナ工合ニナッテ居ルノデアリマスカラシテ、サウ云フヤウナ、此立法ノ過程

經過ニ於テ、何カ中間業者ノ獨立性ヲ認メナイト云フコトニ付テ、不純ナ動機ガ挾マテ斯ウ云フヤウナ結果ニ相成ッタノデハナイカト云フ疑ヲ私ハ持ツ者デスガ如何デスカ

○加藤委員 一寸青木委員ノ質問ニ關

聯シテ——只今青木委員カラ大日本蠶絲會云々ト云フ言葉ガアリマシタガ、是ハ蠶絲業同業組合中央會ノ間違デハナイカト思フノデアリマス、間違デアレバ、ソレヲ御直シ願ヒタイ、間違デナイトスレバ、斯ウ云フコトハ、私カラ能ク其間違デアルト云フコトヲ明カニシテ置ク必要ガアルト思フノデアリマス、ソレデ一寸青木サンニ伺ヒマス

○青木委員 其點モ政府カラハツキリ、

私ノ間違ダッタラ間違ノ點ヲ正誤シテ戴ケバソレデ宜シイノデアリマス

○小平政府委員 青木サンノ御質問ノ

ヤウナ點ハ毛頭ナイノデゴザイマス、此立案ニ當リマシテハ、寧ロ從來ヨリモ養蠶業者ノ利益ヲ十分代表セシムル目的ヲ以テ新シク蠶絲業組合法案ヲ提出シタノデアリマス、決シテ養蠶業者ノ意見ガ、中央ニ出テ、外ノ方トノ對抗上意見ヲ弱クスルト云フヤウナ考ハ毛頭持ッテ居リマセヌ、又此蠶絲業組合法案ニ於キマシテハ、議員ノ選定ニ付テハ更ニ明瞭ナル定款デ以テ、公平ニ利益ガ代表出來ルヤウニ考ヘテ居ル譯

デゴザイマス、此處ニ舉ゲタ六種ノ業者ノ利益ヲ十分代表出來ルヤウニ議員ノ構成策ヲ考ヘタイト思フノデアリマス、必ズシモ各業組合カラ同數ノ議員ヲ出スト云フコトモ想像シテ居リマセヌガ、十分養蠶業者ノ利益ヲ代表出來ルヤウニ議員ノ組織ヲ構成シタイト云フコトヲ考ヘテ居ル譯デアリマシテ決シテ養蠶業者ノ中央ニ於ケル利益ノ代表ヲ狹メルトカ弱メルトカ云フ考ハ毛頭持ッテ居リマセヌ、寧ロ養蠶業者ノ利益ヲヨリ多ク代表サセヨウト云フ考ヲ以テ立案シタ次第デアリマス、ソコハ誤解ノナイヤウニ願ヒタイト思ヒマス

○加藤委員 私チヨット……大日本蠶

絲會ト本案トノ關係、即チ政府ト大日本蠶絲會トノ間ニハ何等ノ交渉ノナカタコトヲ、茲ニハツキリト申シテ置キマス、ドウカ御諒解ヲ願ヒマス

○永田委員 私モヤハリ前ノ青木サン

横川サンカラ御質問ガアッタヤウニ多少サウ云フ感ジヲ持ッテ居ルノデアリマス、即チ此案ハ此際遽ニ御提出ニナリマシタ結果、多少地方ノ實際ノ養蠶家ノ狀態ニハ少シ御研究ガ少イヤウナ感ジガアルノデアリマス、ソレハ前ノ議員ガ仰シヤッタヤウナ第一地方養蠶家ニ直接關係ノアル苗木同業組合、及ビ乾繭組合、繭ノ仲買商ノ如キモノ、

田舎ニ於キマシテハ直接養蠶家ニ大事ナ組合デアリマスカラ、其他繭市場組合デアルトカ、何レモ直接養蠶家ニ必要ナ組合團體デアルノデアリマスガ、是等ノ數モ全國ニハ多數アルト考ヘテ居リマス、然ルニ生絲ノ輸出組合デアルトカ、問屋デアルトカ、是ハ勿論中央ノ市ノ方ニハ多イカモ知レマセヌガ、此數モ考ヘテ見ルト云フト、地方ノ苗木組合トカ繭ノ仲買組合トカ、繭市場組合トカニ較ベテ、至ッテ少イト思ヒマス、ソレ等ハ全國組合ガ出來テ居リマスガ、田舎ニアル所ノ苗木組合、市場組合竝ニ乾繭組合等ハ相當ニ出來テ居ル、此國ノ中央蠶絲會ニ近イモノ

ニ、特別議員ノ設置ガアル、此特別議員ハ先程當局ノ御説明ガアリマシタケレドモ、是デハ恐ラク地方養蠶家ナドハ頭ヲ出シ得ナイダラウト云フヤウナ疑ヲ持ッテ居ルノデアリマス、左様ニナルト甚ダ語弊ガアルカモ知リマセヌガ、一面是ハ中央ノ頭バカリ多ク竝ベラレルノデアリマシテ、地方團體ノ實情ニ明ルイ人ハ或ハ發言權ヲ其ノ際ニ於テ多クヲ贏チ得ナイコトニナリハシナイカ、ソレハ實際地方ノ養蠶家等ニ取ッテハ杞憂ニ堪ヘナイ點デアリマス、以上ノ理由カラ、私ハ是非乾繭組合ト

カ、苗木組合、仲買組合デアルトカ、繭ノ市場組合等モ、ヤハリ地方カラ、

郡カラ、縣カラ、全國組合ニ頭ヲ揃ヘテ戴クヤウニ、此組織ヲ變ヘテ戴イタラ、吾々養蠶家ノ立場ハ結構ト存ズルノデアリマス、此點ハ前ニ御答辯ガアリマシタカラ委員長ノ御許ヲ得マシテ希望トシテ申上ゲテ置キマス

○林委員 私ハ實ハ色々御質問致シタイコトガアリマスガ、是ハ大臣ニ御質問致シタイと思ヒマスカラ、本日ハ是デ打切ルコトニ致シマスガ、只今マデノ質問應答ヲ承レバ承ル程、私ハ妙ニ感ズルデアリマス、全國ノ養蠶家ノ組合ト云フモノガアリマシタナラバ、府縣ノ養蠶家組合ハナイ方ガ統制的ニ宜シクナイカト思ヒマスルカラ、是ハ將來御差支ナケレバ宜シイガ、妙ニ感ズル譯デアリマス、モウ一應……

○小山委員長 御諮リ致シマス、一時休憩ヲ致シマシテ、午後、速記課トノ關係モアリマスカラ、其都合ヲ見テ再ビ會議ヲ繼續致シタイと思ヒマス——休憩致シマス

午後零時十分休憩

午後三時十五分開議

○小山委員長 ソレデハ午前ニ引續キマシテ會議ヲ始メマス——林サン

○林委員 私ハ實ハ極ク簡單ダガ、大臣ニ伺ヒタイと思ッテ居リマシタカラ、外ノ委員ニドナタカドウカ……

○小山委員長 林サンノハ大臣御出席マデ保留シテ置キマス——木村サン

○木村委員 先程青木君ノ質問ニ對シテノ御答辯デ、養蠶ノ方ニ關係ノアツテ、法案ニ包含スルコトノ出來ナイモノハ、他ノ同業組合法ト云フヤウナモノデ取締ヲスルノダト云フコトデアッタヤウデアリマスガ、到底サウ云フ風ナコトデアッテハ、統制ガ十分ニ附カナイト云フヤウナ考ヲ持ッテ居リマスケレドモ、其他ノ總テノ乾繭組合デアルトカ、其他ノ仲買デアルトカ、サウ云フ風ナモノヲ、之ヲ法案ノ中ニ含マセルト云フヤウナコトハ、出來ナイモノデアルカ、ソレヲ御尋シタイ、ソレカラ日本蠶絲會ト云フモノニ、代表者トシテ出席スルコトノ出來ル資格者ハ、製絲家ト養蠶業者トノ間ニ、權衡ヲ失スルヤウナコトハナイカ、即チ言葉ヲ換ヘテ申セバ、恐ラク同數ナル所ノ人ヲ出シテ、サウシテ相談ニ與ラセルノデアルト云フヤウナ意味ノコトヲ、言ハレタヤウニ伺ッタノデアリマスガ、果シテサウ云フヤウナ制限ガ出來ルノデアリマスカ、若シサウ云フヤウナコトガ出來ルトスレバ、定款ノ準則ガ出來テ居ルト思ヒマスガ、定款ノ準則ト云フモノガ出來テ居レバ、此際御示ヲ願ヒタイと思ヒマス

○小平政府委員 木村サンノ御問ニ對

シテ御答致シマスガ、蠶絲業者ヲ六種ニ限ッテ此法案ニ取入レタノデアリマスガ、其外ノ色々ナ業者ヲ入レルコトガ出來ナイカドウカト云フ、御問デゴザイマシタガ、是ハ私ノ方ニ於キマシテ、法案ヲ立案スル時ニ、色々考慮致シマシタガ、産業組合ノ乾繭事業、産業組合ノ共同販賣事業、農會デ行フ指導獎勵事業ト云フモノハ、行政廳ノ認可ヲ得レバ加入出來ルコトニ考ヘテ、其途ヲ開イタノデアリマスガ、其外ノ業種ニナリマススト云フト、非常ニ難多デアリマシテ、而モ其法案デ考ヘタヤウナ統制ト云フ點ヨリハ、弊害ノ除去ニ必要ガアルヤウニ考ヘタノデ、隨テソレヲ取入レナイヤウニ立案シマシタ、ソレカラ又實際ヲ考ヘマシテモ、蠶絲業ニ關係アル各業者ヲ、全部強制加入デ入レルコトニナリマスルト云フト、是ハ大變ナコトニナルノデアリマシテ、法制上ノミナラズ、實際上カラモ到底是ハ不可能デアルヤウニ考ヘタノデアリマス、例ヘバ蠶絲ノ冷藏業者等ニナリマススト、或ハ繭ノ倉庫業者等ニナリマススト云フト、外ノ業ヲ兼ネテ居リマスシ、又色々ノ季節ノ事業ヲ季節ノニ偶然ニホノチヨッピリ、サウ云フ仕事ヲヤル業者モアリ、サウ云フモノヲ全部養蠶業トカ、製絲業トカ云フヤウニ、強制加入ラシテ公法人ヲ作ラセルト云

フコトハ、到底不可能デハナイカト考ヘタノデアリマシテ、サウ云フ業者ノ弊害ヲ除去スルト云フ點ハ、現在ノ同業組合ナリ、蠶絲業法デ十分出來ルシ、殊ニ蠶絲業法デハ相當ノ刑罰マデ科シテ取締ルヤウニナッテ居リマスカラ、其方面デ十分目的ヲ達スルヤウニ、積極的ニ蠶絲業ヲ統制スルト云フ、此制度ニハ寧ロ入レナイ方ガ、蠶絲業統制ノ目的ヲ達スル上ニ適當デハナカラウカト考ヘタ次第デアリマス、ソレカラ日本中央蠶絲會ノ議員ノ構成ハ、本案ニ依ルト日本中央蠶絲會ヲ組織シテ居ル各業種別ノ全國ノ聯合會カラ相當ノ議員ヲ選舉シテ、其議員デ總會ヲ構成スルコトニナッテ居リマス、其議員ノ配當ニ付テハ、農林省ノ施行規則デ、各業者、殊ニ養蠶業者ノ方ノ利益モ十分公平ニ代表出來ルヤウニ決メタイと思ヒマス、施行規則デサウ云フ議員ノ配當ヲ公平ニ決メルノミナラズ、此法案ニ依ルト蠶絲業全體ニ關スル重要問題ニ付テハ、特別ノ議決權ヲ以テ、二分ノ一以上出席シテ、三分ノ二以上ヲ以テ決議シナケレバ效力ガ發生シナイヤウニナッテ居リマスノデ、各業者ノ利益ヲ公平ニ代表出來ルト思ヒマス、殊ニ從來ノ中央會ト較ベルト、養蠶業者ノ利益モ十分代表出來ルヤウニ考慮シテアリマシテ、其點ハ御心配ナイヤウニ考

ヘテ居ル譯デアリマス、ソレカラ投票ノ數ヲ平等ニ出ストカ云フコトハ、中決メ難イノデアリマシテ、設立後ニ於テ各業者ガ集ル其數ニモ非常ニ依ルカト思ヒマス、ソレ等ハ設立ノ凡ソノ見當ガ付キマスマデニ、十分施行規則ヲ養蠶業者ノ利益ガ代表出來ルヤウニシタイト考ヘテ居リマス

○木村委員

大體諒承致シマシタ、即チ施行規則ニ於テ公平ニ意見ノ代表ガ出來ルヤウニシテ置ク、而シテ重要ナ事項ニ對シテハ、出席議員ノ三分ノ二以上ノ決議アルニアラズンバ變更スルコトガ出來ナイ、左様ナコトカラ養蠶家ノ利害ニ付テハソレ程考慮スルニハ及バヌデハナイカ、至極御尤デ、其通リニ參レバ結構ナコトデアルト思ヒマス、併ナガラ今日マデ養蠶家ト製絲家、即チ買フ方ト賣ル方ト云フヤウナコトデ、利害ハ常ニ相反シテ居ル、サウ云フヤウナ所カラ、ドウシテモ一致スルコトガ出來ナカッタ、サウ云フヤウナ利害關係ヲ相談スル上ニ於テモ、ソレハ重要ナ事項トシテ、三分ノ二以上ノ同意ヲ得レバ差支ナイト云フヤウナ風ニスルコトガ出來ルモノデアルカ、ドウモ御話ハ洵ニ結構ニ聽エルガ、其裏面ヲ考ヘルト、其數ニ於テハ違フノデアルト云フコトヲ物語ッテ居ルノデハナイカ、不均等ナル配當ニ依ッテ選出セ

ラレタ代表者ニ依ッテ決セラレタナラバ、或ハサウ云フコトニナルカモ知レヌガ、何レモ十人ヅ、出スノデアルト云フナラバ、單ニ三分ノ二以上ノ決議ヲ以テシナケレバ重要ナルコトヲ決スルコトハ出來ナイト云フノデハ、安心出來ナイデハナイカ、其點ヲモウ少シ具體的ニ御説明ヲ願ヒタイ、ソレカラ此成文ノ上カラ、附則ノ上カラ見ルト、同業組合ト云フモノハ段々減スト云フカ、ナクスト云フコトニナルノデハナ

○小平政府委員

日本中央蠶絲會ノ總會ノ構成、是ハ別ニ同數トモ決メテ居アルノデハアリマセヌ、施行規則ヲ作ル上ニ於テ、十分各業者ノ利益ヲ代表出來ルヤウニ決メルノデアリマシテ、同數ニスルコトガ却テ各業者ノ利益ヲ公平ニ代表セシメ得ナイコトニナレバ、無論同數デナイ方ガ宜イト思ヒマスガ、是ハ實際中央蠶絲會ヲ作ル構成員ノ數トカ、或ハ養蠶ノ方ニ於テハ、日本全國ノ養蠶實行組合ノ中央ニ現ハレテ來ル傾向ニ依ッテ、議員ノ配當ハ實際ニ即シテ十分養蠶業者ノ利益ガ代表出來ルヤウニ考慮シナケレバナラヌト思ヒマス、尙ホ定款ノ變更等ハ、總テ農林大臣ノ認可事項ニナッテ居リマスカラ、是ハ當業者ガ如何ヤウニ變更シテモ、農林省カラ見テ公平ニ各業者ノ利益ガ代表出來ヌヤウナ定款ノ變更ハ絕對ニ認可シナイノデアリマス、是ハ農林省デ十分監督ガ出來ルト思ヒマス、今一ツノ同業組合ノ關係デアリマスガ、重要物產同業組合ニ依ル蠶絲業者ノ同業組合ノ中デ、今回新シイ此案ニ依ッテ出來ル製絲關係ノ組合、產業組合、製絲組合、輸出組合ノ問屋、輸出業者ノ組合、蠶絲製造業者ノ組合ハ、全部此案ニ變ラセル積リデアリマス、此案ニ依ル蠶絲業者組合ニ變ッテシマフ譯デアリマスカラ、其經過時代ニ於テハ、或ハ半年ナリ、一年ナリ、兩方ノ團體ガ存在シマスケレドモ、全部此案ニ依ル組合ニ變ッテシマヘバ、此案ニ依ッテ組合ヲ作ル業者ハ同業組合ハ作ラナイコトニナル譯デアリマ

ス、隨テ同業組合デ弊害ノ矯正ヲスルト云フ業者ハ、此法案ニ認メタ業者以外ノ各種ノ蠶絲業關係ノ業者ニナル譯デアリマシテ、其各種ノ蠶絲業ニ間接シテ居ル業者ノ同様組合ハ、現在ノ蠶絲業同業組合法ニ殘シテ削除シナイデアル譯デアリマス、蠶絲業同業組合法ノ之ニ伴フ改正案ニ於キマシテハ、サウ云フ業者ノ同業組合聯合會ハ、從前通りニ存在セシメルヤウニシテ、其點ハ改正ニ觸レテ居ラナイヤウナ次第デアリマシテ、其各種ノ間接ノ業者ハ、從來通り同業組合ヲ作ラシテ、指導シ監督スルコトニ考ヘテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○木村委員

能ク御話ハ分リマシタ、唯之ヲ決定致シマス時分ニ、附帶條件ト云フヤウナ風ニシテ、後々皆サント御相談スルコトニ致シマスガ、兎ニ角養蠶家、製絲家、或ハ其他問屋業デアルトカ、サウ云フヤウナ者ニ對スル權利ト云フモノニ、甲乙ノナイヤウナ風ニ施行規則ヲ作ッテ戴キ、其他養蠶業者ヲ保護スルト云フコトニシテ、其點ヲ十分ニ考慮ノ中ニ入レテ置イテ戴キタイ、サウ云フコトノ希望ヲ申述ベテ、此質問ハ打切テ置キマス

○永田委員

是ハ直接此法案ニハ關係アリマセヌケレドモ、ヤハリ間接ニハ關係アルト思ヒマスカラ、五分力十分

ダケ、他ニ互ルカモ知レマセヌガ御許
シニナリマスカ

○小山委員長 ドウゾ……

○永田委員 私ハ地方ニ於ケル蠶絲業
ノ當局ノ指導ニ付キマシテ、少シ御意
向ヲ御尋シタイト思フノデアリマス、
御承知ノ通り地方ノ農村ノ蠶業等ノ指
導ニ付キマシテハ、男子ニ關スル指導
ハ、縣ノ方デモ町村ノ方デモ、盛ニヤッ
テ居ルノデアリマス、併シ私ハ肝腎ナ
女子ニ關スル方面ガ除ケテ居ル傾向ガ
アルト思ヒマス、殊ニ此養蠶業ノ如キ
ハ女子ガ主トナッテ働クコトデアリマ
スカラ、此方面ニ對シテ政府當局ノ御
意向ヲ御伺ヒシタイノデアリマスガ、
一體農林省ノ方デ地方ノ蠶業試験場ヲ
御設ケニナッテ居ル、是ハ無論男子ノ指
導デアリマスガ、縣ニ依リマス、男
子ノ試験場ノミナラズ、女子ノ試験場
ヲヤッテ居ル所ガアルノデアリマス、私
ノ鹿兒島縣ニモ、大隅半島ト大島郡ノ
方ニ二箇所女子ノ蠶業試験場ガアルノ
デアリマス、此女子ノ蠶業試験場ハ、
日本全國ドンナ工合ニナッテ居リマス
カ、私ハ寡聞ニシテ能ク分リマセヌガ、
男子ノ試験場竝ニ女子ヲ收容シテ指導
スル試験場等ニ對シテ、政府ガ從來補
助デモヤッテ獎勵サレタ例ガアリマス
カ、又補助スルヤウナ御意向デ居ラシ
ヤルカ、斯ウ云フ點ヲ御尋シタイノデ

アリマス、是ハ近來農村ノ傾向ニ鑑ミ
テ、私ハ最モ大事ナコト、思ッテ居リマ
ス、最近地方デハ郡部ニモ高等女學校
等ガ出來テ居リマスガ、是等ノ教育ヲ
受ケタ者ハ餘リ華美ニ流レテ、農村ノ
勞働ヲ嫌ッテ、都會ニ飛出ス弊ガアリマ
ス、是ガ延ヒテ農村不況ノ一大原因デ
アラウト思ヒマス、斯ウ云フ財界不況
ノ時期ニハ、成タケ女子ガ家ニ踏留マ
ッテ働カナケレバナラヌト思ッテ居リマ
ス、斯ウ云フ方面カラ考ヘテ、今日女
子ノ蠶業試験場ニ對シテ、政府當局ガ
意ヲ用ヒラレルコトガ、最モ大切ナ事
ダト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ其
他實際農村ノ生活ヲ見テ見マス、男
子ハ色々ナ事ガアッテ外ニ出テ働ク爲
ニ、本當ニ家庭ニ居ッテ家事ニ精ヲ出ス
者ハ女子デアルト思ヒマス、是等ノ理
由カラ、政府當局ハ實際地方農村ノ狀
態ヲ精シク御調査ニナッテ、成タケ女子
ハ農村ニ踏留マッテ、斯ウ云フ實業方面
ニ働クヤウナ風ニ仕向ケテ行クコトヲ
御願スル次第デアリマス、無論是ハ先
進地ノ地方ハ、サウ云フ憂ヒハナイカ
モ知レマセヌガ、關西ノ養蠶ガ今折角
芽ヲ出シテ居ル處ハ、最モ大事ナ事ダ
ト思ヒマス、是等ニ付テ當局ノ御意向
ヲ一應御尋シタイト思ヒマス

○小平政府委員 永田サンノ御質問ハ
御尤デアリマシテ、養蠶ノ方面ニ女子
ノ手ヲ要スルコトハ、非常ニ多イカト
思フノデアリマス、實際農家ノ經濟カ
ラ考ヘマスレバ、男ノ人ヲ雇入レルヨ
リハ、農家ノ婦女子ヲシテ働カセテ、
却テ非常ニ能率モ舉ルシ、經濟モ改善
出來ルト云フ點モ十分アルカト思フノ
デアリマス、農林省ニ於キマシテハ、
從來女子ノ講習ニ對シテハ、補助金ヲ
出シタコトハゴザイマセヌ、御説ノ通
リ、女子ニ付テ從來補助金ヲ出サナカ
タコトハ、或ハ將來改善スル必要ガア
ルカト思フノデアリマス、御説ニ依リ
マシテ、將來ハ女子ノ試験場ニ於ケル
活動等ニ付テモ、出來ルダケ女子ニ便
宜ヲ與ヘルヤウニ方針ヲ執リタイト思
フノデアリマス、女子ガ都會ニ出ルヤ
ウナ問題ニナリマス、是ハ農林省以
外ニ文部省、內務省等ノ所管事項ニモ、
色々ソレニ對スル施設ガアルカト思フ
ノデアリマスガ、私ノ局トシマシテハ、
出來ルダケ女子ニモ養蠶ノ方ニ十分手
助ガ出來ルヤウニ、指導獎勵ノ方針ヲ
進メタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、今
後此點ニ付テ十分注意ヲシテ指導獎勵
スル積リデゴザイマス、左様御承知ヲ
願ヒマス

○永田委員 現ニ私ノ鹿兒島縣デハ、
町村ガ蠶業試験場ヲ造ッタ場合ニ、建物
カラ何カラ一切四萬圓寄付シタノデア
リマス、ソレニ縣ガ一萬圓位ノ金ヲ出
シテ居リマス、僅カ三十名シカ定員ガ
アリマセヌガ、其募集ニ應ズル者ハ、
約百數十名ニ達シテ居リマス、是ハ結
構ナ事ト思ッテ居リマスアレドモ、貧弱
ナル町村ヤ縣ノ經費デハ、擴張モ出來
ヌノデアリマス、現ニ講堂モ持チマセ
ヌケレドモ、ソレモ出來ナイ、所ガ女
子ノ講習生ハ、地方ノ縣立ノ女學校ヲ
卒業シタ者ガ、半數以上ヲ占メテ居ル
ノデアリマス、是等モ結構ナ事ト思フ
ノデアリマスガ、是等ガ一年デ其處ヲ
卒業シマス、眞面目ニ農村デ働イテ
居ルノデアリマス、是ハ良イ例ト思ッテ
居リマス、ソレニ付テ卒業業者ノ傾向ヲ
見テ見マス、從來養蠶ノ管理ナドハ
男ヲ雇ッテ居ッタノデアリマスガ、ソレ
ヨリモ女子ノ方ガ夜モ晝モ眞面目ニ働
クト、非常ニ評判ガ好イノデアリマス、
私共縣ノ方ニ行ッテ、斯ウ云フ良イ事ヲ
何故ヤラヌカト言フノデアリマスガ、
地方モ財政ガ御覽ノ通り行詰ッテ非常ニ
困難シテ居ル、斯ウ云フ際ニ中央カラ
一寸デモ補助ガアレバ、非常ニ地方ハ
助カルト思ヒマスカラ、是等ハ是非御
考究ノ上補助ヲ出シテ行クヤウニ希望
ヲ申上ゲテ、是デ質問ヲ打切テ置キマ
ス

○菅村委員 一寸今ノ永田君ノ質問ニ
關聯シテ當局ニ申上ゲテ置キタイ、私
モ永田サント頗ル同感ノ意思ヲ持ッテ

居リマス、養蠶ト云フモノハ、ドウシ
テモ婦人ノ手ニ於テ稚蠶飼育、又大キ
クナツテカラモ、大體ノコトハ婦人ガヤ
ルノガ一番宜イ、玆ニ私ハ私ノ福島縣
ノ事情ヲ申上ゲテ見マスガ、福島縣ニ
ハ縣立ノ蠶業試驗場ガアルノデアリマ
ス、所ガ其分場ト云フモノガ一ツ私共
ノ郡ニアルノデアリマスガ、是ハ主ト
シテ夏秋蠶ノ原蠶種ヲ採ツテ當業者ニ
配付スルコトニナツテ居ル所ガ、此處ハ
女子ノ講習生ヲ定員約五十人、二箇年
デ養成シテ居リマス、成績ガ非常ニ宜
シイ、其處ヲ出タ者ハ家庭ニ歸ツテ、自
ラ養蠶ヲ營ンデ家庭のニヤル者ガア
ル、或ハ其部落若クハ村内ノ實行組合
等ノ指導員等ニモナツテ居ル、極メテ成
績ガ良イ、男ヨリ眞面目デアアル、ソコデ
今度ハ梁川ニアル所ノ蠶業試驗場ノ本
場ニモ女子部ヲ置キタイ、斯ウ云フコ
トガ舊冬ノ縣會デ問題ニナリマシタ、
所ガ現在此方ハ男バカリヤツテ居ルノ
デ、男ト女ヲ一緒ニ置クト云フコトハ
困ルト云フヤウナ話モアリマシタガ、
ソレハ寄宿舎ナリ何カラ別ニスレバサ
ウ云フ弊害ハナイ、斯ウ云フコトニナ
リマシテ、滿場一致デ此方ハ三十人、
本年度カラヤハリ女子ヲ入レルコトニ
ナツタ、養蠶ノ根本論カラ私共言フト、
是ハ專業デハナイ、ヤハリ農家ノ副業
デアアル、其副業カラ申シマス云フト、

女子ガ一番養蠶ノ主人公トナツテヤル
ノガ宜シイノデアリマス、斯ウ云フコ
トハヤハリ永田サンノ意見ト同ジデア
リマス、デアリマスカラ出來得ベクン
バ農林省トシテモ、之ヲ御獎勵ニナツタ
方ガ宜カラウト思ヒマス、ソレカラ私
ノ縣ナドデモ、ヤハリ養蠶ニ關スル講
習、講話、或ハ二日、三日、地方々々デ養
蠶ニ關スル講演會等モアリマス、或ハ
一週間位ノ長期ニ互ツテ、縣ノ蠶業試驗
場或ハ國ノ蠶業試驗場カラ出テ貫ツテ
講演會モヤリマスガ、主トシテ婦人ヲ
集メルコトニ努力シテ居ル、其方ガ效
果ヲ舉ゲ易イコトナノデアリマス、是
ハ私ガ今永田サンノ質問ニ對シテ氣付
イタノデ、當局ノ參考ニ申上ゲテ置キ
マス

○木村委員 此法案ニハ關係ガナイコ
トダガ、先程或ル製絲家カラ一寸聽イ
タコトデアアルカラ、ソレヲ一寸伺ツテ置
キタイ、ソレハ生絲ノ検査デ、國立檢
査ト云フモノデ合格シテ行ッタモノガ、
輸出商ノ検査ヲ受ケルト云フト落第シ
テシマツテ、非常ニ點數ヲ引カレルト云
フヤウナコトヲ聽イテ居ルガ、果シテ
サウ云フ事ガアルノデアアルカ、ドウデ
スカ、御聞キ致シタイ、ソレカラサウ
云フコトハアリ得ベキコトデアアルカド
ウカ伺ヒタイ

○小平政府委員 生絲ヲ今國立検査所
デ検査シテ居リマス強制検査ハ、正量
検査ノ方ダケデアルト考ヘマス、アト
ノ品位ノ方ハ任意検査デアツテ、是ハ強
制シテ居リマセヌカラ、御話ハドチラ
ノ點ニナリマスカ、正量検査ノ方ナラ
バ、國立検査所デ検査シタ正量ニ依ラ
ナケレバ取引出來ナイノデゴザイマシ
テ、若シ此國立検査ノ正量ニ依ツテ取引
シナイ者ガアルトスレバ、是ハ刑罰ニ
處スルナリ、非常ナ制裁ガアリマスカ
ラ、多分正量ノ方ハ其問題ハナイカト
思ツテ居リマス、品位検査ノ方デモ、現
在國立ノ検査所デ検査シテ居ル方ハ任
意デアリマスガ、其儘輸出商ノ手ヲ經
テ亞米利加邊リヘ出テ居リマスカラ、
ドウ云フ點デサウ云フ問題ガ起キマシ
タノカ、ハッキリ諒解出來ナイノデアリ
マスガ、今度提案シマシタ輸出生絲檢
査法ノ改正法律案ニ依リマシテ、是ガ
幸ヒ通過シマスレバ、品位ノ方モ全部
強制検査ニナル譯デアリマシテ、サウ
シマスト國ノ検査所デ検査ヲ受ケタ品
位ニ依ツテ取引シナケレバ取引出來
ナイコトニナリマス、品位検査ヲ經タ
ルモノデナケレバ輸出出來ナイコトニ
ナリマシテ、品位検査ヲ經タルモノハ
封印ヲシテ、検査所デ嚴重ニ解體ノ出
來ナイヤウニスルコトニナリマスカ
ラ、今度改正ノ法律案ガ通過シタ後ニ
於テハ、サウ云フコトハ絕對ニナイカ
ト思フノデアリマス

○永田委員 此問題ニ直接關係ハアリ
マセヌケレドモ、私ハ蠶業試驗場ノ名
稱ニ付テ當局ノ御意見ヲ承リタイノデ
アリマス、承リマスト縣ニハ縣立ノ試
驗場ト云フモノハ、一ツシカ名稱ヲ御
許シニナツテ居ラヌヤウニ聞イタノデ
アリマス、ソレデ他ニ試驗場ヲ設ケル
場合ハ、縣立試驗場ノ支場又ハ分場ト
云フ名稱ガ付セラレテアルノデアリマ
ス、此結果縣デハ試驗場ノ豫算ヲ多ク
組ム、サウシテ試驗場長ノ資格ナドモ
ヤハリ俸給ノ高イ人ヲ置ク、所ガ支場
ノ方ハ支場ダカラト云ツテ、支場長初メ
待遇等モ惡イヤウデアリマス、私ハ嘗
テサウ云フ筈ハナイデアラウ、一縣ニ
試驗場ハ二ツアツテ、支場ノ名稱ハ取ッ
テモ宜イデハナイカト云フコトヲ御尋
シタノデアリマスガ、何か中央規定
ガアルカラ出來ナイト云フコトデアリ
マシタ、ソレガ事實デアアルカ、ソレニ
付テ御尋シタイノデアリマスガ、其一
例トシテ、私ノ鹿兒島縣ハ、薩摩半島
ニ鹿兒島縣ノ縣立ノ蠶業試驗場ガアリ
マス、是ハ男子ノ講習生ヲ養成シテ居
リマス、大隅ニアルノハ大隅分場ト云
フ名稱ガアツテ、是ハ女子ノ講習生ヲ
テ居リマス、所ガ此頃ハ大隅ノ方ガ却
テ蠶養モ盛ンニナツテ來タ、試驗ノ方ハ
本場デシテ居リマスケレドモ——所ガ

縣ノ豫算ハ本場ノ方ハ一萬七八千圓アリマスケレドモ、支場ノ方ハ漸ク一萬圓シカナイト云フヤウナ状態デアリマス、是等ハ地方ノ實情ニ照シテ洵ニ困ル問題デアリマスカラ、同ジ府縣ニ試験場ヲ置ク場合、支場ト云フ名稱ヲ取ッテ、例ヘバ大隅試験場、薩摩試験場ト云フ名稱ヲ用ヒテモ差支ナイノデアリマス、斯ウ云フコトニ付テ御尋シタ

イノデアリマス
尙ホ先刻申上ゲマシタ女子ノ養成デアリマスガ、是ハ私ノ地方デモ漸ク一

年シカヤッテ居リマセヌ、ヤハリ理想トシテハ一年半カ、二年ヤリマシテ、家事トカ、裁縫トカ、色々ノ練習ヲ受ケマスト云フト、非常ニ農村ニ取ッテ結構デゴザイマス、又製絲等モ教ヘテ戴ケバ尙ホ結構デアリマス、是等ニ付テ研究ヲシテ戴キタイノデアリマス、餘リ高等ナル教育ハ私共希望セヌノデアリマス、農村ノ實際ニ適合シタヤウナ、簡易平易ナ方法デヤッテ戴クコトヲ希望スルノデアリマスカラ、其處ハドウカ御含ミヲ願ッテ置キマス

○小平政府委員 永田サンノ御質問ニ御答致シマス、現在ノ規定デハ、試験場ハ道府縣ノ試験場トナッテ居リマシテ、一ツダケ認メルコトニナッテ居リマス、從前——現在ノ規定前ニ於キマシテハ、或ハ府縣デ二ツ以上設置セラレ

タモノモアリマスケレドモ、現在ノ規定デハ各府縣一ツヅツニナッテ居リマス、府縣デ二ツ以上ト云フコトニナリマスト云フト、是ハ縣ノ統治上ノ問題ニモナリマス、現在ハ各府縣一ツヅツニ原則ガ決メテ居リマスガ、從前——現在ノ規定前ニ於キマシテハ、例ヘバ岐阜縣デハ岐阜、高山、大井ノ三箇所ニアリマス、茨城縣デハ第一、第二トアリマスガ、現在ハ新シク設置スルモノハ、各縣一ツト云フ原則ヲ採ッテ居ルヤウナ次第デアリマス

○永田委員 縣ニ一ツ置カレト云フノハ、ドウ云フ譯デヤッタノデアリマス、地方ニ依リマシテハ、縣ノ地勢ニ依ッテ一縣一ツデモ宜イ所モアリマスケレドモ、鹿兒島縣ノ大隅郡ノ如キハ、數十里モ離レテ居ルノデアリマス、又薩摩半島、大隅半島、ア、云フ風ニ非常ニ隔タッテ居ル所ハ、一箇所デハ困ル所ガアルノデアリマス

〔委員長退席、下元理事著席〕

○永田委員

從來ノ一縣ニ二ツヲ御認ニナタナラバ、斯ウ云フ窮屈ナ規定ヲ御設ケニナラヌデモ、ソレヲ元ノ通りニサレマシテ、名稱モ大隅蠶業試験場トヤッタ方ガ、卒業生ニ取ッテモ宜カラウト思ヒマス、又事實ニ於テ本當ニ效果ノアルヤウナ規定ヲ御設ケニナッタ方ガ、地方ノ人ガ助

カルノデアリマスカラ、ソレヲ中央カラ事務等ノ關係ニ依ッテ、サウ簡單ナ理由デサウ云フコトヲヤラレルノデハ、地方ガ困リマスカラ、將來何カ御研究ノ結果、省令デモ改廢ガ出來ルモノナラバ、元ノ通りニヤッテ戴クヤウニ切ニ希望スル次第デアリマス、是等ニ對シテノ御意見ヲ簡單ニ御伺致シマス

○小平政府委員 現在道府縣ニ一ツト云フ制度ハ蠶絲業、主トシテ養蠶デアリマスガ、是ハ縣全體ヲ統制スルト云フ意味デ出來テ居リマス、是ハ統率試驗場ト云フヤウナ、縣一ツト云フ大方針ヲ採ッテ居リマス、永田サンノ御意見モ私ノ方デハ十分參考ニシテ研究ハ致シマスガ、今ノ制度トシテハ一ツダケニスルト云フコトガ、養蠶業等ノ統制上宜イト云フコト決メテ居ル譯デアリマス、御意見ハ伺ッテ更ニ當局ノ方デ調査スルコトニ致シマス

○永田委員 實際ニ於テハ困ノデアリマス、困ルノヲ知ッテサウ云フ規定ヲ御置キニナッテ居ルト、地方モ迷惑シテ居リマスカラ、簡單ニ出來ルコトナラバ、何トカ元ノ通りヤッテ戴クコトヲ切ニ希望スルデアリマス

○林委員 木村サンノ御質問ニ關聯シテ居リマスガ、蠶絲業組合ト云フモノハ、色々團體ガ集ッテ一ツノ組合ヲ造ルノデアリマス、ソレ故ニ木村サンガ

養蠶組合ヲ壓迫スルトカ、或ハ何々組合等ニドウ云フ關係アルカト云フ心配ヲシテ御質問ニナッタヤウニ思ヒマスガ、私モ其事ニ付テハ稍々疑義ヲ持ッテ居ル次第デアリマシテ、實ハ御質問シヤウト思ッテ、チヨトシタモノヲ書イテ見マシタガ、當然斯様ナ組合ヲ作レバ公平ニ今日マデノ團體ガ區分シテ居リマシテモ、今回ノ一ツノ團體トナル以上ハ、公平ナル見地ニ依ッテ之ヲ取扱フコト、ハ信ジテ居リマスガ、一ツノ會議ナドニ付キマシテモ、或ハ役員ヲ選舉スル方法ヲ、ドンナ方法ニ依ッテ公平ヲ保ツカト云フコトヲ御考ニナッテ居リマスガ、各ソレノ團體カラ出シマシテ、人員モ公平ニ出シ合ヒ、或ハ出シ合ッタ中カラ幹部ヲ選舉スルトカ、ドンナ方法ニシテ之ヲ取扱フ御考デアリマスガ

○小平政府委員

各業種別ノ箇々ノ組合ニ於キマシテハ、其組合ノ總會デ役員ヲ選舉スルコトニナリマス、各業種別ノ組合ハ一ツノ業種ダケ集ッテ居リマスカラ、ソレハ問題ナク、其業者ニ於テ總會デ、養蠶ナラ養蠶業組合ノ各地方カラノ議員カラ役員ヲ選ブコトニナッテ居リマス、此方ハ利害ノ關係ハナイカト思フノデアリマ、サウ云フ各業者ノミノ團體ガ段々集ッテ全國聯合會ヲ作ルノデアリマシテ、全國聯合會

ガ出来テ來タ後ノ日本中央蠶絲會ニ於
キマシテハ、議員ハ全國各業別ノ全國
聯合會カラ議員ガ選舉サレテ來ルノデ
アリマシテ、ソレハ蠶絲中央會デ議員
ヲ決定スルノデナクシテ、箇々ノ業種
別ノ全國聯合會カラ議員ガ出テ來ルノ
デアリマスカラ、十分利益ノ主張ガ出
來ル議員ガ選舉サレテ來ルト考ヘラレ
ルノデアリマス、ソレデ更ニ日本中央
蠶絲會ノ役員ハ、蠶絲中央會ノ總會デ
決定スルノデアリマスカ、其各業種別
ノ全國聯合會カラ出テ來マシタ議員
ト、政府デ任命シマス特別議員カラ、
原則トシテ役員ガ選任セラレル譯ニナ
リマスカラ、全國ノ養蠶業組合カラ出
テ來タ議員ノ中カラ、勿論中央蠶絲會
ノ役員モ出得ルコト、思ヒマス、又特
別議員カラモ出得ルコトニナッテ居リ
マス、サウ云フ關係カラ、中央會ノ總
會ヲ構成スル議員ト云フモノハ、各業
者カラ自由ニ議員ガ選任サレル譯デア
リマスカラ、ソコデ十分公平ニ利益ノ
代表ガ出來ルカト思フノデアリマス

○青木委員 斯ウ云フ重大ナ問題ニ付
テ、政務次官ナリ、參與官ナリ、議會
トノ聯絡ノ衝ニ當ル政府委員ガ居ナ
イト、甚ダ吾々ノ意見ヲ將來ニ保障ス
ル上ニ於テ困ルカラ、勿論小平局長ハ
責任ヲ以テ居ラレルニハ相違アリマセ
ヌガ、政務官ヲ御呼ビテ願ヒマス

○小平政府委員 御答致シマス、議員
ノ配當問題ニ付テノ御質問カト思フノ
デアリマスカ、議員ノ配當ニ問題ニ付
テハ、最前木村サンニ御答シタ通りニ、
各業者共ノ全國聯合會カラ選舉サレテ
來ル議員ノ數ニ付キマシテハ、最モ公
平ニ各業者ノ利益ガ代表出來ルヤウ
ニ、農林省ノ施行規則デソレヲ定メル
コトニナッテ居リマス、養蠶業ノ組合ノ
全國聯合會カラ出ス議員ノ數ト、其他
ノ聯合會カラ出ス議員ノ數トハ、最モ
公平ニ中央會ノ意見ガ定マルヤウニ、
施行規則デ其配當ノ關係ヲ定メタイト
思ッテ居リマス、ソレカラ議員以外ノ役
員ニ付キマシテハ、會長一人、副會長一
人又ハ二人、斯ウナッテ居リマシテ、此
方ハ配當ノ仕様モナイ譯デアリマス、各全
國聯合會カラ出テ來タ議員ガ公平ニ利
益ヲ代表シテ、ソコデ三分ノ二以上ノ
多數決ヲ以テ會長ナリ、副會長ヲ選任
シテ戴クコトニナルノデアリマシテ、
ソコデ公平ニ會長ヲ選舉シテ戴イテ、
更ニ農林省ガ其役員ニ付テハ認可ヲス
ルコトニナッテ居リマスカラ、ソレデ十
分監督シ、公平ナル役員ガ出來ルモノ
ト考ヘテ居リマス、又最モ公平ナル人
ガ役員ニナルベキモノデアリマシテ、
ソレハ農林省デ認可シテ十分監督シテ
居リマスカラ、各業者ノ利益ヲ代表ス
ル議員ガ出、十分其議員ニ於テ議ヲ練
テ、役員ノ選舉ガ出來、更ニ農林省ガ
ソレニ認可スルコトニナッテ居リマス
カラ、先ヅ心配ナイヤウニ考ヘラ居リ
マス

○林委員 府縣道養蠶組合、或ハ全國
ノ養蠶組合ト云フヤウナコトデアリマ
スカ、全國養蠶組合ガアレバ、府縣道
養蠶組合ハ無論必要ナイヤウニ私ハ考
ヘテ居リマスガ、突然此案ヲ斯ウ云フ
時ニ出スコトハ、一般ニ奇異ノ思ヒヲ
爲サシメルノデ、場合ニ依ッテハ御取消
ニナッテ差支ナイヤウニ思ヒマスガ、モ
ウ一度御説明ヲ願ヒマス

○小平政府委員 林サンノ御質問ノ點
ハ、道府縣ノ養蠶組合聯合會ノコト、
思ヒマスガ、養蠶業ノ方ハ各部落毎ニ
養蠶實行組合ガ出來マシテ、ソレデ養
蠶業組合ヲ組織スルノデアリマスカ、
養蠶實行組合ハ單位ガ非常ニ小サイノ
デアリマシテ、ソレガ道府縣區域ノ單
位ノ養蠶業組合ヲ作ルコトガムヅカシ
イ府縣ガ多イノデハナカラウカト思ヒ

マス、養蠶實行組合ガ共同シテ一ツノ
公法人タル養蠶業組合ヲ作ッテ統制ヲ
圖リタイト云フ場合ニ於テ、ヤハリ郡
位ニ纏マラナケレバ統制ガ執リ惡イコ
トガアルト思ヒマス、郡區域ニ纏ッテ、
一ツノ縣區域ニ纏マラナケレバ、直グ
全國的ノモノヲ作ルコトハ不便ガアリ
ハシナイカト思ヒマス、ソレカラ種屋
ノ方モ、製絲業等ノ方モ、縣毎ニ作ル
コトニナッテ居リマシテ、道府縣區域ノ
モノガ纏ッテ全國的ニナル關係上、養蠶
業組合ノミガ道府縣區域ノモノガ出來
ヌコトニナレバ、全國的ノ組織ヲ作ル
上ニ不便ニナルト云フノデ、道府縣ノ
一ツノ團體ヲ認メ、ソレガ更ニ全國的
ノ團體ヲ作ルヤウニナッテ居ル製絲業
ト同ジニ考ヘナケレバナラヌノデアリ
マス、例ヘバ長野縣ナラバ長野縣ニ於
テ、製絲業者ハ長野縣ヲ一ツノ區域ト
シテ一ツノ團體ガアリマス、然ルニ養
蠶業ガバラ／＼デ、直接全國聯合會ヲ
ルコトニナルト、實際色々ナ交渉ヲス
ルナリ、商取引ヲスル上ニ於テ不便デ
ハナカラウカ、ドウシテモヤハリ道府
縣デ養蠶業者ハ纏マリ得ルト云フ制度
ヲ認メテ置キマセヌト、非常ニ全國聯
合會ヲ作ル上ニ於テモ、又府縣ダケデ
製絲業組合、養蠶業組合ト、或ハ絹價
ノ協定ナリ、或ハ商取引ヲスル場合ニ
於テモ、非常ニ不便デハナカラウカト

第五類第三十三號 蠶絲業組合法案(政府提出)外一件委員會會議錄 第三回 昭和六年三月十六日

一七

考ヘタ結果、原則トシテ道府縣デモ養蠶業者ガ團體ヲ組織シ得ルト云フ建前ニシタノデアリマス、道府縣ノ業者ガ團體ヲ作ルトスレバ、養蠶業組合ガソコニ聯合會ヲ作ラヌト、道府縣團體ハ出來マセヌカラ、ソコ道府縣養蠶業組合ノ聯合ヲ認メ、更ニ全國ノ聯合會ヲ認メルコトニナツテ居リマス

○林委員 郡區域カラ縣聯合會ガ出來、縣聯合會ニ依ッテ又中央會ガ出來ルト云フコトハ、當然ノコト、思ヒマス、今ノ御説明中ニ實行組合ト云フモノガアリマスガ、一體實行組合ト云フモノハ、ドウ云フ仕事ヲシテ居リマスカ、養蠶組合ガ出來レバ、其中ニ打込ンデ仕事ヲシテ居ルヤウニ私ハ考ヘマスガ、何カ特殊ナ仕事ヲシテ居ルノデスカ

○小平政府委員 實行組合ヲ認メタノハ、現在養蠶業者ハ任意組合デアアル、是ハ部落本位デ任意組合ヲ作ッテ居リマスガ、ソレガ非常ニ多數發達シテ來テ、現在二百萬七千アリマスガ、最近數年間ニ六千モ殖エタヤウナ次第デアリマシテ、其任意組合ノ部落本位ノ養蠶組合ヲ土臺ニシテ、公法人ナル郡市組合ヲ作ルト云フコトガ適當ナルコトデアアルト云フノデ、斯ウ云フ案ヲ立テマシタ、ソレデ郡市以上ノ區域ノ養蠶業組合ハ公法人デアリマシテ、農會ト

同ジヤウニ、養蠶業ノ指導獎勵トカ統制ト云フ、公法人ノ仕事ヲ目的ニ限ッテ居ル譯デアリマス、然ルニ養蠶實行組合デハ、現在任意組合トシテ行ハレテ居リマスル各種ノ事業ガ出來ル譯デリマス、例ヘバ稚蠶ノ共同飼育、共同桑園ヲ持つツカ、霜害ノ共同除外トカノ場合ニハ、實行組合ガ世話シタルトカ、色々ナ養蠶業ニ關スル各種ノ共同事業ヲ一切ヤルコトニナツテ居リマス、例ヘバ低利資金ヲ實行組合デ貸シマス、繭ノ共同販賣ヤリマス、養蠶ニ關スル一切ノ共同作業ヲ實行組合デヤルコトニナツテ居リマス、隨テ是ハ私法人ニ認メラレテ居リマス、サウ云フモノガ集メテ郡市區域、或ハ數郡ニナリマスカ、或ハ數箇村ニナリマスカ、サウ云フ公法人タル統制ヲ目的トシテ養蠶業組合ヲ組織スルコトニナツテ居リマスカラ、仕事ハ全然違フノデアリマス、養蠶組合トシテ行フ共同作業ヲ、郡ノ實行養蠶業組合デ統制シテ行ク、抑ヘテ行ク抑ヘテ行ク監督シテ行クト云フ立場ニナル譯デアリマシテ、全然目的ト事業ガ違ッテ居リマスカラ、ソレデ斯ウ云フ色々ナ段階ヲ辿ルコトニナルノデアリマス

○林委員 只今實行組合ノコトニ付キマシテハ御親切ナ御説明ニ依ッテ了解致シマシタ、然ラバ此實行組合ト云フモノガ行ッテ居リマス、稚蠶飼育所トモ、其他色々養蠶業ニ於テ改良研究スルナドハ、尤モ是ハ自分カラ致スト云フ上ニ於テ結構デモアリ、又斯様ナル組合ヲ設置致シマスレバ、一層其方面ニ付テ研究スル必要モアルト思ヒマスケレドモ、實行組合デナイトシマシテモ、ヤハリ此實行組合ガ行ッテ、相當是ナラバ養蠶發達上好イト云フナラバ、サウ云フ方面ニヤハリ組合員ヲ政府ガ指導シテ行クト云フ御考ガアル譯デゴザイマセウカ、其邊ハドンナ御考デアリマセウカ

○小平政府委員 養蠶實行組合ガ主トシテ養蠶ノ共同作業ヲヤツテ居リマス、是ハ養蠶業ハ改良發達上、非常ニ從來ノ經過カラ申セバ好イ成績ヲ擧ゲテ居リマシテ、從來デモ任意組合デアル養蠶組合ヲ抑ヘテ、ソレニ稚蠶共同飼育ノ補助金トカ、稚蠶共同桑園ノ補助金デアリマストカ、或ハ低利資金デアリマストカ、總テ各部落ニ出來テ居リマス任意組合ヲ抑ヘテ來テ指導シテ居リマス、將來モ農林省トシマシテハ、養蠶業ニ於キマシテハ共同作業ヤル餘地ガ非常ニ多イノデアリマスカラ、養蠶實行組合ヲ中心トシテ養蠶業ノ指導獎勵ヲシタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、隨テ養蠶實行組合ニ對シテモ、十分指導ヲシタイト云フ考デゴザ

イマス ○青木委員 先程以來日本蠶絲中央會ノ議員ノ構成ニ付テノ問題ガ論議セラレテ居ルノデスガ、由來日本ノ養蠶業者ハ蠶絲業者中製絲業者、或ハ貿易關係業者ノ爲ニ壓迫セラレテ居ルト云フ、長イ間苦シイ境遇ニアルコトハ御承知ダラウト思ヒマス、今回折角各業態、系統的ノ統制團體ヲ組織セラレテ、愈、最後ノ中央會ノ組織ニ至ッテ養蠶代表ガ勢力ヲ弱メラレルヤウナ組織ヲサレルト云フト、折角ノ此統制モ又依然トシテ養蠶業者ハ自己ノ業務ヲ發展セシムル意思ヲ實行シテ行ク上ニ於テ、壓迫セラレルヤウナ境遇ニ立タナケレバナラヌト云フ、養蠶業者ニ取ッテハ頗ル重大ナ時期デアルト思フノデアリマス、ソコデ局長ノ御答辯モ其點ニ付テハ公平ヲ缺カザルヤウナ圓滿ノ決定ヲ爲シ得ルト云フ御答辯デアリマスカラシテ、満足ハ致シテ居リマスガ、政務官ニ於テハ議會ノ意思ヲ尊重セラレテ、此蠶絲中央會ノ構成ヲ爲スベキ命令法規ノ制定ニ當リマシテハ、養蠶業者ヲシテ他ノ製絲、輸出、問屋、サウ云フ側ノ利害關係ヲ異ニスル所ノ團體ノ代表者カラ壓迫サレナイ程度ニ、養蠶業者ノ勢力ニ對抗セシメルヤウナ人員ノ編成ヲ定メテ戴キタイト思フノデアリマスガ、此點ニ付テ大臣ヲ助ケル所

ノ政務官ハ十分責任ヲ執リ得ルカドウ
カ

ノ抽象的ノ言葉ノ中ニハ、嚴正公正ト
ナルト云フト往々此六團體各、公平ト
云フヤウナコトニナルト云フト、一定

○加藤委員 一昨日青木委員ノ質問ニ
對シテ農林大臣ハ、本案ハ政府案デハ
ナイ、同業者ノ案デアアル、詰リ政府ガ

ニ作ルコト、思ッテ居リマスカラ、加藤
サンノ御話ニナッテヤウナ段取ニナル
ノデハナイカト思ッテ居リマス、是ハ中

○山田政府委員 御答申上ゲマス、洵
ニ御尤千萬ナ御尋デゴザイマシテ、私

云フヤウナ虞ガアルガ故ニ、私ハ只今
ノコトヲ申上ゲ、又各委員モ其點ハ頗

代ッテ立案シタニ過ギナイ、斯ウ云フ意
味ノ御答辯ガアリマシテ、皆ソレニ滿

尊重シテ、定款ガ作製出來ルヤウニ努
メタイト思ッテ居リマス

共ニ、壓迫ト申シマス、或ハ極メテ
不利益ナ立場ニ置カレテアッタコトヲ

三分ノ二ノ決議デナケレバ有效デナイ
ト云フ押ヘ所ヲ、其三分ノ二ノ勢力ヲ

ハ各業者ニ及ボス影響ガ餘程大キイコ
ト、考ヘル次第デアリマス、故ニ定款

○加藤委員 法文ニ付テ一ツ御尋致シ
マスガ、此養蠶實行組合ノ法人ト云フ

洵ニ遺憾トシテ居ッタモノデアリマス、
今回御審議ヲ願ッテ居リマス法律ヲ立

握ルノニハ、ドウシテモ養蠶業者ハ相當
ノ員數ヲ以テ他ノ各團體ノ代表者ト對

民間ノ大日本蠶絲會、蠶絲業同業組合
中央會、帝國養蠶業組合等ニ能ク御相

ナ法人デアリマス、之ヲ念ノ爲ニ伺
ッテ置キタイ

付キマシテハ上ハ大臣ヨリ省内關係者
一致致シマシテ、此點ニ深ク意ヲ加ヘ

ノ嚴正公平ト云フコトデナク、養蠶業
者ト同ジ扱ヲ受ケルヤウナコトデハナ

談ニナリマシテ、何レニモ偏シナイ同
業者ノ満足シ得ル定款ヲ作製シテ貰ヒ

○小平政府委員 御質問ニ御答致シマ
スガ、養蠶實行組合ハ私法人デアリマ

マシテ、本法ガ草案サレタ次第デゴザ
イマス、而シテ各業者ヲ代表致シマス

者ト同ジ扱ヲ受ケルヤウナコトデハナ
タイト思フノデアリマス、此點ニ付キ

マシテ政府當局ハ如何様ニ御考ヘデア
リマス、此場合參考ノ爲ニ伺ッテ置キ

ス

コトデゴザイマスカラ、極メテ嚴正公
平ニ均衡ヲ保タシムルコトハ申スマデ

越的ニ——優越的ト云フ言葉ハ語弊ガ
アルカモ知レマセヌガ、相當多數ノモ

○小平政府委員 加藤サンノ御質問ニ
御答致シマスガ、定款ハ主務大臣ノ認

種業組合、産業組合製絲組合、生絲
問屋業組合、生絲輸出業組合ハ全部公

テハ、三分ノ二以上ノ多數ヲ以テ決定
ヲセシムルト云フコトヲ法律ノ中ニ書

戴キタイ、斯ウ云フノガ私ノ考デアリ
マスガ、ソレニ相違アリマセヌカ

シテハ十分公平ナル定款ガ出來ルヤウ
ニ監督ガ出來ルト思ッテ居リマスガ、實

現在ノ任意組合ガ其儘養蠶實行組合ニ
變ルノデアリマスカラ、其目的事業モ

他ノ關係業者カラ壓迫ヲサレマス
カ、不利益ヲ蒙ルト云フコトハ、絶對

穩カデナイト只今仰シヤルヤウニ、私
共モ其言葉ハ使ヒタクナイノデアリマ

ノ御注意モアル次第デアリマスカラ、
十分各關係業者ノ協調ヲ保ッテ公平ニ

御作リニナルヤウニ努力致シタイト思
ッテ居リマス、或ハ實際定款ヲ作製スル

ナカラシムル方針ヲ以テ進マウト存ジ
テ居リマス、此點ニ於キマシテハ青木

君ト全然意向ヲ同ジウシテ居ル次第デ
アリマス

場合ニハ新シイ中央蠶絲會ガ出來ル前
リマス、勿論法案ニアルヤウニ養蠶實

○青木委員 御意思ノアル所ハ略々察
セラレノデアリマスガ、嚴正公正ナ

益ヲ代表スルコトニ決シテ缺クル所ノ
ナイ方法ヲ講ジタイト存ジマス

場合ニハ新シイ中央蠶絲會ガ出來ル前
リマス、勿論法案ニアルヤウニ養蠶實

場合ニハ新シイ中央蠶絲會ガ出來ル前
リマス、勿論法案ニアルヤウニ養蠶實

行組合ハ契約ヲ作製スレバ即チ法人ニナルノデアリマシテ、目的モ非常ニ廣ク認メテ居リマス、現在任意組合デヤッテ居ル養蠶業者ノ共同作業ハ、總テ今度出來マス法人タル實行組合デモ出來ルコトニ認メテ居ル次第デアリマス、隨テ養蠶實行組合ト云フ法人ト、其他ノ組合ノ法人トハ全然性質ガ違ッテ居ル次第デアリマス

○加藤委員 ソレデ御伺致シタイノデスガ、公益法人ニナリマスト營業收益稅或ハ所得稅等ハ從前免除ニナッテ居ル、所デ此養蠶實行組合ハ私法人デアルノデアリマスガ、此點ニ付キマシテ特ニ營業收益稅又ハ所得稅等ヲ免除スルト云フ條項ヲ設ケテ置カナイト、或ハ是等ノ者ガ所得稅又營業收益稅ヲ徵收サレル虞ガアルト思フノデアリマス、其點ニ付テハドウ云フ御考デアリマス

○小平政府委員 御答致シマスガ、現在任意組合タル養蠶組合デ行ッテ居ル事業ハ、共同作業ト云フノガ主要ナル事業デアリマシテ、養蠶實行組合ニナリマシテモ同ジヤウナ事業ガ行ハレルコト、思ッテ居リマス、養蠶實行組合ノ行フ事業ハ現在任意組合ノヤッテ居ル稚蠶ノ共同飼育、繭ノ共同販賣ヲスルトカ云フコトニナル譯デアリマシテ、其行爲ハ營利行爲ニナルカモ知レマセ

ヌガ、利益ヲ配當スルト云フヤウナコトハ殆ド豫想出來ナイ關係上、サウ云フ所得稅、營業收益稅ノ免除ノ規定ガナクテモ別ニ支障ハナイヤウニ考ヘ、其點ハ入レナクカ次第デアリマス、現在ノ任意養蠶組合ガ行ッテ居ル仕事ハ共同作業デアリマシテ、別ニソコマデ所得稅又營業收益稅ガ掛ケラレルヤウナコトハナカラウト云フコトカラ、所得稅及ビ營業收益稅ニ關スル免除規定ヲ置カナクカ次第デアリマス

ソレカラ家屋稅ハ府縣ノ方針デ如何様ニモナルコトデアラウト思ヒマス、斯ウ云フ點ハ現在任意組合ガ營業稅モ所得稅モ課セラレテ居リマセヌシ、府縣ニ依ッテハ家屋稅マデ課シテ居ラヌ所モ相當アルノデアリマシテ、此點ニハ別ニ觸レテ居ラヌノデアリマス

○加藤委員 能ク分リマシタガ、併シヤハリ斯ウ云フ團體ニ對シテハ特ニ免稅スルト云フヤウナ條項ヲ設ケテ置キマシタガ非常ニ團體ノ有難味ガ分ッテ宜イヤウニ思ヒマス

〔下元理事退席 委員長復席〕

此點ニ付テ尙ホ一ツ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ノ質問ハ是デ終リマシタ

○小山委員長 御諮リ致シマス、一昨日本村サンノ御質疑ニ對スル答辯ハ、大臣ノ出席マデ留保ニナッテ居リマス

ガ、只今大臣ガ御出席デアリマスカラ、此際御願致シタイト思ヒマス、尙ホ他ノ委員ノ方々ヨリモ大臣ノ御答辯ヲ求ムベキ質疑ガアリマスレバ是モ便宜上順次願ヒタイト存ジマス

○町田國務大臣 木村サンノ御質問ニ御答辯致シマス前ニ一言致シテ置キマス、今日午前以來ノ此重大ナル委員會ニ出席ノ出來ナカッタノハ甚ダ相濟ミマセヌデシタガ、實ハ貴族院ニ付託サレテ居リマス米穀法竝ニ生絲檢査ノ委員會ニ出テ居リマシタノデ、已ムヲ得ズ遅クナリマシタ

木村サンノ一昨日ノ御尋ハ金融其他經濟行爲ニ付テ何カ此法文ノ中ニ取込ンデ、考ヘテハ如何カト云フヤウニ諒解致シマシタガ、申スマデモナク蠶絲業組合ハ公法人デアリマシテ、指導獎勵統制ヲ目的トシテ、從來ヨリモ積極的ニ統制獎勵ヲ致スノデアリマスガ、金融等ノ經濟行爲ハ申スマデモナクヤハリ産業組合ノヤル經濟施設ヲ目的トシタル産業組合ニ屬スル信用組合、此方ノ機關ヲ利用シテ、而シテ養蠶業者ノ經濟行爲ヲ此機關ニ依ッテ統制シタガ、却テ穩當デアルマシカ、斯様ニ考ヘテ居ル、申スマデモナク今日ノ信用組合ガ私共ノ期待ニマデ進ンデ居ルトハ申セマセヌ、木村君ノ御尋モ其方面ヲ御考慮ノコト、思ヒ

マス、此度ノ御協賛ヲ經マシタ豫算ノ中ニ、私共トシテハ餘リ好マヌ方法デアリマシタケレドモ、産業組合ノ經費ヲ増シマシテ、主トシテ信用組合等ノ從來ノ缺點ヲ改良スル爲ニ、相當ナ費途ヲ増シテ、此方デ金融及ビ經濟施設ノ方ヲ進メマシテ、コチラハ飽マデモ統制ヲ主トシタル監督指導ノ機關トシテ、兩々相進マセマシタ方ガ宜シイト思ヒマス、經濟行爲等ノ監督指導ノコトヲモ一ツノ團體ニ委スコトハ如何デアラウカト思フ、ヤハリ此點ハ從來ノ方ガ宜シイト私共ハ考ヘテ居リマス、附加ヘテ申シマスガ、此度ノ産業組合ニ向ッテ監督——或ハ大藏省ノ銀行檢査ノヤウナ意味ニ近イ監督ヲスルノデアリマスガ、私共トシテハ甚ダ遺憾デアリマシタ、從來私ノ理想トシテハ民間ノ組合精神ニ依ッテ出來タ團體ニ向ッテ、國家ノ權力デ監督スルト云フコトハ私共トシテハ甚ダ忍ビナカッタノデアリマス、併シ實情ハ此儘ニウツチャッテ置ク譯ニ行キマセヌカラ、木村君ノ御質問ノ出タ源ハヤハリ今日ノ信用組合ノ經濟行爲ニ對スル金融機關トシテノ働キノ鈍イ所カラ出タ御質問ト思ヒマスカラ、今後相當ニ信用組合ノ發達ヲ圖ルヤウニ致シタイト存ジマス、既設ノ養蠶業者ノ團體ハ如何ニスベキカト云フト、既設ノ養蠶業者ノ同業組合、養

蠶組合等ハ本案ノ組合ト變リナカラウ
ト思ヒマス、即チ其一例ヲ申シマス、
二萬四千アルト云フ小サナ部落等ノ養
蠶組合モヤハリ簡易法人ト申シマス
カ、實行組合トシテヤハリ法人格ヲ與
ヘテ行キタイト思ヒマス、ソレカラ養
蠶實行組合ハ任意加入デアリマスガ、
之ニ依ッテ今度郡ヲ元トシタル養蠶組
合ニ加入スル場合ニハ、是ハ強制加入
デアリマス、ソレカラ繭市場ヲ營ム產
業組合、繭ノ倉庫、乾燥施設ヲ有スル
農業倉庫者ハ、本案ノ組合ニ加入スル
ヤ否ヤト云フコトノ御尋ガアリマシタ
ガ、養蠶者ノ設備トシテ認メラレル場
合ニハ、認可ヲ受ケテ任意加入ノ方法
ニ依ッテ養蠶組合ニ加入スルト云フ方
法ヲ取ルコト、致シマシタ、簡單デア
リマスガ、大體御尋ノ點ニ付テ御諒解
ヲ得マスレバ幸デアリマス

尋ガアッタノデアリマスガ、之ニ對シマ
シテ大藏省ノ意見ハドウ云フ風ニナッ
テ居リマス、是ハ大藏省ノ同意ヲ得
テ居ナケレバ、此法律ニ規定スルコ
トハ出來ナイカト思フ、ソレニ付テ大
藏省ノ考ヲ、多分御打合せガアルト思
ヒマスカラ御尋シテ置キマス

トデ、其規定ハ入レテアリマセヌ、若
シ所得稅、營業稅ノ點ニ觸レマス、
養蠶實行組合ノ目的、事業ヲ非常ニ狹
メナケレバナラヌコトニナル、實際養
蠶實行組合ハ如何ナル事業デモ出來
ル、即チ繭ノ共同販賣トカ、稚蠶共同
飼育、或ハ霜害ノ共同除害トカ、總テ
ノ養蠶業者ノ共同事業ガ實行組合デハ
出來ルコトニ認メテアリマスノデ、隨
テ實際ニ於テハ所得稅、營業稅ヲ課ケ
ラレルヤウナ事業ハ現在ノ任意組合ノ
發達カラ推シマス、殆ドナカラウト考
ヘテ居リマス、隨テサウ云フ所得稅、
營業稅ニ關スル規定ヲ入レテ目的事業
ヲ非常ニ縮小スルヨリハ、何デモ出來
ル實行組合ニシテ置イテモ、實際ニサ
ウ云フ問題ハナイダラウカラ、其方ガ
却テ養蠶實行組合ノ活動ノ上ニ便宜デ
ハナカラウカト云フノデ、是ハ大藏
省ト協議シテ、サウ云フ規定ハ此際
此中ニ入レテナカッタノデアリマス、
左様御答シテ置キマス

ヤル譯ニハ參リマセヌガ、養蠶實行組
合ノ組合員ニ對シテハ信用組合ガ介在
シテ出來ルダケ金融スルト云フ立テ方
ガ一ツト、モウ一ツハ勸業、農工銀行
ノ手ヲ經テ一人デ貸シテ貰フトキニハ
其組合ノ所謂十人連帶ニ依ッテ勸業、農
工銀行ガ貸ス、一人毎ニ對シテハ信用
組合ニ依ッテ養蠶家ニ貸シテ行クト云
フ建前デアリマシテ、實行組合全體ヲ
見テ貸借關係經濟施設ヲ致スト云フコ
トハ、ドウモ統制ノ上カラ言ヒマス
如何カト思ヒマス、併シ何等カノ途ヲ
開クト云フコトハ十分考ヘナケレバナ
ラヌト思フノデアリマス

○木村委員 只今ノ大臣ノ御答辯デ大
體分リマシタガ、サウ致シマス、今
度此法律ニ依ッテ出來マス所ノ組合ト
云フモノハ、大體此金融上ノコトニ付
テ中央金庫ト直チニ聯絡ガ出來得ルト承
知シテ宜シイノデセウカ、御尋シマス、
ソレカラ只今序デスカラ加藤君ノ御尋
ニナッダ實行組合ハ私法人デアアル、私法
人デアルカラ、之ニ對スル免稅ト云フ
コトニ付テ本法ニ規定シテ置イタ方ガ
宜シイデハナイカ、斯ウ云フヤウナ御

○小平政府委員 今ノ御質問ノ第一點
ハ、金融業者ト聯絡ガ取レルト云フ御
意見デアリマシタガ、新シク認メマス
養蠶業者組合ナリ、製絲業者組合等ダケヲ
總テ公法人ニ認メテ居ル關係上、公法
人タル蠶絲業者組合ハ金融業トカ云フ經
濟行為ハ出來ナイモノト考ヘテ居リマ
ス、隨テ養蠶業者ノ養蠶實行組合ガ、
他ノ產業組合ナリ、銀行ナリヲ利用シ
テ、養蠶資金ヲ借リルト云フ點モ、養
蠶組合デ統制スルコトヲ主トシテ考ヘ
テ居リマス、公法人タル養蠶業者組合自
身ハ貯金ヲ扱フトカ、金ヲ貸スコトハ
認メテ居リマセヌ、ソレカラ第二點ノ
所得稅、營業稅ヲ實行組合ニ對シテ免
稅スル點デアリマスガ、是ハ加藤サン
ノ御質問ニ御答シタ通りニ、現在ノ實
行組合ノ仕事トシマシテハ、實際サウ
云フ場合ハ殆ドナカラウト云フノデ、
養蠶實行組合ノ所得稅、營業稅免除ノ
規定ハ入レテ居リマセヌ、是ハ大藏省
トモ十分議論ヲシタ結果、實際サウ云
フ問題ニハ觸レナイデアラウト云フコ

○町田國務大臣 尙ホ只今ノ金融關係
ト信用組合ト養蠶實行組合トノ關係
デアリマスガ、木村委員ノ御話ノ如
ク、地方ノ信用ハドウモ金融關係ニ
於テ圓滿ヲ缺イテ居ルト云フコトヲ
御心配ニナッテ居ラル、ト思ヒマス
ル、是ハ御同感デアリマスガ、申スマ
デモナク此養蠶組合トシテ經濟施設ヲ

○木村委員 私ハ養蠶組合其他ノ組合
ト云フモノハ直チニ金融機關ヲ置カネ
バナラヌト云フコトデヤナイデスケレ
ドモ、色々ナ事業ニ從事サレテ居ルノ
デアリマスガ、斯ウ云フヤウナコトヲ
スルト云フコトニ付テモ各々出資ト云
ヒマスルカ、組合員ノ經費ノ分賦ト云
フトコトヲ受ケタゞケデ、施設ノ出來ナ
イト云フ場合ガ往々ニシテ起ルデヤナ
イカ、即チ施設ニ對シテ起リマスル所
ノ資金ヲ要スル場合、今日ノ產業組合
ノ中央金庫ト云フモノモ利用スルコト
ガ出來ルモノデアアルカドウカト云フコ
トヲ御伺シタ、決シテ金融業ト云フモ
ノヲシテ利鞘ヲ取ルトカ何トカサウ云
フヤウナコトヲ御尋シタノデハナイ、

ソレカラシテ又實行組合ト致シマシテモ今大臣ノ御答ニ依リマスト云フト、信用組合ヲ利用スレバ宜シイデヤナイカト云フ意味ノ御答辯デアッタノデアリマスケレドモ、御承知ノ通り信用組合ト云フモノハ組合員ニ非ザレバ貸付ト云フコトハ出來ナイコトニナル、サウカト申シテ實行組合ト云フ法人ガ直チニ組合ニナルコトガ出來ルカト言ヘバ、サウ云フヤウナコトハ今日デハ

利益ト云フモノモ維持スル、或ハ確保スルト云フヤウナコトノ爲ニ乾繭ノ施設モシナケレバナラヌト云フヤウナ時分ニハ、敢テ營業ト云フノデハナイケレドモ、所謂生産業ノ利益ヲ増進スルガ爲ニサウ云フヤウナ施設ヲシナケレバナラヌ、サウ云フ場合ニ於ケル金融シタノデスカラ、ドウカ誤解ノナイヤウニ、更ニ御伺シタイト思ヒマス

○町田農林大臣 局長カラ御話シマシタ通り、是ハドウシテモ監督指導獎勵ノ機關デアリマシテ、自ラ經濟施設ヲ致ス所ノ機關デナイコトハ申上ゲルマデモアリマセヌカラ、木村委員ノ御話ノヤウナ經濟上ノ不便ニ對シテハ他ノ方面カラ考慮スルコトハ勿論デアリマ

數ニ上ッテ居ルト思フノデアリマス、故ニ此生絲業ハ斯ノ如キ——雜駁ナモノニ依ッテ品質ヲ改良シ、製絲ノ向上ヲ圖ルコトハ出來ナイト云フコトニナッテ居リマスノデ、御互ニ製絲業ト云ヒ、養蠶業ト云ヒ、能率ヲ上ゲル上ニ於テモ是ハ不經濟ナヤリ方デアアル、政府ハサウ云フ方面ニ付テ御研究ヲ爲サレ、又將來財政ノ許ス範圍ニ於テハ、今言フ國立原蠶種製造所ヲシテ統一シメル原種ヲ定メ、ソレヲ各府縣ノ蠶業試驗場ニ複製セシメ、又更ニ蠶種製造家ニ配付シテ統一シテ行クト云フ御意思ガアルヤ否ヤ、是ダケヲ伺ヒマス

吾々ハ信用組合ニ携ッテ居ルケレドモ、サウ云フヤウナ例ヲ知ッテ居リマセヌ、サウ云フヤウナコトニナリマスト云フト、此實行組合ナリ或ハ養蠶ノ組合ナリ、其他ノ組合ト云フモノガ直チニ産業組合ノ中央金庫ト連絡ヲ取ルコトガ出來ル、若クハ信用組合ノ縣聯合會ト云フモノト直チニ連絡ヲ取

ノ一部ヲヤルト云フコトハ、私共ハ一寸御同意シ兼ネルノデアリマス、唯御心配ノ如ク町村ノ信用組合ハヤハリ組合員ニ非ザレバ融通ハセヌトカ、單リ市街地信用組合ニ於テハ組合員外ヲ許シテアリマスガ、町村ニ於テハ組合員以外ニ融通ガ出來ヌコトニナッテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、此間題ハ先年モアリマシテ、三年前私ガ農

○菅村委員 私ハ簡單ニ御尋シマスガ、是ハ直接ニ此法案ニ關係ハアリマセヌガ、併シヤハリ是ハ重大ナ關係ヲ將來持ッベキモノト考ヘテ御尋ヲシマ

○町田國務大臣 從來ト雖モ原蠶種ヲ國ガ統一シ、之ヲ國營ニシテ造ルノガ繭ノ改良發達ニ非常ニ有效ダト云フ御意見ハ、相當承ッテ居リマス、農林省ニ於キマシテモ、之ヲ等閑ニ附シタ譯デハアリマセヌ、今ノ原蠶種ノ種類ハ御承知ノ通り五六百種位アルト大體承知致シテ居リマス、此中ニハ色々ナ掛合セノ種類ニ依ッテ各々特色ハゴザイマスガ、如何ニシテモ六百種モ原蠶種ガアルト云フコトハ、出來タ繭ヲ統一スル上ニ於テモ總テ不便デ、隨テ價格ノ上ニモ相當大キナ影響ガアルコト、思ヒマス、理想ト致シマシテハ蠶業試驗場デ、優良品種ヲ普及セシメテ參ルコトニ依ッテ、自然淘汰ニ依ッテ、原蠶種

業ヲスルト云フノデハナイケレドモ、シナケレバナラヌ、又ソレニハ何モ營業ヲスルト云フノデハナイケレドモ、

利益ト云フモノモ維持スル、或ハ確保スルト云フヤウナコトノ爲ニ乾繭ノ施設モシナケレバナラヌト云フヤウナ時分ニハ、敢テ營業ト云フノデハナイケレドモ、所謂生産業ノ利益ヲ増進スルガ爲ニサウ云フヤウナ施設ヲシナケレバナラヌ、サウ云フ場合ニ於ケル金融シタノデスカラ、ドウカ誤解ノナイヤウニ、更ニ御伺シタイト思ヒマス

○菅村委員 私ハ簡單ニ御尋シマスガ、是ハ直接ニ此法案ニ關係ハアリマセヌガ、併シヤハリ是ハ重大ナ關係ヲ將來持ッベキモノト考ヘテ御尋ヲシマ

○町田國務大臣 從來ト雖モ原蠶種ヲ國ガ統一シ、之ヲ國營ニシテ造ルノガ繭ノ改良發達ニ非常ニ有效ダト云フ御意見ハ、相當承ッテ居リマス、農林省ニ於キマシテモ、之ヲ等閑ニ附シタ譯デハアリマセヌ、今ノ原蠶種ノ種類ハ御承知ノ通り五六百種位アルト大體承知致シテ居リマス、此中ニハ色々ナ掛合セノ種類ニ依ッテ各々特色ハゴザイマスガ、如何ニシテモ六百種モ原蠶種ガアルト云フコトハ、出來タ繭ヲ統一スル上ニ於テモ總テ不便デ、隨テ價格ノ上ニモ相當大キナ影響ガアルコト、思ヒマス、理想ト致シマシテハ蠶業試驗場デ、優良品種ヲ普及セシメテ參ルコトニ依ッテ、自然淘汰ニ依ッテ、原蠶種

ノ種類ノ六百モアルノガ段々減ルコトト思ヒマス、併シ是ノミニ委シテ置キマス、相當ノ年數ガ掛ルコトハ想像シ得ラル、ノデアリマス、或ハ澤山ノ原蠶種製造者ノ職ヲ國家ニ收メルコトニ付キマシテハ、相當ノ賠償モ致サナケレバナリマス、又國家自ラ原蠶種ヲ造ルト云フコトニ付キマシテハ、相當多クノ經費モ掛ルト思ヒマス、養蠶業ノ今後我國ノ經濟社會ニ於ケル重大サヲ考ヘマス、國家ガ相當ノ經費ノ掛ルコトハ理論上否ムベキ筋合ノモノデハナイノデアリマス、目下ノ所デハ大體ニ於テ優良品種ノ普及ニ依ツテ、原蠶種ノ種類ヲ次第ニ改良シ、數ヲ減スコトガ出來ヨウト思ヒマス、御質問ノ點ニ對シテハ尙ホ一層調査モ進メ、亦此度出來マスル蠶絲業中央會ノ機關等ニモ意見ヲ尋ネルコトモ致シマセウシ、唯此席ニ於テハッカリシタ御答ヲ致シ兼ネルノハ遺憾デアリマスガ、御趣意ノアル點ハ尙ホ調査ヲ進メテ參ル、斯ウ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

○青木委員 私ハ説明ヲ拔キニシテ駈足デ御質問申上ゲマスカラ、問題ニ依ツテハ政府委員カラ御答辯ガアツテモ宜シイノデアリマス、本案ノ十六條ノ養蠶業組合ノ目的事項中「蠶品種ノ統一ニ關スル施設」ト云フノガアリマシテ、ニモ此二項ヲ入レテ、共々ニ聯絡ヲ取

ソレハ同ジク四十二條ノ蠶種業組合ノ目的事項中ニモ蠶品種ノ統一ニ關スル施設ガアツテ、是ハ相互連絡ガアリマスガ、蠶品種ノ統一ト云フテモ、氣候風土ヲ異ニスル所ノ地方ニ於テ、全國的ニ統一スルト云フコトハ無論困難デアルカラ、之ヲ地於的ニ統一ヲ圖ル目的ト解スル外ナイノデアリマスガ、尙ホ此上ニ蠶品種ノ統一ノ上ニハ製絲家ノ希望ト云フモノヲ加味シナケレバ、本當ノ蠶品種ノ統一ト云フモノノ達成ハムゾカシイノデナイカト思ヒマス、此點製絲組合ノ方ヘモ蠶品種ノ統一ト云フ目的事項ヲ設ケタ方ガ宜イデハナイカト思ヒマスガ、此點如何デアリマスカ、更ニ又同十六條ノ養蠶業組合ノ目的事項中、「繭ノ検査ニ關スル施設」繭ノ取引ノ方法ノ改善ニ關スル施設」是モ蠶絲業改善發達ノ上ノ根本的ノ問題デアリマスルガ、是モ要スルニ製絲家ノ希望スル原料ヲ養蠶家ガ生産シテ、サウシテソレガ公平ニ有利ニ處分セラレ、バ、ソレデ養蠶家ハ満足ナノデアリマスガ、此繭検査、又ハ繭ノ取引方法ノ改善ト云フヤウナコトモ、製絲業ト離ルベカラザル關係ノアル仕事ダト思ヒマスガ、製絲業組合ノ方ノ目的事項ニハ此二項ガ掲ゲテアル、是ハ寧ロヤハリ前段ノ質問ト同ジク、製絲關係ノ組合テ此處ニ現ハレテ來ルノデアリマス、

○小平政府委員 蠶品種ノ統一ト云フコトハ、養蠶業者ガ飼育スル蠶種ノ種類ノ統一ヲ一ツノ郡ナラ郡ノ養蠶業者ノ方カラ考ヘテ、第一ノ目的ニ入レタノデアリマス、隨テ蠶種製造業者ガ日本全體ノ蠶絲業ノ爲メ同一ノ種類ヲ製造シヤウト云フコトカラ、蠶品種ノ統一ト云フコトヲ蠶絲業組合ノ方ニモ入レタ譯デアリマス、ソレヲ製絲業組合ノ方ニ入レタラドウカト云フ御質問ノヤウデアリマスガ、製絲業組合ノ方ハ、主トシテ製絲ノ製造ノ方面ヲ統制スル意味ヲ目的事項トシテ書イタノデアリマス、ソコデ蠶品種ノ統一ト云フコトヲ眞向カラ書キマス、或ハ製絲業組合ノ事業ガ養蠶業組合ノ事業ト事業ガ違ツテ來ルヤウニナリマシテ、養蠶組合ノ骨子ハ何處ニ在ルカ、ソレハ蠶品種ノ統一デアリマス、養蠶業者自ラ先ヅ行クコトヲ統制スルガ爲メ目的事項ノ眞向ニ蠶品種ノ統一ト云フコトヲ掲ゲテアルノデアリマス、蠶絲業組合ノ方モ同一デアリマシテ、自ラ行フ蠶絲ノ製造ニ付テ種類ヲ統一シヤウト云フコトガ、先ヅ第一重要ナル事業トシテ此處ニ現ハレテ來ルノデアリマス、

然ルニ製絲業組合ノ方ノ目的事業ヲ考ヘマス、先ヅ第一ニ製絲業ノ統制ト云フ點カラソレヲ考フベキデアリマシテ、眞向カラ掲ゲル事業トシテハ規格ヲ統一ト生絲ノ検査デアルト云フコトヲ先ヅ第一ニ考ヘルノデアリマス、蠶品種ノ統一事業ハ養蠶業ニ非常ナ利益關係ガアルノデアリマシテ、製絲業ノ方デ斯ウ云フ種類モ必ズ作ルベシト云フコトデ眞向カラ製絲業ノ方デ蠶品種ヲ統一サレテ來ルノガ、養蠶業者ノ利益ヲ圖ル所以ニナルカドウカト云フヤウナ、色々ナ事情ヲ考ヘマシテ、製絲組合ノ方デ法律上眞向ニ掲ゲル事業トシテハ製絲ノ規格統一、生絲ノ検査、製絲業ノ指導獎勵トカ、工女ノ福利増進トカ云フコトヲ眞向ニ掲ゲテ來タノデアリマス、勿論蠶種ノ統一ト云フコトニ付キマシテモ、日本全國ニ互ツテ考ヘル場合ニ於キマシテハ、勿論日本中央蠶絲會カラモサウ云フ問題ガ出テ來ルカト思ヒマス、其場合ニ於キマシテハ製絲業組合聯合會モソレニ加入シテ居ルシ、蠶絲ノ全國組合聯合會モ加入シテ居ルノデアリマスカラ、中央蠶絲會デ行キマス、各方面ノ意見ヲ參酌シテ、蠶品種ノ統一問題ナリ、色々ナ問題ガ考慮サレルノデアリマシテ、各業種別ノ組合ノ目的事業トシテハ、各業種別ノ組合ヲ組織スルガ、自分デ行

フ行爲ヲ先ヅ抑ヘテ行ツタラドウカト云フ建前カラ規定シタノデアリマス、ソレカラ繭ノ取引方法ノ改善ニ致シマシテモ同ジヤウニ、先ヅ養蠶業者ノ作ツタ繭ヲ自ラソレヲ檢定シテ、ソレカラ製絲業者ニ買ツテ貰フト云フコトヲ先ヅ第一ニ考ヘテ、眞向カラ掲ゲル事業トシテハ、養蠶業組合ノ方ニ繭ノ檢査ノ事業ヲ入レタノデアリマス、繭ノ取引方法ノ改善ニ付キマシテモ、養蠶業者ノ方カラ製絲業者ニ賣ル組ノ取引方法ヲ養蠶業者自ラ改善スル方法ヲ眞向カラ掲ゲテ規定シタノデアリマシテ、目的事業ガ自カラ其業種ノ組合ヲ能ク現サユウニ規定シテアリマスガ、サウ云フ事情デ此目的事業ヲ規定シタノデアリマス

○青木委員 ドウモ縦ノ關係ハ統制ガ取レテ居リマスガ、横ノ關係ノ各團體トノ連絡ガ足ラナイト思フ、縦ノ方ハ上ニ行ツテ中央蠶絲會ニ於テ綜合セラレルト云フ譯デアアルガ、今ノ製絲家ノ要望ガヤハリ養蠶家ノ方ニ反映スルト云フヤウナ、横ノ連絡ヲ付ケル爲ニ製絲家ニモ同一ナ事項ヲ扱ハシテ、サウシテ共々ニ一ツノ目的ニ向ツテ連絡ヲ取ツテ行クト云フコトガ必要ノヤウニ思フノデアリマスガ、一應只今ノ御説明デ、十分納得ハ行キマセヌケレドモ、繰返サナイコトニ致シマスガ、先般ノ

輸出生絲檢査法ノ委員會デ繭ノ檢査ヲ施行スルコトニ付テ御説明ガアッタヤウデアリマスガ、來年度カラサウ云フ計畫ガアルヤウデアリマスガ、ソレハドウ云フ風ニシテ繭ノ檢査ヲ施行セラレル御方針デアリマスガ、此場合改メテ御説明ヲ願フテ置キタイ

○小平政府委員 繭ノ檢査ニ付キマシテハ今回要求シマシタ繭ノ檢定所ノ設置獎勵ニ關スル補助ノ制度ニ依ツテ、取敢ヘズ仕事ヲ進メテ行キタイト思フノデアリマス、其處デ繭ハ檢定セラレルコトニナル譯デアリマス、養蠶業者ガ實行組合デ共同販賣ヲスルト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、製絲業者ニ賣ル繭ヲ府縣デ設置スル檢定所ニ於テ檢定スル、檢定スル方法トシテハ檢定所ニ三ツ釜位ノ製絲工場ヲ設置シテ、其工場ニ於テ繭ノ解舒ナリ總量ナリ總テヲ檢査シテ、其成績ニ依ツテ養蠶業者ガ製絲業者ニ繭ヲ賣ルト云フ方法ニシタイト考ヘテ居リマス、繭ノ檢定所ハ各府縣ニ之ヲ設置スルヤウニ獎勵金ヲ出シテ進メテ行キタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス

業ノ品種ノ統一ヲ期スル上ニ於テモ、ドウシテモ製絲業組合ト連絡ヲ保ツテサウシテ品種ノ統一、或ハ質ヲ上ゲルハ製絲業者モ蠶種ノ製造ヲ兼營シテ居ルト云フ者モ相當見受ケルヤウナ時代デスカラシテ、製絲業ト蠶種業ト連絡ヲ付ケルヤウニ致サスト區々ニナリハセヌカ、又蠶種業者ノ今日個々別々ニヤツテ居ル經營方針ヲ共同經營ノヤウナ施設ヲ爲サシムルト云フヤウナ方針ヲ執ツテ、サウシテ蠶品種ノ統一ヲ全ウスルト云フコトノ必要ヲ感ズル者デアリマスガ、是等ノ點ニ付テ再ビ御答辯ヲ願ヒタイ

○小平政府委員 御質問ニ御答致シマス、蠶種業組合ハ蠶種製造ヲ業トスル者ガ組織員ニナル譯デアリマスガ、若シ生絲ノ製造業者ガ蠶種ノ製造ヲスル場合ニ於キマシテハ、同ジク蠶種業組合ニ強制加入ニナル譯デアリマス、蠶種業組合ノ組合員ハ蠶種ノ製造ヲ爲ス者ハ製絲業者デアラウガ何デアラウガ、總テ之ニ強制加入セシメラレルコトニナルノデアリマスガ、其點デ製絲業者ノ製造スル蠶種ト、普通ノ蠶種業者トノ間ノ統制ヲ十分取り得ルカト思フノデアリマス、又蠶種製造業者ノ共同事業ニ付キマシテハ、蠶種業組合ガ成立シマスレバ、蠶種業組合ノ統

制事業、指導獎勵事業トシテ、小サナ蠶種製造業者ハ共同事業ヲ致セト云フコトデ、指導獎勵ガ是デ十分出來得ルヤウニ考ヘテ居ル譯デアリマシテ、隨テ御心配ノヤウナ點ハ蠶種業組合ノ活動ニ依ツテ十分救済出來ルヤウニ考ヘテ居リマス

○青木委員 組合製絲ノコトニ付テ御質問申上ゲマス、先日農林大臣ハ組合製絲ヲ理想トスル、組合製絲ニ向ツテ促進スルコトヲ方針トシテ居ルト云フ御答辯ガアツテ、政府ハ組合製絲ヲ大ニ助長獎勵スル御意思デアルト云フコトハ略々理解致シタノデゴザイマスガ、マダ今日ノ場合ハ組合製絲ノ普及程度ト云フモノハ、全國的ニ見レバ極メテ微々タルモノデアリマス、如何ナル方法ヲ執ツテ製絲業ノ組合化ト云フコトヲ御進メニナル御方針デアアルカ、現在ノ營業製絲——個人又ハ株式組織ヲ以テ經營シテ居ル所ノ營業製絲ヲ、其儘何トカ組合法ノ精神ニ基イテ組合製絲ノ方ヘ誘導スルヤウナ御腹案ガアルカドウカ、唯組合製絲ヲ獎勵スルト申シマシテモ、現在ノ營業製絲ヲ何トカ處理シテ行カナケレバ、消化力ノ上カラ申シマシテ、組合製絲ト云フモノハ、サウ發達スルコトガ出來ナイ現狀ニアルノデスガ、ソレニハ今日ノ既設營業製絲ノ方ヲ、組合法ノ精神ヲ應用シテ、

之ヲ段々組合化シテ行クト云フヤウナ工場ミタヤウナモノヲ造ルト云フヤウ御方針ヲ御執リニナツタナラバ、組合ナ事情モ、今日ハアルヤウニ承知シテ製絲ノ理想ガ段々促進セラル、ト思ヒマスガ、此點ニ付テ大臣ノ御説明ヲ御願シマス

依ッテ相當ナ程度マデ、組合製絲ノ獎勵ガ出來ルト思フテ居リマス、之ニ對スル特別ナ施設ト申スヨリモ、蠶業組合ノ發達ニ伴ッテ、此方ノ促進ガ相當出來ルト考ヘテ居リマス

○町田國務大臣 先日ノ組合製絲ニ對スル御尋ニ對シテ、私ハ二様ノ方面カラ御答シタイト記憶シテ居リマス、理想ト致シマシテハ——養蠶家ト製絲家ノ利害ガ往々分レテ居ル事情ハ申スマデモアリマセヌ、而シテ組合製絲ハ養蠶家ヲ中心トシタル製絲ノ仕事ヲヤルノデアリマシテ、製絲家ト養蠶家ノ間ノ利害ノ異ッテ居ルト云フコトヲ、一團トシテ調和スル意味カラ申シマシテモ、是ガ至極宜シイト思ヒマス、ソレカラ他ノ工業ト違ヒマシテ、養蠶業ハ全國ニ互ツタ農家ノ副業若クハ專業デ、私共ハ理想トシテ、飽マデモ製絲家ト養蠶家ノ利害ヲ一致セシムル、組合製絲ヲ理想ト致スノデアリマス、併シ其節モ申上ゲマシタ通り、私ノ地方ヲ廻ッタ僅カナ經驗ニ依リマス、生産費ヲ安クシテ、統一シタ物ヲ多量ニ作ルト云フコトニ於キマシテハ、營業製絲ニソコノ長所ガアッテ、組合製絲ニハ是ガ長所ハ伴ハヌト思ハレマス、例ヘバ一箇町村ヲ纏メタ組合製絲ヲ造ルト云フコトニモ稍、困難ヲシテ、部落々々ニ五

モ二百釜乃至三百釜位ヲ單位トシテヤルノガ適當デアルマイカト云フ說モ承ッテ、多分其邊ハ穩當ナ見方ト思ヒマスガ、組合製絲ニ於テ三百釜位ノ工場ヲ造ルト云フコトハ、色々困難ナ事情ハ、信州アタリヲ見マシテモ察シ得ラレルノデアリマス、ソコデ經費ヲ節約シテ、品位ノ統一シタモノヲ多量ニ造ルニ於テハ、組合製絲ハ單種ト見テ然ルベシト思ヒマスガ、製絲家ト養蠶家ノ利害ヲ一致セシムル點ニ於テハ、是ハ理想デアアル、併ナガラ政府ガ之ニ對シテ何等カ特別ナル獎勵ノ途ヲ執ッテ居ルカト云フ御尋デアリマスガ、營業製絲ニ對シテハ、別ニ獎勵スルヤウナ方法ハ執リモセズ、又農林行政ノ上カラ左様ニ參ラヌノデアリマスガ、組合製絲ノ方ニ對シマシテハ、農林省ハ相成ベクハ農村經濟施設ノ全部ヲ蠶業組合ノ組織ニ委シタイト云フ位ニ、蠶業組合ノ促進改良ニ對シテハ、私ナドハ出來ルダケ微力ヲ致シタイト考ヘテ居リマスルガ故ニ、組合製絲ニ對シテハ、金融關係其他指導監督ト申シテ宜シイカ、此發達ヲセシムル爲ニハ、蠶業組合ニ

○青木委員 關聯シタ質問デスガ、營業製絲ニ對シテ乾繭倉庫ノ利用ヲ徹底セシメテ、繭ノ品格ノ統一ト、取引ノ改善ヲ進メルト云フコトハ爲シ得ルコト、思ヒマスガ、乾繭倉庫ノ利用方法ヲ、一層營業製絲ニ向ッテ擴張シテ、營業製絲ヲシテ段々仕事ノ取扱方ヲ、組合製絲ノヤウニ仕向ケテ行クトモ必要デアルト思ヒマスガ、只今ノ御答辯デハ、唯營業製絲ト組合製絲ノ特徵ヲ御竝ベニナッテ、營業製絲ニハ別ニ指導方法ハナイト云フ御考ノヤウデスガ、營業製絲ニ對シテモ、モウ少シ督勵セシメテ、取引ノ改善、繭ノ品位統一ニ努力セシムルコトガ必要デハナイカト思ヒマス

今一ツハ製絲業者ト養蠶業者トノ間ニ於テ、原料ノ調節按配ト云フコトガ今日マデ缺ケテ居ル、之ヲ旨クシナケレバ、養蠶業者モ製絲業者モ不安ヲ除去スルコトガ出來ナイノデスガ、其方法トシテ製絲業者ノ認許制度ヲ御執リニナル御考ハナイカ、之ニ付テノ御方針ヲ承リタイ

○町田國務大臣 御問ノ點ハ、實ハ蠶業委員會ガ出來マシタ時ニ、ソレ等ノコトニ對シテモ、相當此委員會ニ掛ケル計畫ハアリマシタガ、時許サズシテ今日ニ及ンダノデアリマス、其際ニモ屢、問題トシテアリマスル製絲業ノ認可制度、國家ガ相當之ヲ制限若クハ統制スルニ、モット力強い法制ガ必要デアラウト云フ考ヲ以チマシテ、或ハ釜數ニ依ッテ制限シテ、ソレ以下ノモノハ致サナイト云フ考モ研究シマシタ、今日モ尙ホソレハ捨テ、居リマセヌ、併シ此法律ガ實行サレマス、或ハ此機關來ハセヌカトモ考ヘテ居リマス、併シ此機關デソレガ參ラヌ時ニハ、蠶絲業ノ全體カラ見マシテ、今全國三千アリマスル製絲業者、或ハ基礎ノ弱イモノモアリマス、何等カ是ノ合併ヲ獎勵スルカ、又ハ昨年等ニ於テモ新ニ小サナ製絲業ガ續々出マシタ實情ガアリマスガ故ニ、已ムヲ得ナケレバ國ノ力ニ依ッテ、認可主義ニ依ッテ、今後ノ續出スル所ノ小規模ノモノニ對シテハ制限ヲ加ヘ、更ニ現在アリマス三千ノ製絲家ノ合同ヲ進メルヤウナヤリ方ヲシマスガ、ソレハ姑ク別トシマシテ、何等カノ方法ニ依ッテ、出來ルダケ相當大キナ經營組織ニ改メンケレバ、生絲ノ統制上、竝ニ生産費ヲ出來ルダケ安クスルト云フコトニモ不便ト思ヒマス、御話

ノコトハ相當重ク考慮スルコト、致シマス

○永田委員 一寸關聯シタコトニ付テ御伺致シマス、今農林大臣ノ御答辯ニ依リマシテ、小サイ製絲家ハヤラセヌヤウナ御話デアリマシタガ、是ハ地方ノ事情モ考慮セヌト困ルカト思ヒマス、一例ヲ申上ゲマス、漸次養蠶業モ南ノ方ニ段々進シテ行クデアリマス、私ノ鹿兒島縣ノ如キ、又沖繩地方ニモ大分養蠶熱ガ勃興シテ來タノデアリマスガ、斯ウ云フ地方ハ一郡トカ、或ハ何千里ニ互ツテ、製絲場ガ一箇所モナインデアリマス、左様ナ製絲場ノナイ所ニ新ラシク起スト云フコトハ、最モ必要ナコト、思ヒマスガ、サウ云フ際ニ認可制度若クハ制限ヲサレル時ニハ、養蠶家ハ非常ニ困リマス、斯ウ云フ點ニ付テハ如何ナル考ヲ持ッテ居リマスカ、是ハ反駁ハシマセヌケレドモ、實際ノ點ニ付テノ御考慮ヲ御尋シテ置キタイト思ヒマス

○町田國務大臣 御尤ナ御尋デゴザイマス、近來四國、九州邊リニ、副業トシテ養蠶業ガ、非常ナ速力ヲ以テ進歩シテ居ルコトハ喜バシイコト、思ヒマス、殊ニ關東邊リト違ヒマシテ、眞ニ副業ノ意味ヲ以テ進シテ居ルコトニ對シテハ、私共ハ極メテ喜バシイコト、思ッテ居リマス、御話ノ通り十數里ニ互

ツテ製絲場ガナイト云フヤウナ御不便モアリマセウガ、是ハ或ハサウ云フ所ニ製絲場ノ必要モ生ズルカモ知レマセヌガ、私ハ副業トシテ農家ガヤリマス

斯様ナ地方ニ於テハ、ヤハリ乾繭裝置ノ普及ニ依ッテ、或ハ小サナ組織デヤラレルヨリモ、斯様ナ乾繭ニシタモノヲバ製絲家ノ所ニ賣ラレル方ガ、或ハ有利デアルマイカトモ考ヘマス、併シ場合ニ依リマスレバ、サウ云フ所ニ製絲場ガ必要ト御覽ナサル場合ニハ、アナタ方ノ御指導ニ依ッテ、出來ルダケハ是ハヤハリ組合製絲ト云フ形デ、養蠶家ト製絲家ノ利害ヲ一致サセルコトニ御進ミ下サレバ宜カラウト思ヒマス、先刻モ申シマシタ通り、組合製絲ノ製絲場ハ、サウ大キナ組織ニ參リマスマイト思ヒマスガ、斯様ナコトハ成タケ組合製絲ノ方ニ進ムヤウニ御指導下サレバ、必ズシモ釜數ニ依ッテノミ、營業製絲ト組合製絲ト一率ニ致スト云フ考ハ、私ノ方デハマダソコマデ熟シテ居リマセヌ、相當考慮致シマス

○永田委員 少シ私ノ御尋シタコトニ違ッテ居ル點ガアルト思ヒマスカラ、モウ一應御尋致シテ見タイト思ヒマス、私ハ組合製絲ノ方ハ無論希望スルノデアリマスケレドモ、私ノ申上ゲマス意思ハ、今カラ養蠶ガ盛ニナッテ行ク所ハ、無論組合製絲モヤリマスガ、或ハ

地方ノ事情ニ依ッテ、ソレガ出來ヌコトモアリマス、サウ云フ場合ニハ、或ハ先進地ノ有力ナ會社トカ、色々ノ人カ

ラ地方ニ製絲場ヲ造ッテ戴キタイ、私ノ考ハヤハリ地方ノ僻村ニモ養蠶バカリヂヤイケマセヌ、農村ニ工業ヲ起サヌト、眞ニ農村ガ發達シテ行カヌヤウニナリマス、此意味カラ成タケ小サイノモ、大キイノモ、大小織混ゼテ地方ニ製絲場ヲ多ク設置スルコトヲ希望シテ居リマス、サウ云フ際ニ認可制度ヲ採リマス、是カラ勃興シテ行ク地方ハ不便ヲ感ジマスカラ、其點ニ付テ御考慮ヲ願ヒタイト希望シタノデアリマス、之ニ付テ甚ダ相濟ミマセヌケレドモ御答辯願ヒマス

○町田國務大臣 愈、國ノ力デ認可制度ヲ採リ、釜數ノ制限ヲヤルト云フコトニナルト、地方ニ依ッテハ特別ノ事情、養蠶業發達ノ歴史經過等ニ考ヘマシテ、左様ナ餘リニ杓子定規ニヤルコトハ弊害モアリマセウカラ、相當考慮致スコトニ致シマス

タモノヲ、十分製絲業者ノ方デ公平ニ買フヤウニ、今後共指導獎勵致シタイト思ヒマス

○小山委員長 一寸申上ゲマス、大臣ハ他ノ委員會ノ都合モアリマシタノヲ、特ニ繰合セテ御出願ッタノデ、願クバ大臣ノ御答辯ニ非ザレバ満足シ得ナイモノヲ、先ニ御質疑願ヒタイト思ヒマス、政府委員ニ御尋ノコトハ、其後ニ御廻シテ願ヒマス

○青木委員 乾繭施設ノ獎勵等ニ付テモ御尋致シタイノデアリマスガ、委員長ノ御話ノ關係モアリマスカラ、後ニ廻シマス、一二簡單ニ農林大臣ニ御尋致シタイ、横濱、神戸ノ間屋業ノ統制ニ付テハ、曩ニ生絲検査法ノ委員會デ、大體間屋業ノ統制ヲ付ケルト云フコトニ付テノ御方針ハ承ッタノデアリマスガ、尙ホ生絲ノ共同荷受所ヲ設置スル所ノ御意思ガアルカナイカ、又間屋業ニ對シテヤハリ認可制度ヲ實施スル方針ガアルカドウカ、ソレヲ御伺致シテ見タイト思ヒマス

○町田國務大臣 今ノ統制ノ問題ハ局長カラ申上ゲマス、問屋ノ認可制度ハ、只今ノ所デハ考慮致シテ居リマセヌ

○小平政府委員 青木サンノ御話ノ横濱、神戸ニ共同荷受所ヲ設置シタナラバドウカト云フ御話デアリマスガ、横

濱、神戸ニ共同荷受所ヲ造ルトカ、横濱
神戸ノ取引關係ノ改善ニ付キマシテ
ハ、現在輸出生絲格付検査ガ實施サレ
ル曉ニナリマス、色々改善スルコトガ
アリマス、目下問屋業者、製絲業者、
輸出業者等ガ委員ヲ擧ゲテ、委員會ヲ
組織シテ、其處デ色々研究ヲシテ居ル
ノデゴザイマス、ソレデ其研究ノ結果、
横濱ニ於ケル取引關係ハ、餘程今迄ヨ
リハ變タコトニナルカト思フノデア
リマス、共同荷受所ヲ設置スルト云フ
問題モ、從來一寸觸レタコトガアリマ
スガ、是ハ色々從來ノ取引慣行モアリ
マスシ、横濱ニ帝蠶會社ト云フ、色々
サウ云フ共同設備ヲスベキ目的事業ヲ
持ッテ居ル、一ツノ公益のナ會社モゴザ
イマスカラ、ソレ等ノ點ハ十分今度此
團體ガ認メラレルト同時ニ、サウ云フ
點ヲ考慮サレタイト思ッテ居リマス、今
的確ニ御答ハ一寸出來マセヌ

テ、其構成員ノ數ヲ御決メニナル場合
ニ於テ、養蠶業者ガ他ノ利害關係ヲ異
ニスル生絲業者ノ代表、輸出問屋業者
ノ代表等ト、十分對抗シ得ルダケノ實
勢力ヲ持チ得ル程度ノ代表者ヲ、中央
會ニ設ケルト云フコトガ、是ガ養蠶業
者ガ此系統的ノ統制ニ於テ、最後ノ發
言權ヲ有力ナラシムル所以デアリマ
ス、從來ノ日本ノ蠶絲業ノ上ノ一大缺
點ハ、尻窄ミニナッテ、最後ノ大問題ニ
ナッテ來ルト云フト、何時モ養蠶業者ガ
他ノ製絲其他輸出業者等ノ爲ニ、壓迫
セラレルト云フヤウナ氣分デ、永イ年
月ヲ忍バセラレテ來タノデアリマス、カ
ラシテ、今回ノ中央會ノ組織ニ當リマ
シテハ、大臣ニ於テハ特ニ御考慮下サ
イマシテ、今迄ノ政府委員政務官ノ答
辯、固ヨリ満足スル所デゴザイマス、
ガ、此機會ニ於テ蠶絲業者ノ利益ヲ徹
底セシムル爲ニ、中央會ノ組織ニ付テ
十分ノ考慮ヲスルト云フ保證の御言
明ヲ、大臣カラ得テ置キタイノデゴザ
イマス

○青木委員 私ハ大臣ニ對スル質問ヲ
此程度ニ止メマスガ、尙ホ此機會ニ於
テ諄イヤウデスガ、此法案ノ成立實施
セラレルト云フコトハ、養蠶業者ニ取ッ
テハ千載一遇ノ、養蠶業者對等ノ機會
ヲ握ル譯デアルト思ヒマス、ソレニ付
テハ先程モ特ニ大臣ノ御出席前ニ、大
臣ヲ輔佐スル地位ニアル參與官ノ出席
ヲ求メテ言明ヲ得タノデスガ、日本蠶
絲中央會ノ組織ヲ改メル根本方針トシ

テ、其構成員ノ數ヲ御決メニナル場合
ニ於テ、養蠶業者ガ他ノ利害關係ヲ異
ニスル生絲業者ノ代表、輸出問屋業者
ノ代表等ト、十分對抗シ得ルダケノ實
勢力ヲ持チ得ル程度ノ代表者ヲ、中央
會ニ設ケルト云フコトガ、是ガ養蠶業
者ガ此系統的ノ統制ニ於テ、最後ノ發
言權ヲ有力ナラシムル所以デアリマ
ス、從來ノ日本ノ蠶絲業ノ上ノ一大缺
點ハ、尻窄ミニナッテ、最後ノ大問題ニ
ナッテ來ルト云フト、何時モ養蠶業者ガ
他ノ製絲其他輸出業者等ノ爲ニ、壓迫
セラレルト云フヤウナ氣分デ、永イ年
月ヲ忍バセラレテ來タノデアリマス、カ
ラシテ、今回ノ中央會ノ組織ニ當リマ
シテハ、大臣ニ於テハ特ニ御考慮下サ
イマシテ、今迄ノ政府委員政務官ノ答
辯、固ヨリ満足スル所デゴザイマス、
ガ、此機會ニ於テ蠶絲業者ノ利益ヲ徹
底セシムル爲ニ、中央會ノ組織ニ付テ
十分ノ考慮ヲスルト云フ保證の御言
明ヲ、大臣カラ得テ置キタイノデゴザ
イマス

○加藤委員 菅村君ノ質問ニ關聯シマ
シテ大臣ニ承リタイ……
○小山委員長 一寸御諮リシマスガ、
サウスルト大臣ハ御急ギデスカラ、ア
ナタノ御發議ヲ願ッタル後、大臣ニ對ス
ル質問ヲ全部ズットオヤリニナッテ、大
臣カラ纏メテ御答辯ヲ願フコトガ、時

間ノ經濟上極メテ簡便デアラウト思ヒ
マスカラ、其意味ニ於テ加藤サンノ發
言ヲ許シマス
○加藤委員 先刻菅村君カラ質問セラ
レマシタ原蠶種國營ノ問題デアリマス
ガ、ソレニ對スル大臣ノ御答辯ハ調査
シタ上デト云フコトデアッタノデアリ
マス、ソレニ付テ一寸念ノ爲ニ伺ッテ置
キタイノハ、原蠶種ヲ國營ニスルコト
ニ付テノ必要ハ、大臣ハ御認メデアル
ケレドモ、併ナガラ之ヲ具體化スルニ
付テハ、調査シタ上デナケレバ分ラヌ、
斯ウ云フ意味デアリマス、或ハ之ヲ
調査シタ上デナケレバ、マダ自分ノ考
ヲ定メルコトガ出來ナイト云フ御考デ
アルカ、之ヲ伺ヒタイ、實際此組合法
案ノ制定ニ依リマシテ、根本的ノ問題
ハ解決セラル、コト、思ヒマス、尙
併ナガラ先日モ申シマスルヤウニ、尙
ホ取殘サレタ政策問題ハマダ澤山アリ
マス、其中養蠶業ニ於テハ、乾繭ノ取
引ガドウシテモ六七割以上ニ及バナケ
レバ、其效力ヲ發スルコトハ出來ナイ、
デアアルカラ養蠶業ノ更ニ安定ヲ期スル
ニハ、乾繭ヲ六七割以上ニ獎勵スルコ
トガ必要デアル、是ガ一ツ、ソレカラ
蠶種業ト致シマシテハ、原蠶種ヲ國營
ニスル、即チ優良品種ノ普及ト云フ點
カラ考ヘマシテモ、亦品種ノ統一ト云
フ上カラ考ヘマシテモ、是ハドウシテ

モ原蠶種ヲ國營ニスルト云フコトガ、
此場合最モ緊要ナコト、考ヘルノデア
リマス、之ガ爲ニ長野縣其他ノ當
業者ノ運動モアルヤウデアリマス、カ
ラ、此點ニ付テ大臣ノ御考ヲ伺ヒタ
イ、又製絲業ト致シマシテハ現物取引、
是ハ先般大臣ノ御答辯ヲ戴キマシテ、
大ニ其必要ヲ認メテ居ル、何レ實施ノ
日モ近クアルデアラウト云フコトデア
リマス、其點ニ付テ別ニ御伺スル
必要モアリマセヌガ、此原蠶種ノ國營
ニ對スル只今ノ點ヲ、尙ホ一層ハッキ
リ伺ッテ置キタイ

○横川委員 最初ノ質問ハ必ズシモ大
臣ノ御答辯ヲ要サナイノデアリマス
ガ、後ニ關聯シマシテ、ドウシテモ御
伺シテ置カナケレバナラヌノデ、御許
シヲ願ッテ簡單ニ質問致シマス、繭ノ檢
査ニ關スル施設ニ付キマシテ、青木委
員カラ御質問ガアッタノデアリマスガ、
是ハドウ程度ノ施設ヲ縣ニ於テ爲サシ
メル御意向デアリマス、又何人ノ
計算ニ於テ其檢定ヲスルノデアリマス
カ、其點ヲ御伺フ致シマス

○小平政府委員 繭ノ檢定所ノ設置
ハ、府縣デ設置セシメルコトニナッテ居
リマス、府縣ノ負擔デ經營スルト云フ
方針デアリマス、ソレニ對シテ農林省
ハ補助スルト云フコトニナッテ居リマ
ス、檢定所ヲ利用スルモノハ、養蠶業

者ヲ主トシテ居ル譯デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

相當早ク出來ルノデハナイカト考ヘテ居リマス、ソレカラ製絲業者ニ對スル關係ニ於キマシテハ、相成ベクハ、時機ヲ失スル嫌モゴザイマスカラシテ、一定ノ品種ノ、同一實行組合デラシテ來タ出荷ニ對シマシテハ、豫メ豫約ヲシテ置イテ、價格ハ出來ルナラバ後トデキメル、或ハ場合ニ依ッテハ、或割合デ代價ヲ拂ッテ置イテ、後ニ檢定ニ依ッテ正確ナ價格ヲキメルト云フヤウナコトニシテ、出來ルダケ早ク檢定ヲスル、サウシテ檢定ニ依ッテ繭取引ヲシテ、繭代金ノ支拂ガ遅クナルヤウナコトハ、成タケ避ケルヤウニヤラレ

ナノデアリマス、斯様ナ一箇月、二箇月、三箇月モ遅レルト云フ風ナ場合ニ於キマシテハ、若シ養蠶業者ガ之ヲ製絲家ニ販賣致シマスヤウナ際ニハ、其檢定ノ結果ガ現ハレルマデハ繭代金ヲ受取ルコトガ出來ナイヤウニナルノデアリマスガ、之ニ付テハドウ云フ御考デアリマセウカ、是非豫備的デゴザイマスカラ、是非御答ヲ願ヒタイ

上ハ、乾繭組合等ノ如キ、其中間機關ヲ認メルト云フコトデナケレバ、到底圓滑ニ蠶絲業ノ統制ヲヤッテ行クコトガ出來ナイト私ハ思フノデアリマス、デス様ナ見地カラ致シマシテ、是非共乾繭組合ト云フモノヲ特別ニ茲ニ認メマシテ、他ノ蠶絲業組合ト同様ニ、此統制ノ中ニ御加ヘアラントヲ御願スル次第デアリマスガ、之ニ付キマシテ農林大臣ノ御意見ヲ伺ヒマス

○横川委員 口引ノ檢定ヲ致シマスル施設ハ、大體申込者ノ數ニ依ッテ、又其口引ノ施設ニ依リマシテ、檢定ノ期間ト云フモノガ相當之ヲ要スルモノデアリマシテ、自分等ハ乾繭取引ヲ獎勵致シテ居リマスル立場ニ於キマシテ、事實上檢定ノ期間ト云フモノハ、二箇月ニ互リ、三箇月ニ互ルヤウナ場合ガ往往起ルノデアリマシテ、斯様ナ多數ノ希望者ニ對シテ、最モ速ニ此希望ヲ達セシメテ、繭價ノ計算等ニ於キマシテ異動ナキヲ期スルコトハ、非常ニ困難ナノデアリマス、斯様ナ一箇月、二箇月、三箇月モ遅レルト云フ風ナ場合ニ

○横川委員 御希望ノ點ハ御尤ト思ヒマスガ、實際問題ト致シマシテ、是ハ頗ル重要ナ問題デアルト思ヒマス、現在ノ製絲家ノ財政ノ實情カラ申シマシテモ、此繭代金受授ニ關シテ、非常ナ手違ヲ生ジタ場合モ多々アルノデアリマスガ、現在此檢定ニ依リマシテ、相當期間ヲ要スルト云フコトニナリマスト、ドウシテモ茲ニ中間ノ機關ヲ豫想致シマセスケレバ、繭生産者ガ之ヲ信賴シテ檢定ニ委託スルト云フコトデナケレバ、殆ド不可能デアルト思フノデアリマス、此一點カラ考ヘマシテモ、當然養蠶實行組合ガ、其目的ヲ貫徹スル爲ニ、即チ繭取引ノ方法ヲ改善セン

ガ爲ニハ、當然農林大臣ノ御話ノ如キ、中間機關デアル乾繭組合ト云フモノガアツテ、代金ノ代拂ヲスルト云フコトデモシナケレバ、實行シ得ナイモノデアルト思フノデアリマス、是ハ直グ様起ルベキ問題デアリ、此乾繭組合ナシニハ取引ノ改善トカ、其他此蠶絲業組合法ニ依ル目的ハ、總テ達シ得ラレナイモノト私ハ考ヘルノデアリマス、元來政治ノ目的トスル所ハ、客觀的事實ノ正確ナル認識ニ出發致シマシテ、ヨリ良キ將來ノ成果ヲ得ンガ爲ニ、適切ナル施設ヲ爲スコトニ在ルト思フノデアリマスガ、今茲ニ提出セラレマシタ蠶絲業組合法ガ、混沌タル業界ニ統制ヲ與ヘテ、業界將來ノ健全ナル發達ヲ目的トスルモノデアラナラバ、何故ニ本法運用ノ中心機關デアル乾繭組合ノ利用ヲ認メナイノデアリマスガ、此點ニ付テ重ネテ農林大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、養蠶組合自體ノ使命ハ、勿論團體取引デアリマシテ、此團體取引ヲ更ニ有效ニ、有意義ニ致シマシタモノガ、即チ乾繭取引デアアルノデアリマス、又本日ノ質問應答中ニ於キマシテ、中間業者デアル繭絲業者、繭ノ仲買業者等ヲ疎外シタコトニ付キマシテ、青木委員カラ、是ハ不當デアルト云フ風ナ意味ノ御説ガアッタノデアリマ

○町田國務大臣 只今私カラ答辯セヨト云フ御質問ガ、青木委員、加藤委員、横川委員カラアリマシタ、青木君ノ御尋ニ對シテハ、先刻政務官、局長カラ詳シク申上ゲタト承知シテ居リマス、御質問ノ要旨如何ニモ御尤デアリマス、尙ホ一層私ハ強ク申シテモ宜シイト思ヒマス、現在ノ中央會ガ日本ノ蠶絲業ニ相當功績ノアルコトハ勿論デアリマスガ、如何ニモ全國二百萬ノ多キニ達スル養蠶家ノ利害及勢力ヲ、完全ニ代表サレテ居ラヌノハ事實デアリマス、或縣ノ如キハ一人モ代表者ガ出テ居ラヌ所モアル、ソレ故ニ中央會ノ決議ハ、加藤君ナドハ御承知ノ通り、養蠶家、製絲家ノ部會ガアル、ソレガ一緒ニ決議シタニ拘ラズ、中央會ノ決議ハ養蠶家ノ利益ニ反スルト云フ聲明ヲ、他ノ團體カラ發表スルト云フヤウナコトハ、甚ダ遺憾ニ思ヒマス、幸ヒ此度皆様

○小平政府委員 今回ノ助成ノ制度ニ依リマシテ出來マス檢定所ニ於キマシテハ、成ベク速ニ檢定ヲスル方針デ努メテヤラセルコトニ考ヘテ居リマス、隨テ實行組合アタリノ持ッテ來ル共同出荷ノ中ノ、是ハ全部デナクシテ、共同出荷ヲ拔キ檢査的ニヤレバ、

ル爲ニ、即チ繭取引ノ方法ヲ改善セン

ハ、甚ダ遺憾ニ思ヒマス、幸ヒ此度皆様

ハ、甚ダ遺憾ニ思ヒマス、幸ヒ此度皆様

ノ御盡力ニ依ッテ、渾然統一シタル大機
關ガ出來ルコトニナリマスレバ、養蠶、
製絲家が最も多數ヲ占メテ居リ、全國
過半ノ農村ノ繁榮進歩ニ大關係ヲ持ッ
テ居ル、養蠶業ノ利害及其勢力ガ有ノ
儘ニ中央會ニ於テ現ハレルコトハ當然
デアリマス、或ハ定款ヲ作ル時ニ於テ、
決議ヲスル場合ハ、會員三分ノ二以上
ノ決議ヲ以テ有效トスルト云フヤウナ
方法モアリマスシ、其他ノ代表者ノ數
ナドニ付テモ、相當十分考慮シテ、其勢
力ヲ公平ニ中央機關ニ現スコトニ付テ
ハ、私ハ責任ヲ以テ申上ゲマス、ソレカ
ラ第二ノ原蠶種製造ノ國營ノ事ハ、ソ
レハ宜イト思ヒマスガ、經費其他ノ關
係カラ今ハ出來ナイト思ヒマス、是ハ
此前他ノ委員カラノ御質問ニ對シテモ
御答シタコトデアリマス、同時ニ其時
六百種モアル雜然タル原蠶種ヲ出來ル
ダケ改良統一スル方針ヲ執リタイ、ソ
レニ付テハ現下蠶業試驗場デ折角實行
シツ、アル所ノ優良蠶種ノ普及ニ依ッ
テ、自ラ多數ノ蠶種ハ淘汰セラレルダ
ラウト云フ理想ヲ持ッテ居ルト云フコ
トヲ申上ゲタノデアリマス、必ズシモ
茲ニ國營ガ宜シイト云フ斷定ヲ下シ
テ、其實行スベキ經費其他ニ付テノミ
考ヘテ居ルト私ノ答辯ヲ御解釋下サル
コトハ、マダ少シ私ノ心持トシテハ早
イヤウデアリマス、出來ルナラバ私ハ

國家ノ力デナク、優良種ノ普及ニ依ッテ
原蠶種ノ改良ヲ圖リタイノガ理想デア
リマス、ソレガ旨ク參リマセヌ時ハ、國
營ト云フコトニ對シテ相當考慮スルコ
トガ必要デアル、主義トシテハ國營ガ
宜シイト、ハッキリ責任ヲ以テ御答スル
マデノ調査ハ、マダ出來テ居ナイト御
承知ヲ願ヒマス、ソレカラ横川サシノ
御尋ハ、一面ニ於テ組合製絲ハ理想ト
シテ宜シイト同時ニ、昨今生繭取引ニ
依ッテ養蠶家が相當大ナル不利益ヲ受
ケテ居ル實狀ハ、私モ大體承知シテ居
リマス、ソコデ場合ニ依ッテハ、低利資
金ノ融通其他ノ方法ニ依ッテ、相當價格
ノ生ズルマデ、之ヲ乾繭ニシテ置イテ
賣出サヌト云フ方法モ宜カラウ、兎ニ
角養蠶家ノ立場ヲ考ヘマシテ、乾繭組
合ヲ出來ルダケ獎勵シテ參ルコトハ、
最モ必要ト思ヒマス、從來政府ガ乾繭
裝置、乾繭倉庫ノ獎勵ニ對シテ、相當ナ
補助金ヲ出シテ居リマスルコトハ左様
デアリマス、併シ現狀ニ即シテ見マス
ルト、先般申シマシタ通り、六大部分ニ
分ッテヤッテ居ル、ソレニ更ニ一ツノ部
門ヲ加ヘテ、之ヲ他ノ製絲家或ハ養蠶
家組合ト同ジヤウナ立場ニ持ッテ行ク
コトハ、今日ノ狀態ニ於テ如何デアラ
ウカ、寧ロ此前カラ申シマシタ此養蠶
組合ノ方ニ入ル、加入ノ資格ヲ持ッテ居
リマスルカラ、此組合ニ加入セラレ、

バ、乾繭組合ト云フモノ、將來益、發
達スベキ點カラ見マシテモ、此組合ニ
於テ有力ナル地位ヲ占メラル、コト、
思ヒマス、併シ横川君竝ニ高橋君ノ御
話ノ如ク、從來埼玉縣ヲ初メトシテ之
ヲ獎勵サレテ、全國ニ是ガ、乾繭組合
ノ普及スルコトハ望マシイコトデアッ
テ、私モ希望シテ居リマス、其點カラ
見マスルト、稍、乾繭組合ノ方々ハ、一
ツノ團體トシテ之ニ入レラレナイ爲
ニ、或ハ獎勵ノ遅ル、ヤウナ虞ガアル
ト御心配ナサルノモ御尤ト思ヒマス
ガ、マダ此組合ノ方ニ加入セラレ、コ
トニ付テ獎勵シテ下サルナラバ、今後
私共モ乾繭組合ノ助成ヲ致ス方針ヲ
益、進メマスルガ故ニ、此度直チニ此法
律ニ向ッテ、御希望ノ通り一ツノ新タナ
ル團體ヲ入レルコトハ、マダ決心ハ付
キマセヌ、併シ將來此法律運用ノ曉ニ
於キマシテハ、尙ホ一層乾繭組合ヲ取
扱フコトニ付キマシテ、十分考慮ヲ拂
ッテ、或ハ御希望ノ通り行キ得ラル、時
機ガ生ズルデアラウトモ思ハレル、或
ハ何等カ他ノ方法ニ依ッテ、乾繭組合ノ
地位ヲ尊重シ、其普及ヲ圖ル上ニ於テ、
別ニ考慮ヲ致シテ見タイ、的確ニハ何
レニ據ルカト云フコトヲ、此席デハ私
ハ責任ヲ以テ申上ゲルマデノ、マダ確
信アル方法ハ見出シマセヌガ、乾繭組
合ノ獎勵ヲ致スト云フコトハ勿論、而

シテ此組合ノ利害ニ付テ、如何ニシテ
將來此團體ヲ扱フカト云フコトニ付キ
マシテハ、一層考慮シテ、出來ルナラ
バ御希望ニ副フヤウナコトニ向ッテ、調
査ヲ進メテ見ルト云フコトニ依ッテ、暫
ク此問題ハ將來ノ問題トシテ保留セラ
レルコトヲ私ハ希望致シマス
○林委員 私ガ大臣ニ御質問シャウト
思フコトハ、同僚諸君ニ依ッテ相當盡
サレマシタガ、尙ホ茲ニ二三ノ御質問
ヲシヤウト思フコトハ、先刻來青木委
員ヨリ御質問致シマシタ所ノ、所謂製
絲業ヲ許可制度ニスルカ、斯様ナコト
ハ、即チ生産過剩ノ調節ヲ圖ルト云フ
ヤウナ意味ノ上カラ、斯様ナ御考ガ起
キタモノト思フノデアリマス、許可制
度ニスルト云フコトニ付テハ、只今重
ネテ申上ゲマスルガ、ヤハリ此養蠶ノ
調節ヲ圖ルニハ、製絲業ヲシテ許可制
度ニシテ行クコトガ、最モ必要ノヤウ
又永田委員ノ御話ヲ承リマスレバ、マ
ダ是ヨリ養蠶業ハ、土地ニ依リマシテ
ハ是ヨリマダ開ケテ行クト、斯様ナル
場所デアリマスルト、即チ許可制度モ
或ハ一考シナクテハナラナイト思フノ
デアリマスガ、併シ今日ノ現狀ニ鑑ミ
マシテ、吾國ノ製絲業ハ、或ハ生産過
剩デハナイカ、承ル所ニ依レバ、既ニ
横濱ニ二十萬捆ノ罐詰モアル、ソレ等

モ非常ニ此絲價ヲシテ暴落セシムル所
以デモアリ、又一方海外ノ機業家ニモ、
之ニ依ッテ脅威ヲ受ケサシメルヤウナ
コトモアラウト思ヒマス、第一私ガ昨
日大臣ニ伺ッタ次第デアリマスルガ、此
現在吾國ガ輸出シテ居リマスル所ノ生
絲ノ額ト云フモノハ、一體ドウ云フ風
ニナッテ居リマスカ、ソレカラ之ヲドウ
云フ方法ニスレバ、此吾國ノ生絲ガマ
ダ十分ニ海外ニ出テ行クカ、生産費ヲ
低下シテ云々ト云フコトモ、洵ニ御尤
ノコト、ハ思フノデアリマスガ、大體
需要ガ澤山ニ廣ク世界ニアルモノデナ
イナラバ、益々斯様ナル助長政策ヲ執
テ行クナラバ、其倒レニナルト云フコ
トハ、是ハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアリ
マスルノデ、自然許可制度ト云フヤウ
ナコトモ、段々進ンデハ必要ニナッテ
行クヤウニ私ハ考ヘマスルガ、第一海
外ヘ何レノ方面ニ、マダ此販賣ノ餘裕
ガアルカ、相當是ハ政府モ御調査ヲ爲
サッテ居ラナクテハナラナイシ、今後ハ
尙ホ御調査ヲシテ戴キタイト思フノデ
アリマスガ、現在ノ世界ノ生絲ノ需要
ト云フモノガ、大體ドンチャウニナッ
テ居リマスカ、大體宜ジウゴザイマ
スガ、チヨット承リタイ

○町田國務大臣 許可制度ノ問題ヲモ
ウ一遍申シマス、鹿兒島其他九州方面
ニ於キマシテ、近年盛ニ副業トシテ進

ンデ居ル事業デアリマシテ、或ハ數十
里ニ互ッテ、マダ製絲所ナイ所ガアル、
大キナ製絲所モ必要デアルガ、或ハ小
サナ、隣保相助ケルト云フヤウナ、組
合製絲ニ近イヤウナ小サイ製絲所モ
——地方農村ノ一部ヲ工業ニ依ッテ繁
榮セシムルト云フコトニ必要ガアル、
是ハ實際左様デアリマセウ、農村ニ或
ル工場ガ出來テ、其處デ労働者ガ使用
セラレルト云フコトデアレバ、小サイ
農村デモ、小サナ設備デヤッテ見タイ
ト云フ希望ガ出ルコトハ、私モ實ハ分
リマスガ、併シ結局ソレハ生産費ガ高
クナッテ參ルヤウニ考ヘマスカラ、大體
ニ於テハ三千ノ製絲家——昨年アタリ
モ小サナモノハ更ニ殖エテ居リマス、
斯様ナコトガ止ムコトガナカタナラ
バ、國家之ヲ統制スル必要ガアリハセ
スカト思ッテ、研究ヲ進メテ、場合ニ
依レバ産業審議會ノ議ニ掛ケヤウカ
ト云フマデノ考ヘガアッタト申シタ
ノデアリマスガ、此點ハ若シ愈々左様
ナ運ビニ參リマシテモ、時ノ事情ニ依
ッテハ、例外取除ケガナケレバナラ
ナイコトハ承知致シテ居リマスカラ、
之ヲ考慮スルト先刻申シタノデアリ
マス、林サンノ今ノ御尋ハ、一面御尤
モニ思ヒマスガ、唯左様致シマス、
認可規定ニ依ッテ製絲工場ヲ假ニ相當
ナ數ニ制限シ得タト指シマシテモ、生

絲生産高ガソレニ依ッテ直ニ減ルヤウ
ニモ考ヘラレマセヌ、若シ製絲ノ分量
ヲ減ラスト致シマスレバ、養蠶家ノ節
制モ此間ニナケレバ澤山ノ繭ガ出來テ、
生絲ノ調節ヲスル、絲價ノ調節ヲスル
爲ニ、製絲工場ノ制限ノミニ依ッテ此生
産高ヲ減ラスト云フ譯ニハ參リマセヌ
カラ、ソコニ參リマス、幸ヒ此度出
來マス製絲家養蠶家ヲ初メトシテ、各
種ノ團體ノ最高機關ニ於テ、共同シタ
ル統制機關ニ依ッテ參ルヨリ外ニ途ガ
アルマイ、是ガ一番良イ方法ト考ヘテ、
暫ク此御協賛ヲ經マシテ、新ナ最高機
關ノ出來タ其働キニ俟ッテ更ニ攻究致
スコト、致シタイト思ヒマス、販路ノ
事ハ先般來御心配デアリマシテ御尋ガ
アリマシタガ、御尤モデアリマス、愈々
格付ガ——品位検査ガ出來マシテ、國
ノ検査ヲ得タモノニヌラズンバー一切輸
出ガ出來ヌト云フコトニ因ッテ生ズル
所ノ我が生絲ノ聲價ガ高マリマス、
昨年アタリモ少シ殖エマシタガ、歐洲
方面ニ向ッテ販路ヲ開クコトハ勿論、近
頃阿弗利加方面ニ向ッテモ相當參ルト
云フコトノ報道モ得テ折角調査シ掛ッ
テ居リマス、又亞米利加ニ於キマシテ
モ——私共ハ内地ノ生産費ヲ安クシ
テ、品質ヲ改良致シマス、昨年アタ
リ一時現レマシタ所ノ絲價ノ下落ニ依
ッテ一時人絹ニ侵サレタ領分ガ、再ビ天

然絹絲ニ依ッテ回復シツ、アルト云フ
傾向ノアルコトヲモ明カニ其事實ガ證
明サレテ居リマスルカラ、私ハ今後益々
日本ノ蠶絲業ヲバ發達セシメテ、最モ
懸念致シテ居リマスル將來著シク發達
ノ道程ニアル所ノ支那ノ生絲ト競争ス
ル大決心ヲ持ッテ參リマスレバ、前途決
シテ悲觀スルニ及バヌ、併シ販路ノ擴
張ト云フコトハ御話ノ通り最モ必要デ
アリマス、先日御話シタ通り、中央會
アタリデモ相當ノ金額ヲ支出シマシ
テ、此方面ニ向ッテ努力シ、政府モ之ニ
後援シテ一意販路擴張ノ爲ニ努力スル
コトハ勿論デアリマス、御希望ニ副フ
ヤウニ努メマスル故ニ、調査ノ間ノ暫
クノ時日ヲ御借シ下サレバ、更ニ又御
満足ノ出來ルヤウナ御答辯ヲスル機會
ガ出來ヨウト思ヒマス

○林委員 御親切ナ御答辯デ能ク了解
致シマシタガ、現在此蠶絲業國難ト申
シマスルカ、非常ナル不況ニ直面致シ
マシテノ打開策ト致シマシテ、綿絲ニ
致シマシテモ、毛織物ニ致シマシテモ、
海外カラ我國デハ輸入シナケレバナラ
ナイ、然ラバ國策ト致シマシテ現在有
リ餘ッテ居ル所ノ生絲ヲシテ、モウ少シ
有意義ニ吾々國民ニ之ヲ普及セシメル
ト云フヤウナ方法ヲ執ッテ行ク御考ハ
ナイノデアリマスルカ、先頃來國產獎
勵ト云フヤウナ意味合ニ於キマシテ、

勵ト云フヤウナ意味合ニ於キマシテ、

吾々モ既ニ絹ノ洋服ナドモ一ニ著作ッ
テ見タコトモアリマスガ、價格モ敢テ
高價ニアラズ、アト引續イテ注文シヨ
ウト思ッテモ、所謂機屋ガ少イ爲ニ折角
ノ需要ニ應ズルコトガ出来ナイ、斯様
ナ場合モアリマスルガ、一面ニハ政府
ハ此場合斯様ナル一ツノ統制ガ付イ
テ、有意義ナル法律ヲ制定スルコトデ
アリマスルカラ、企業ト云フコトニモ
ウ少シ御考ヲ置イテ、内地ニ於テモ消
費シテ行クト云フ考ハナイノデアリマ
スルカ、是ハ私ハ最モ重大ナル事ト思
フ、外國へ輸出致シマスニモ近來ハ「セ
レ布林」ガアッテ隨分生絲ヲ出スニハ
ムヅカシクナッテ居リマスガ、内地ニ於
テハ左マデナクテモ相當使フコトガ出
來ルノデアリマス、又非常ニ能ク出來
テ、著心地モ好シ耐久力モアルノデア
リマス、價格モ敢テ高價トモ思ハナイ
ノデアリマス、此場合ニ所謂蠶絲業國
難ニ直面致シマシテ、政府ハ何トカ實
際問題ニ於テ之ヲシテ助成スルノ御考
ハナイカ、此御所見ヲ伺ヒタイト思フ
ノデアリマス

○町田國務大臣 私ハ販路擴張、需要
ノ増加ニ對スル外ノ事バカリ申シテ、
内地ノ事ヲ申サナカッタ爲ニ、只今ノ御
尋ヲ得マシタガ、御同感デアリマス、
先般來中央會ノ幹部ハ私共農林當局ハ
屢々會合致シマシテ、内地消費ヲ増加ス
ルコトニ付キマシテ、色々ナ努力ヲ致
シマシテ、現ニ先般ノ融資補償委員會
ニ於キマシテ、二十萬圓處分ノ中ノ十
萬圓ハ海外ニ輸出スル、出來ルナラバ
十萬圓位ハ地遣絲トシテ内地ニ送ル協
議ヲシテ福井、足利ノ方面ニ一部ヲヤ
ルコトニ協議ヲ致シタノデアリマス、
成程帝蠶會社ニ於キマシテ、相當ノ資
本ヲ投ジマシテ、海外カラ幅廣ノ機械
十六臺ヲ既ニ取寄セマシテ、銳意内地
ニ於テ需要サル、所ノ洋服地ノ發達ノ
爲ニ機械ヲ据付ケテ居ル次第デアリマ
ス、林君ガ御召シニナッタ通り私モ試ミ
テ居リマスガ、今後相當是ガ參ッテ、一
面生絲若クハ毛織物ノ輸入ヲ之ニ依
テ幾分牽制致シマス、生絲ノ需要ヲ
増シテ價格ヲ維持スルト同時ニ、ヤハ
リ國際貸借ノ上ニ於テモ頗ル宜イコト
ダラウト思ヒマス、唯實際問題トシテ
私ハ先般屢々此問題ニ觸レテ居リマス
ガ、今ノ價格デハ相當毛織物ト對抗ガ
出來ルマデ、參ル望ミガアルヤウデア
リマス、併シ今ノ生絲ノ價格ガ或點マ
デ回復シテ參ッタ時ニハ、マダソコニ一
ツノ何ト申シマスカ、内地ノ需要ガ今
日思フ程ニ、毛織物ニ代ル絹ノ洋服地
ミタイナモノデ參リマスルヤ否ヤニ付
テハ、多少ノ疑問ヲ有シテ居リマス、
併シ其間ニ自ラ經營ノ方法ニ依ッテ生
産費モ減ズレバ、生絲ノ價格ガ茲二百
圓ヤ、三百圓上リマシテモ、相當ナコ
トガ參ルト思ヒマスガ、先般來屢々研究
シマシタガ、今ノ價格ハ安過ギル、是
ガ或ル程度マデ回復シタ時ニ、毛織物
ト競争スル絹織物ノ洋服地ガ出來ルヤ
否ヤハマダ多少ノ實際問題トシテ疑問
ガ殘ッテ居リマスガ、出來ルダケ獎勵モ
致シ、既ニ只今先ニ申シマス通り、機
械ヲ十六臺買ッテ試驗致シテ居ルト云
フコトヲ此際御紹介申上ゲテ置キマ
ス

○青木委員 マダ御質問申上ゲタイコ
トモアルノデスガ、一ツ乾繭倉庫ニ對
スル年次別ノ助成金高ヲ此處ニ在ルナ
ラバ御報告ヲ願ヒタイシ、無ケレバ次
ノ會ノ劈頭マデニ御提出ヲ願ヒタイト
思ッテ居リマス

○小平政府委員 次ノ會ニ取調ベテ置
イテ差上ゲマス

○高橋守委員 蠶絲業ノ問題ハ、我
ガ貿易上ノ大本デアリマシテ、非常ナ
重大性ヲ持ッテ居ル問題デアリマス、殊
ニ吾々ハ蠶絲業國策ノ樹立ヲ多年要望
シテ居ルモノデアリマスカラ、尙ホ此
蠶絲業ヲ中心ト致シマシタ質疑應答ヲ
色々續ケタイノデアリマスガ、此處ニ
提出サレテアリマスル、蠶絲業組合法
案其モノハ、全ク蠶絲業關係者ノ多年
ノ要望シテ居ッタモノ、實現デアリマ
スカラ、之ヲ一日モ早ク實現シタイト

云フ意味合デ、總括的ノ質問ハ此點デ
取止メマシテ、サウシテ本案ニ對シマ
スル法文ニ付テノ質疑ニ入りタイト思
ヒマス、サウシテ其質疑ノ進行方ハ第
一章ハ各節毎ニ、第二章ハ章其儘ノ方
法ヲ進メラレタイコトヲ希望致シマ
ス

○小山委員 御諮リヲ致シマス、可
ナリ長時間ニ互ッテ蠶絲業ヲ中心トシ
テノ質疑應答ガアリマシタ、尙ホ盡サ
ザル點ハアリマシテモ、本委員會ノ當
面ノ議題デハアリマセヌカラ、此法文
ニ付テノ質疑ニ移ルト云フコトノ動議
ガアリマシタ、御賛成デアリマスナラ
バ左様ニ取計ヒタイト思ヒマス、サウ
シテ此場合ニ、既ニ御質問ノ中ニ各條
項ニ互ッタモノモアリマスルカラ、如何
デアリマセウ、各節ハ省キマシテ、是ハ
三章カラ成立ッテ居リマスカラ、章毎ニ
御願ヒシテハ如何デアリマセウカ

○青木委員 節毎ニ願ヒタイノデス

○小山委員 長 ソレデハ節毎ト云フコ
トニ致シマス——第一章第一節、即チ
第一條ヨリ第十五條ニ至ル間ニ於テ、
御質問ガアリマシタラ御尋ヲ願ヒマ
ス——別ニ御質疑ガアリマセヌカラ、
第二節ニ入りマス、第十六條カラ第四
十一條ニ至ルマデノ間、各條ニ付テノ
御質疑ヲ願ヒマス

○横川委員 第二十三條ニ「養蠶實行

組合ハ其ノ設立ノ日ヨリ二週間以内ニ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スベシ」ト云フコトガ書イテアリマスガ、從來マデ産業組合等ノ設立ノ場合ニ於キマシテハ、行政官廳ニ之ヲ届出デマスルト、行政官廳ノ方面ヨリ登記ノ手續ヲ取ッテ吳レタヤウニ記憶スルノデアリマスガ、元來今度ノ御施設ハ民業ヲ助長シテヤッテ行カウト云フ御趣旨ニ依ッテ立ッテ行クモノデアリ、又其單位組合ト云フモノハ非常ニ小サイモノデモアリ、又斯様ナ手續上ノコトニ關シマシテハ、極メテ不慣レデアルヤウニ思フノデアリマスガ、是ハ同様な意味合デ産業組合ト同ジヤウナ御取扱ヒニナルコトノ方ガ至當デアリ、又此事業發展ノ上ニ於キマシテモ、其方ガ宜イト思フノデアリマスガ、之ヲ削除スルナリ、訂正スルナリノ考ガ政府ニナイノデアリマセウカ

○小平政府委員 御答致シマスガ、此養蠶實行組合ハ産業組合ト違ヒマシテ、是ハ認可ニ依ッテ成立スル法人トナッテ居リマセヌノデ、契約ヲ作成スレバ直チニ法人ニナルト云フ全然私法人タル法人ニ致シマシタ結果、囑託登記ノ制度ハ法制上執リ得ナイト云フコトデ、斯ウ云フ案ニナリマシタ譯デアリマス

○青木委員 諒承致シマシタ、ソレカ

ラ十九條ニ關聯致シマスガ、養蠶實行組合ノ設立ナキ地方ハ、是カラ設立ヲ獎勵スルヤウナ方針ナノデスカ

○小平政府委員 左様デアリマス、出來ルダケ養蠶實行組合ヲ獎勵シテ共同作業ヲ進メタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○高橋(守)委員 ヤハリ第十九條ニ關聯シテ居リマスルガ、先程青木委員カラ御質問申上ゲマシタ所得税、營業收益税ノ免除問題ニ關聯致シマシテ、家屋税、戸數割ト云フヤウナモノガ、各府縣デソレレ、免除シテ居ル所モアルト云フ風ナ御答辯モ承ッタノデアリマスガ、是ハ全國ニ互ッテ各府縣共、此實行組合ニ對シテハ免税ヲスルヤウナ一ツ御方針デ何トカ御心配願ヘマセヌデセウカ

○小平政府委員 御説ハ御尤モデアリマシテ、地方廳デ出來ルダケサウ云フ風ニ、免税スルヤウニ農林省トシテモ極力努力シタイト思ッテ居リマス

○青木委員 二十一條ノ「其ノ地區内ノ養蠶者七人以上設立者ト爲リ」ト云フ此七人ト云フ單位ハ何カ他ノ立法例等カラ採ッタノデスカ、ドウ云フノデスカ

○小平政府委員 御答致シマスガ、此七人ト云フノハ、法人ハ總テ七人ニナッテ居リマス、産業組合デモ、會社デモ、總テ七人ニナッテ居リマス

○青木委員 二十七條ノ「養蠶業組合ヲ設立セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ」云々トアルガ、命令ノ定ムルト云フコトハ、一口ニドウ云フコトデアリマセウカ

○小平政府委員 命令デ定ムルト云フノハ、主トシテ創立總會ノ構成ニ付キマシテ定メルノデ、養蠶業者ガ間違ヒナク創立總會ヲ構成スルヤウニシタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○横川委員 第十六條ノ七號デアリマスルガ、「養蠶業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁」トゴザイマスガ、紛議ト云フノハドウ云フヤウナコトヲ大體御考ヘニナッテ居ルノデゴザイマスカ

○小平政府委員 養蠶業ニ關スル紛議ト申セバ、色々ナコトハゴザイマスルガ、先ヅ大キナコトヲ考ヘマスレバ、養蠶業者ガ製絲業者ニ繭ヲ賣リ込シダ場合ニ於テ、繭代ヲ拂ハヌ、ソレハドウスルカ、ソコニ色々ナ紛議ガ起キルト思ヒマスガ、サウ云フ點、ソレカラ蠶種製造業者ガ養蠶業者ニ配付シタ蠶種ニ付テ、病毒ガアッタ爲ニ不作ガアッタ、ソレニ付テ蠶種製造業者ガ補償スル、或ハ製絲業者ガ配付シタ蠶種ニ付テ病毒ガアッタ爲ニ、補償問題ガ起キルノデアリマス、サウ云フ點ニ付テハ、公法人タル養蠶業組合ガ間ニ入ッテ、調停スルト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○高橋(守)委員 第三十一條「主務大臣必要アリト認ムルトキハ區域ヲ指定シ養蠶實行組合ニ對シ養蠶業組合ノ設立ヲ命ズルコトヲ得」ト云フノデスカ、必要アリト認ムルト云フノハ、ドウ云フ場合デアリマセウカ

○小平政府委員 養蠶實行組合ガ相當數設立サレテ、一ツノ郡ナラ郡内ニ、相當養蠶實行組合ガアルノニ、マダ其設立ヲシナイト云フヤウナ場合ニ於テハ、養蠶組合ノ設立ヲ命ズルト云フ規定ヲ置イタノデアリマス、是ハ最後ノ手段デアリマシテ、出來ルナラバ、郡市區域ノ養蠶組合ヲ設立サセタイト思フノデアリマスガ、是ハ現在ノ同業組合等ニモ此規定ガアリマス關係上、殊ニ公法人デアル譯デアリマスカラ、斯ウ云フ規定ヲ入レタ譯デゴザイマス

○青木委員 三十一條ノ二項ノ「必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム」此命令ノ内容ハドウデスカ

○小平政府委員 是ハ設立ヲ命ジダ場合ニ於テ、ドウ云フ工合ニシテ養蠶業組合ヲ組織スルカト云フ點デゴザイマスガ、從來ノ立法例ニ依リマス、地方長官ガ設立ヲ斡旋スルコトニシマシテ、地方長官ガ養蠶實行組合ノ設立ノ代表者ヲ集メテ、サウシテソコデ組合ヲ作ラセルト云フヤウナ手續ニナルカト思フノデアリマス

ト思フノデアリマス

○小山委員長 別ニ御質問ガアリマセ

ヌカラ第三節ニ移リマス、即チ第四十二條ヨリ第四十五條ノ各條項ニ付テ御質問ヲ願ヒマス——第三節ニハ質問ガアリマセヌカラ第四節ニ移リマス、第四節、四十六條カラ五十一條ノ御質問ヲ願ヒマス

○青木委員 四十六條四十七條ニ關聯

シマシテ——四十七條ノ第四號「製絲業ニ從事スル者ノ福利増進ニ關スル施設」是ハ營業製絲ノ方ノ組合ニハ此項目ヲ設ケテアルガ、組合製絲ノ四十六條ノ目的事項ノ中ニハ此事項ガ取除ケテアルノハドウ云フ譯デアルカ、同ジ製絲業ニ從事スル工場従業員ノ福利増進ト云フコトハ、ドッチモ必要デヤナイカト思フノデスガ、此點ノ説明ヲ願ヒマス

○小平政府委員 御答致シマス、四十

六條ノ産業組合製絲組合ノ方ハ、産業組合ガ組織スル公法人ニナル譯デアリマス、ソレデ産業組合ノ方ハ實際ニ於キマシテハ、組合員タル農家ノ子弟ガ組合製絲ノ工場ニ勤メテ居ルヤウナ關係デアリマシテ、眞向カラ福利増進ト云フコトヲ謳フト云フト、此營業製絲ノ方ト區別ガ明瞭ニナラナイト云フ點モアリマスガ、併シ産業組合ハ現在四種類ニ分レテ居リマシテ、産業組合ノ法律上ノ正確ナル目的カラ申シマスレ

バ、従業員ノ福利増進ト云フコトハ、

或ハ産業組合トシテハ目的外ニナルヤウナ嫌モアリマスノデ、眞向カラ謳フコトハ或ハ如何ト思フテ抜イタ譯デアリマス

○青木委員 四十八條ノ「特別ノ事由

アルトキハ」ト云フノハ、ドウ云フ風ニ解釋シマスカ

○小平政府委員 特別ノ事由ト申シマ

スト、是ハ各地方々々ニ依ッテ其事情ガ異ナル譯デアリマスガ、或ハ二三府縣或ハ一ツノ府縣ト他ノ府縣ノ一角ト一緒ニナッテ製絲組合ヲ作ル必要ガアル場合モアラウカト思ヒマス、或ハ或ル府縣ニ於テハ一ツモ製絲組合ガ無イト云フ時ニハ他ノ縣ヘクツケル必要ガアルカト思フテ、萬ガ一ノ事ヲ心配シテ、斯ウ云フ例外ヲ置イタノデアリマ

○高橋(守)委員 青木委員ノ質問ニヤ

ハリ關聯致シマスガ、現在ノ産業組合製絲組合ノ中ニハ先程モ申上ゲタヤウナ意味合デ、可ナリ個人製絲ト同ジヤウナ大事業ヲ營ンデ居ル組合ガ相當アル、事實上デ私共ハ見テ居リマス、隨テ此第四十七條ノ四號「製絲業ニ從事スル者ノ福利増進ニ關スル施設」ト云フヤウナコトハ、相當ヤハリ重キヲ置カレルヤウニ私ハ希望シタイト思フノデアリマス、念ノ爲ニ伺ッテ置キマ

ス

○小平政府委員 御話ノヤウナ製絲組

合ガアリトスレバ、是ハ十分監督シテサウ云フコトガナイヤウニシナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、營業製絲ト同ジヤウナ福利増進ト云フ規定ヲ置クコトハ、私ハ産業組合ノ目的上、組合法デ拘束サレテ居リマスカラ、ドウモ法文ニ眞向カラ謳フノハ非常ナ疑問ニナル關係上除イタノデアリマスガ、現在ノ産業組合法デハ従業員ノ福利増進ト云フコトハ、全ク目的以外ニナッテ居リマスカラ、ソレデ除イタノデアリマシテ、御話ノヤウナ組合ニ付テハ、十分監督上デ矯正シナケレバナラヌト思ヒマス

○青木委員 五十條ノ「製絲業組合ハ

命令ヲ以テ規定スル者ヲ除クノ外」是ハドウデスカ

○小平政府委員 御答致シマスガ、是

ハ機械製絲ヲ主トシテ考ヘタノデアリマシテ、坐繰製絲ノヤウナモノハ或ル場合ニ於テハ除カナケレバナラヌ場合ガアルカモ知レナイト云フ心配上、斯ウ云フ規定ヲ置イタノデアリマス、是ハ實際ノ場合ニ臨ンデ見ナイト分リマセヌガ、サウ云フ意味デ除イタノデアリマス

マ

○小山委員長 御質問ガアリマセヌカ

ラ第三章ニ移リマス、即チ五十七條ヨリ六十八條ニ至ル各條ニ付テ……

○永田委員 六十六條ノ末尾ヲ御尋致

シマス、「評議員數人」其次ニ「前項ノ役員ハ議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨グズ」ト云フ條項ヲ設ケテアル、斯ウ云フ條項ヲ置クコトハ、私ハ實際ノ體驗上イカナイト思フテ居リマス、其一例ヲ申上ゲマス、之ニ依リマス、或ル府縣ニ於テハ養蠶同業組合聯合會ノ如キハ、組合長ヤ、會長ハ或ハ縣ノ知事デアルトカ、内務部長トカ、色々ノ者ヲ持つテ來テ之ニ据エルコトガ出來ルノデアリマス、是ハ私ハ非常ニ困ッタコトガアリマスカラ、斯ウ云フ條項ハ甚ダ面白カラヌト思フテ居リマスガ、當局ハドウ云フ考ヲ御持チニナッテ居リマスカ

○小平政府委員 御説ノヤウナ議論モ

度々聽イテ居リマス、隨テ實際定款ヲ認可スル場合ニ於テハ長官トカ、國家ノ監督ノ下ニ在ル官吏トカ、サウ云フ者ハ會長、副會長ニハナラセナイヤウニスル、實際ノ定款認可ノ場合ハ十分注意シタイト思フテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○永田委員 無論私ノ意味ハ知事ヤ内務部長バカリデハアリマセヌ、是ハ會員以外ノ者カラ農會長トカ地方ノ有志ナドヲ此處ヘ持ッテ來テ据エハセヌカト思フ、左様ナコトハ會ノ發達ノ上ニ面白カラヌ、或ハ暗闘ガ生ジテ却テ惡イト思フ、純然タル組合員ノ議員中カラ選任シタ方が最モ適切ト思ヒマス

ガ、是ハ如何ナル御考ヲ持ッテ居リマスカ

○小平政府委員 養蠶業ノ團體ノ役員ニナル人ハ或ハ議員中カラ選任シテハ事務ヲ執ッテ行ク上ニ於テ、或ハ不便ヲ感ズルコトガアルト思フノデ、萬一ノ場合ヲ慮ッテ、斯ウ云フ特例ヲ開イタノデ、御説ノ點モ十分考慮シテ監督ノ場合ニハ、御説ノヤウナ趣旨ガ通ルヤウニ致シタイト思ヒマス

○永田委員 斯カル事ハ餘リ御叮嚀過ギテ却テ弊害ガ生ズルカラ、アッサリト前項ノ役員ハ議員又ハ特別議員中ヨリ選任スト綺麗ニ御定メニナッダ方が宜イト思ヒマス、前ノ方ニハ斯ウ云フコトガアリマセヌガ、後ノ方ニハ斯ウ云フノガマダアリマスカラ、私ハ甚ダ面白カラヌト思ヒマス

○小平政府委員 是ハ總テ郡ノ方ニモ、議員ニアラザル者ヨリモ選舉出來ルヤウニナッテ居リマスカ、是ハ實際ノ場合ニ於テ動キガ取レヌ場合ガアルカ

ト私ハ心配シテ居リマス、例ヘバ養蠶業者ノミノ實行組合ガ出來ル場合ニ於キマシテ、實際養蠶業者ガ郡ノ區域ノ蠶絲業組合、或ハ郡以上ノ區域ニナリマスカ、其處ヘ來テ常務ヲ執ルコトガ出來ナイ場合ガアリハシナイカ、實際運用ノ場合ニ於テ困ルコトガアリハセヌカト云フコトカラ、斯ウ云フ例外ヲ認メタノデアリマシテ、是ハ定款認可ノ場合ニ十分注意シテ、御説ノヤウナ弊害ノナイヤウニ致シタイト思ッテ居リマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒマス

○山枏委員 第六十六條ニ評議員ハ數人トアリマスガ此評議員ハドノ位ノ數ニスル積リデアリマスカ

○小平政府委員 御答致シマスガ、是ハ地方ニ依ッテドウモ組合ニ依ッテ事情ガ違フノデアリマスカラ、今茲デ何名ト云フコトハ申シ難イノデアリマス、是ハ定款ニ依ッテ私ノ方デ監督ノ場合ニ十分無用ナル役員ハ置カヌヤウニスルト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○山枏委員 私ハ法律ノ用語ハ知リマセヌガ、數人ト云ヘバ十人以内ト俗ニ考ヘマスガ、法令上ハドウナリマスカ

○小平政府委員 必ズシモ十人以内トモ考ヘテ居リマセヌ、若干名ノ意味ト同ジデアリマス

○山枏委員 然ラバドウシテ若干名ニナッテ居ナイノデアリマスカ

○小平政府委員 色々ノ團體ヲ見マシテモ、大抵「數人」デヤッテ居リマスカラ……

○小山委員長 別ニ御質問ガアリマセヌカラ、第三章即チ六十九條ヨリ七十九條、尙ホ附則ヲ一括シテ御質疑ヲ願ヒマス

○永田委員 茲ニモ亦出テ來マシタカラ一ツ叩イテ置カナケレバナラヌト思ヒマス「前項ノ役員ハ議員及特別議員中ヨリ之ヲ選任ス但會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨ゲズ」トアル、今迄ハ或ハ殿様方ノ上リナドヲ持ッテ來テ居ラレタヤウデアリマスガ、ア、云フ人ハ地方ノ實情ニ接シテ居リマセヌ故ヲ以テ、斯ウ云フ條項ハ甚ダ面白クナイト考ヘマス、如何ナモノデアリマスカ

○小平政府委員 中央ノ團體ニナリマスト云フト、地方カラ選舉セラレテ來タ議員ト、政府ノ任命シタ議員ダケデハ、或ハ役員ガ選舉サレ難イ場合モアルモノト思フノデアリマシテ、サウ云フ心配カラ議員特別議員外ノ者カラ選舉シ得ルト云フ規定ヲ置イタノデアリマス、勿論ハ各當業者ガ各代表者ヲ出シテ選舉スルノデアリマスカラ、議員特別議員外ノ者カラ選舉スルコトガイカヌト云フコトニナレバ、其決定ニ依ッテ定款ガ出來ルコトニナルノデアリマス

○永田委員 是ハ私ハ實際ノ事ヲ申シマスガ、今マデ養蠶ガマダ幼稚ナ時代ニハ、殿様ノ上リナドヲ地方ニ持ッテ來タコトガアル、併シ今日蠶絲業ガ發達シタ際ニ、養老院ナドヲ設ケル必要ハアリマセヌカラ、是ハ本當ニ養蠶業ニ關係アル人ガ自ラ先頭ニ立ッテ指導スルヤウナ會長デナケレバ、却テ月給泥棒ニナルカラ、私ハ斯ウ云フ條項ハ絶對反對スル次第デアリマス

○青木委員 實際會長副會長ヲ他ノ者カラ選任スルト云フコトハ面白クナイト云フノデアリマスカラ、例外ノ場合ヲ想像シタノデアリマセウガ、此蠶絲業ノ團體ニ限ッテ今迄少シ大キナ團體ニナルト云フト、華族トカ何トカ云フ者ヲ擔イデ來テ、會長トカ總裁トカ云フ立テ方ヲシテ來タ、ソレニ因ハレタ規定デアルト思フ、是ガ抑モ蠶絲業ノ當業者ノ自覺ヲ促ス上ニ於テ非常ニ妨ゲニナル、斯ウ云フ者バカリヲ擔ギ込ンデ、何時モ飾リ物ニスルヤウナコトヲ爲スコトハ、此新シイ堂々タル所ノ組合統制ノ立法ニ當テハ、斯ウ云フコトハモウ革新ヲ致サナケレバナラヌモトダト思ヒマス、地方ノ場合ニ於テハ時ニ依ッテ統制上知事トカ何トカ云フ場合モアリマセウケレドモ、此中央會

○小平政府委員 養蠶業ノ團體ノ役員ニナル人ハ或ハ議員中カラ選任シテハ事務ヲ執ッテ行ク上ニ於テ、或ハ不便ヲ感ズルコトガアルト思フノデ、萬一ノ場合ヲ慮ッテ、斯ウ云フ特例ヲ開イタノデ、御説ノ點モ十分考慮シテ監督ノ場合ニハ、御説ノヤウナ趣旨ガ通ルヤウニ致シタイト思ヒマス

○山枏委員 第六十六條ニ評議員ハ數人トアリマスガ此評議員ハドノ位ノ數ニスル積リデアリマスカ

○小平政府委員 御答致シマスガ、是ハ地方ニ依ッテドウモ組合ニ依ッテ事情ガ違フノデアリマスカラ、今茲デ何名ト云フコトハ申シ難イノデアリマス、是ハ定款ニ依ッテ私ノ方デ監督ノ場合ニ十分無用ナル役員ハ置カヌヤウニスルト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○山枏委員 私ハ法律ノ用語ハ知リマセヌガ、數人ト云ヘバ十人以内ト俗ニ考ヘマスガ、法令上ハドウナリマスカ

○小平政府委員 必ズシモ十人以内トモ考ヘテ居リマセヌ、若干名ノ意味ト同ジデアリマス

○山枏委員 然ラバドウシテ若干名ニナッテ居ナイノデアリマスカ

○小平政府委員 色々ノ團體ヲ見マシテモ、大抵「數人」デヤッテ居リマスカラ……

○小山委員長 別ニ御質問ガアリマセヌカラ、第三章即チ六十九條ヨリ七十九條、尙ホ附則ヲ一括シテ御質疑ヲ願ヒマス

○永田委員 茲ニモ亦出テ來マシタカラ一ツ叩イテ置カナケレバナラヌト思ヒマス「前項ノ役員ハ議員及特別議員中ヨリ之ヲ選任ス但會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨ゲズ」トアル、今迄ハ或ハ殿様方ノ上リナドヲ持ッテ來テ居ラレタヤウデアリマスガ、ア、云フ人ハ地方ノ實情ニ接シテ居リマセヌ故ヲ以テ、斯ウ云フ條項ハ甚ダ面白クナイト考ヘマス、如何ナモノデアリマスカ

○小平政府委員 中央ノ團體ニナリマスト云フト、地方カラ選舉セラレテ來タ議員ト、政府ノ任命シタ議員ダケデハ、或ハ役員ガ選舉サレ難イ場合モアルモノト思フノデアリマシテ、サウ云フ心配カラ議員特別議員外ノ者カラ選舉シ得ルト云フ規定ヲ置イタノデアリマス、勿論ハ各當業者ガ各代表者ヲ出シテ選舉スルノデアリマスカラ、議員特別議員外ノ者カラ選舉スルコトガイカヌト云フコトニナレバ、其決定ニ依ッテ定款ガ出來ルコトニナルノデアリマス

○永田委員 是ハ私ハ實際ノ事ヲ申シマスガ、今マデ養蠶ガマダ幼稚ナ時代ニハ、殿様ノ上リナドヲ地方ニ持ッテ來タコトガアル、併シ今日蠶絲業ガ發達シタ際ニ、養老院ナドヲ設ケル必要ハアリマセヌカラ、是ハ本當ニ養蠶業ニ關係アル人ガ自ラ先頭ニ立ッテ指導スルヤウナ會長デナケレバ、却テ月給泥棒ニナルカラ、私ハ斯ウ云フ條項ハ絶對反對スル次第デアリマス

○青木委員 實際會長副會長ヲ他ノ者カラ選任スルト云フコトハ面白クナイト云フノデアリマスカラ、例外ノ場合ヲ想像シタノデアリマセウガ、此蠶絲業ノ團體ニ限ッテ今迄少シ大キナ團體ニナルト云フト、華族トカ何トカ云フ者ヲ擔イデ來テ、會長トカ總裁トカ云フ立テ方ヲシテ來タ、ソレニ因ハレタ規定デアルト思フ、是ガ抑モ蠶絲業ノ當業者ノ自覺ヲ促ス上ニ於テ非常ニ妨ゲニナル、斯ウ云フ者バカリヲ擔ギ込ンデ、何時モ飾リ物ニスルヤウナコトヲ爲スコトハ、此新シイ堂々タル所ノ組合統制ノ立法ニ當テハ、斯ウ云フコトハモウ革新ヲ致サナケレバナラヌモトダト思ヒマス、地方ノ場合ニ於テハ時ニ依ッテ統制上知事トカ何トカ云フ場合モアリマセウケレドモ、此中央會

○小平政府委員 必ズシモ十人以内トモ考ヘテ居リマセヌ、若干名ノ意味ト同ジデアリマス

○山枏委員 然ラバドウシテ若干名ニナッテ居ナイノデアリマスカ

○小平政府委員 色々ノ團體ヲ見マシテモ、大抵「數人」デヤッテ居リマスカラ……

○小山委員長 別ニ御質問ガアリマセヌカラ、第三章即チ六十九條ヨリ七十九條、尙ホ附則ヲ一括シテ御質疑ヲ願ヒマス

○永田委員 茲ニモ亦出テ來マシタカラ一ツ叩イテ置カナケレバナラヌト思ヒマス「前項ノ役員ハ議員及特別議員中ヨリ之ヲ選任ス但會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨ゲズ」トアル、今迄ハ或ハ殿様方ノ上リナドヲ持ッテ來テ居ラレタヤウデアリマスガ、ア、云フ人ハ地方ノ實情ニ接シテ居リマセヌ故ヲ以テ、斯ウ云フ條項ハ甚ダ面白クナイト考ヘマス、如何ナモノデアリマスカ

○小平政府委員 中央ノ團體ニナリマスト云フト、地方カラ選舉セラレテ來タ議員ト、政府ノ任命シタ議員ダケデハ、或ハ役員ガ選舉サレ難イ場合モアルモノト思フノデアリマシテ、サウ云フ心配カラ議員特別議員外ノ者カラ選舉シ得ルト云フ規定ヲ置イタノデアリマス、勿論ハ各當業者ガ各代表者ヲ出シテ選舉スルノデアリマスカラ、議員特別議員外ノ者カラ選舉スルコトガイカヌト云フコトニナレバ、其決定ニ依ッテ定款ガ出來ルコトニナルノデアリマス

○永田委員 是ハ私ハ實際ノ事ヲ申シマスガ、今マデ養蠶ガマダ幼稚ナ時代ニハ、殿様ノ上リナドヲ地方ニ持ッテ來タコトガアル、併シ今日蠶絲業ガ發達シタ際ニ、養老院ナドヲ設ケル必要ハアリマセヌカラ、是ハ本當ニ養蠶業ニ關係アル人ガ自ラ先頭ニ立ッテ指導スルヤウナ會長デナケレバ、却テ月給泥棒ニナルカラ、私ハ斯ウ云フ條項ハ絶對反對スル次第デアリマス

○青木委員 實際會長副會長ヲ他ノ者カラ選任スルト云フコトハ面白クナイト云フノデアリマスカラ、例外ノ場合ヲ想像シタノデアリマセウガ、此蠶絲業ノ團體ニ限ッテ今迄少シ大キナ團體ニナルト云フト、華族トカ何トカ云フ者ヲ擔イデ來テ、會長トカ總裁トカ云フ立テ方ヲシテ來タ、ソレニ因ハレタ規定デアルト思フ、是ガ抑モ蠶絲業ノ當業者ノ自覺ヲ促ス上ニ於テ非常ニ妨ゲニナル、斯ウ云フ者バカリヲ擔ギ込ンデ、何時モ飾リ物ニスルヤウナコトヲ爲スコトハ、此新シイ堂々タル所ノ組合統制ノ立法ニ當テハ、斯ウ云フコトハモウ革新ヲ致サナケレバナラヌモトダト思ヒマス、地方ノ場合ニ於テハ時ニ依ッテ統制上知事トカ何トカ云フ場合モアリマセウケレドモ、此中央會

○小平政府委員 養蠶業ノ團體ノ役員ニナル人ハ或ハ議員中カラ選任シテハ事務ヲ執ッテ行ク上ニ於テ、或ハ不便ヲ感ズルコトガアルト思フノデ、萬一ノ場合ヲ慮ッテ、斯ウ云フ特例ヲ開イタノデ、御説ノ點モ十分考慮シテ監督ノ場合ニハ、御説ノヤウナ趣旨ガ通ルヤウニ致シタイト思ヒマス

○山枏委員 第六十六條ニ評議員ハ數人トアリマスガ此評議員ハドノ位ノ數ニスル積リデアリマスカ

○小平政府委員 御答致シマスガ、是ハ地方ニ依ッテドウモ組合ニ依ッテ事情ガ違フノデアリマスカラ、今茲デ何名ト云フコトハ申シ難イノデアリマス、是ハ定款ニ依ッテ私ノ方デ監督ノ場合ニ十分無用ナル役員ハ置カヌヤウニスルト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○山枏委員 私ハ法律ノ用語ハ知リマセヌガ、數人ト云ヘバ十人以内ト俗ニ考ヘマスガ、法令上ハドウナリマスカ

○小平政府委員 必ズシモ十人以内トモ考ヘテ居リマセヌ、若干名ノ意味ト同ジデアリマス

○山枏委員 然ラバドウシテ若干名ニナッテ居ナイノデアリマスカ

○小平政府委員 色々ノ團體ヲ見マシテモ、大抵「數人」デヤッテ居リマスカラ……

○小山委員長 別ニ御質問ガアリマセヌカラ、第三章即チ六十九條ヨリ七十九條、尙ホ附則ヲ一括シテ御質疑ヲ願ヒマス

○永田委員 茲ニモ亦出テ來マシタカラ一ツ叩イテ置カナケレバナラヌト思ヒマス「前項ノ役員ハ議員及特別議員中ヨリ之ヲ選任ス但會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨ゲズ」トアル、今迄ハ或ハ殿様方ノ上リナドヲ持ッテ來テ居ラレタヤウデアリマスガ、ア、云フ人ハ地方ノ實情ニ接シテ居リマセヌ故ヲ以テ、斯ウ云フ條項ハ甚ダ面白クナイト考ヘマス、如何ナモノデアリマスカ

○小平政府委員 中央ノ團體ニナリマスト云フト、地方カラ選舉セラレテ來タ議員ト、政府ノ任命シタ議員ダケデハ、或ハ役員ガ選舉サレ難イ場合モアルモノト思フノデアリマシテ、サウ云フ心配カラ議員特別議員外ノ者カラ選舉シ得ルト云フ規定ヲ置イタノデアリマス、勿論ハ各當業者ガ各代表者ヲ出シテ選舉スルノデアリマスカラ、議員特別議員外ノ者カラ選舉スルコトガイカヌト云フコトニナレバ、其決定ニ依ッテ定款ガ出來ルコトニナルノデアリマス

○永田委員 是ハ私ハ實際ノ事ヲ申シマスガ、今マデ養蠶ガマダ幼稚ナ時代ニハ、殿様ノ上リナドヲ地方ニ持ッテ來タコトガアル、併シ今日蠶絲業ガ發達シタ際ニ、養老院ナドヲ設ケル必要ハアリマセヌカラ、是ハ本當ニ養蠶業ニ關係アル人ガ自ラ先頭ニ立ッテ指導スルヤウナ會長デナケレバ、却テ月給泥棒ニナルカラ、私ハ斯ウ云フ條項ハ絶對反對スル次第デアリマス

○青木委員 實際會長副會長ヲ他ノ者カラ選任スルト云フコトハ面白クナイト云フノデアリマスカラ、例外ノ場合ヲ想像シタノデアリマセウガ、此蠶絲業ノ團體ニ限ッテ今迄少シ大キナ團體ニナルト云フト、華族トカ何トカ云フ者ヲ擔イデ來テ、會長トカ總裁トカ云フ立テ方ヲシテ來タ、ソレニ因ハレタ規定デアルト思フ、是ガ抑モ蠶絲業ノ當業者ノ自覺ヲ促ス上ニ於テ非常ニ妨ゲニナル、斯ウ云フ者バカリヲ擔ギ込ンデ、何時モ飾リ物ニスルヤウナコトヲ爲スコトハ、此新シイ堂々タル所ノ組合統制ノ立法ニ當テハ、斯ウ云フコトハモウ革新ヲ致サナケレバナラヌモトダト思ヒマス、地方ノ場合ニ於テハ時ニ依ッテ統制上知事トカ何トカ云フ場合モアリマセウケレドモ、此中央會

○小平政府委員 必ズシモ十人以内トモ考ヘテ居リマセヌ、若干名ノ意味ト同ジデアリマス

○山枏委員 然ラバドウシテ若干名ニナッテ居ナイノデアリマスカ

○小平政府委員 色々ノ團體ヲ見マシテモ、大抵「數人」デヤッテ居リマスカラ……

○小山委員長 別ニ御質問ガアリマセヌカラ、第三章即チ六十九條ヨリ七十九條、尙ホ附則ヲ一括シテ御質疑ヲ願ヒマス

○永田委員 茲ニモ亦出テ來マシタカラ一ツ叩イテ置カナケレバナラヌト思ヒマス「前項ノ役員ハ議員及特別議員中ヨリ之ヲ選任ス但會長及副會長ハ其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨ゲズ」トアル、今迄ハ或ハ殿様方ノ上リナドヲ持ッテ來テ居ラレタヤウデアリマスガ、ア、云フ人ハ地方ノ實情ニ接シテ居リマセヌ故ヲ以テ、斯ウ云フ條項ハ甚ダ面白クナイト考ヘマス、如何ナモノデアリマスカ

○小平政府委員 中央ノ團體ニナリマスト云フト、地方カラ選舉セラレテ來タ議員ト、政府ノ任命シタ議員ダケデハ、或ハ役員ガ選舉サレ難イ場合モアルモノト思フノデアリマシテ、サウ云フ心配カラ議員特別議員外ノ者カラ選舉シ得ルト云フ規定ヲ置イタノデアリマス、勿論ハ各當業者ガ各代表者ヲ出シテ選舉スルノデアリマスカラ、議員特別議員外ノ者カラ選舉スルコトガイカヌト云フコトニナレバ、其決定ニ依ッテ定款ガ出來ルコトニナルノデアリマス

○永田委員 是ハ私ハ實際ノ事ヲ申シマスガ、今マデ養蠶ガマダ幼稚ナ時代ニハ、殿様ノ上リナドヲ地方ニ持ッテ來タコトガアル、併シ今日蠶絲業ガ發達シタ際ニ、養老院ナドヲ設ケル必要ハアリマセヌカラ、是ハ本當ニ養蠶業ニ關係アル人ガ自ラ先頭ニ立ッテ指導スルヤウナ會長デナケレバ、却テ月給泥棒ニナルカラ、私ハ斯ウ云フ條項ハ絶對反對スル次第デアリマス

○青木委員 實際會長副會長ヲ他ノ者カラ選任スルト云フコトハ面白クナイト云フノデアリマスカラ、例外ノ場合ヲ想像シタノデアリマセウガ、此蠶絲業ノ團體ニ限ッテ今迄少シ大キナ團體ニナルト云フト、華族トカ何トカ云フ者ヲ擔イデ來テ、會長トカ總裁トカ云フ立テ方ヲシテ來タ、ソレニ因ハレタ規定デアルト思フ、是ガ抑モ蠶絲業ノ當業者ノ自覺ヲ促ス上ニ於テ非常ニ妨ゲニナル、斯ウ云フ者バカリヲ擔ギ込ンデ、何時モ飾リ物ニスルヤウナコトヲ爲スコトハ、此新シイ堂々タル所ノ組合統制ノ立法ニ當テハ、斯ウ云フコトハモウ革新ヲ致サナケレバナラヌモトダト思ヒマス、地方ノ場合ニ於テハ時ニ依ッテ統制上知事トカ何トカ云フ場合モアリマセウケレドモ、此中央會

ノ組織ニ至リマシテハ、此餘地ナカラ

ス

機關ノ方ハ、可ナリ各々ノ人ガ強イ意

或ハ華族様上リカ、或ハ學者ニシテ

シムルヤウニシテ、サウシテ本當ニ眞

〇青木委員 今ノ御説明ハ大變粉飾シ

見ヲ出シ得ル議員ガ多イト思フノデア

モ、實務ニ遠ザカッテ居ル所ノ學者ト

劍ナル會員ノ投票ニ依ッテ、自己ノ信任

テ來ル人ハ豫想セラレテ居ル、大抵二

リマス、隨テ議員ノ數ガ多イトシテモ、

云フヤウナ者ノミヲ、特別議員ニ舉ゲ

スル所ノ會長、副會長ヲ選ンデ、其統

テ來ル人ハ豫想セラレテ居ル、大抵二

リマス、隨テ議員ノ數ガ多イトシテモ、

云フヤウナ者ノミヲ、特別議員ニ舉ゲ

制ノ下ニ立ツト云フヤウニ致サナカッ

識カラ言ッテ、サウ云フ者ヲ此處ヘ持ッ

ヘラレナイノデアリマス、隨テ今度ノ

方針ヲ持ッテ居ラレルカ、一寸何ッテ置

タナラバ、何時マデ經ッテモ蠶絲業ハ華

中央會ノ創立總會ニ於キマシテハ、各

地方カラシテ相當ニ十分各地方ノ意見

キマス

族様ノ喰物ノヤウニ言ハレル、此點ハ

知レナイ、是ハ豫想出來ナイノデアリ

マスガ、唯各業者ニ關係ノナイ人ガ、

ノ發達出來ル人ヲ任命シタイと思フノ

永田君ト同感デ、國ノ運命ヲ擔ッテ居ル

蠶絲業ニ理解モ何モナイ人ヲ、拜ミ奉ッ

テ賴ンデ來ルト云フヤウナ、今マデノ

デアリマス、其點ニ付キマシテハ、從來

蠶絲業家ノ恥デアルト思フ、此點政府

ニ於テ何等カ考慮ノ餘地ガアルカドウ

カ、ハッキリシタ所ヲ御聽キ致シタイ

ノ蠶絲業同業組合中央會デハ、三分ノ

〇小平政府委員 會長、副會長ナドヲ

仕來リガドウモイカナイと思フノデ

ス、併シ或ハ各團體ノ者ノ聯合組織デ

ス、併シ或ハ各團體ノ者ノ聯合組織デ

議員以外ノ者カラ選任スルト云フ趣旨

ス、併シ或ハ各團體ノ者ノ聯合組織デ

ス、併シ或ハ各團體ノ者ノ聯合組織デ

ス、併シ或ハ各團體ノ者ノ聯合組織デ

ハ、ヤハリ議員及ビ特別議員カラ選任

ス、併シ或ハ各團體ノ者ノ聯合組織デ

ス、併シ或ハ各團體ノ者ノ聯合組織デ

ス、併シ或ハ各團體ノ者ノ聯合組織デ

スルト云フ趣旨デアリマスガ、併シ已

ムヲ得ナイ場合ニハ、其他ノ者ヨリモ

感情相容レザル所ガアッテ、選ブノニ已

ムヲ得ナイト云フヤウナ御事情デア

選任スルト妨グズト云フ規定ハ、

ムヲ得ナイト云フヤウナ御事情デア

ムヲ得ナイト云フヤウナ御事情デア

ムヲ得ナイト云フヤウナ御事情デア

是ハ法令上ドウシテモ置イテ置カヌ

ナラバ、又過度的ノ規定トシテ已ムヲ

得ナイカモ知レマセヌケレドモ、何レ

得ナイカモ知レマセヌケレドモ、何レ

○青木委員

兎角斯ウ云フ團體ニハ、

ラ御答ヲ願フモ宜イ

○小平政府委員

御説ノ點ハ、十分特

○青木委員 附則ニ「本法施行ノ期日

實際政治ニ携ッテ居ル所ノ者ヲ嫌フヤ
ウナ傾向ガ、濃厚ニナッテ來テ居ルノデ
アリマスガ、是ガ時代錯誤デアッテ、實
際政治ニ携ッテ居ル專門家ナドニハ、斯
ウ云フ團體ニ於テ特別議員ノ資格ヲ與
ヘテ、サウシテ生キタ活動ヲ十分ナサ
シムルヤウニシテヤラナケレバナラ
ヌ、ソレヲ黨派ニ在ル者ハイケナイト
カ、何トカト云フ風ニシテ、貴族院議員
ナラ宜シイ、衆議院議員デハイカスト
云フヤウナ、此因ハレタ官僚的ノ此考
デ以テ、斯ウ云フ場合ニハ往々誤ッタ人
選ヲ從來致シテ來テ居ル、黨派的ニ一
方ノ黨派カラ取ル、一方ノ黨派カラ取
ラヌト云フノハ宜シクナイケレドモ、
黨派代表ト云フモノモ、按分比例トカ
何トカ言ハナイデ、一ツ黨派カラ一人
ナリ、二人ナリト云フ政黨ノ者ヲ、政黨
ニ籍ヲ有スル所ノ議員デモ、遠慮ナク
取ッテ置イタ方ガ、却テ蠶絲業ノ爲ニ宜
シイノダ、ソレヲ因ハレタル此官僚的
ノ思想デ以テ、黨派ニ關係ノ人ハ困ル
ト云フヤウナ、其觀念ヲ打捨テナケレ
バナラヌト思フ、私ハ斯ウ云フ場合ニ
於テ、黨派人ヲ排斥スルト云フヤウナ
觀念ハ捨テラレテ、黨派代表ノ人々モ
加ヘル方ガ、最モ進歩シタル所ノ組織
デアルト思フノデスガ、此處ニハ參與
官モオイデバアリマスカラ、參與官カ

別議員ヲ任命スル場合ニ於テ、考慮致
シタイト考ヘテ居リマス

云フコトニ付テハ、非常ニ同情ヲ持ッテ
居ラル、ノデアリマシテ、此方モヤハ
リ無理ニ會長ニ御願シテ居ルガ、月給
ドコロノ話デハナイ、一文ノ報酬モ拂
ッテ居リマセヌ、斯様ナ次第飾リ物ニ
推戴シテ置クナドト云フコトハ斷ジテ
アリマセヌ、眞ニ蠶絲業ノ爲ニ牧野子
爵ナリ、藤村男爵ガ、長イ間御盡シニ
ナッテ居ラレルコトヲ 此場合特ニ御話
ヲ致シテ置キタイト存ジマス

ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマス
ガ、此施行期日ハ大體ノ見當ハ如何デ
スカ

○加藤委員

只今青木君、永田君カラ、

○青木委員 敢テ加藤君ノ御發言ニ對

○永田委員 先刻私ガ過激ナコトヲ申

○小山委員長 蠶絲業組合法案ニ對ス

只今青木君、永田君カラ、

○青木委員 敢テ加藤君ノ御發言ニ對

○永田委員 先刻私ガ過激ナコトヲ申

○小山委員長 蠶絲業組合法案ニ對ス

只今青木君、永田君カラ、

○青木委員 敢テ加藤君ノ御發言ニ對

○永田委員 先刻私ガ過激ナコトヲ申

○小山委員長 蠶絲業組合法案ニ對ス

只今青木君、永田君カラ、

○青木委員 敢テ加藤君ノ御發言ニ對

○永田委員 先刻私ガ過激ナコトヲ申

○小山委員長 蠶絲業組合法案ニ對ス

只今青木君、永田君カラ、

○青木委員 敢テ加藤君ノ御發言ニ對

○永田委員 先刻私ガ過激ナコトヲ申

○小山委員長 蠶絲業組合法案ニ對ス

只今青木君、永田君カラ、

○青木委員 敢テ加藤君ノ御發言ニ對

○永田委員 先刻私ガ過激ナコトヲ申

○小山委員長 蠶絲業組合法案ニ對ス

只今青木君、永田君カラ、

○青木委員 敢テ加藤君ノ御發言ニ對

○永田委員 先刻私ガ過激ナコトヲ申

○小山委員長 蠶絲業組合法案ニ對ス

只今青木君、永田君カラ、

○青木委員 敢テ加藤君ノ御發言ニ對

○永田委員 先刻私ガ過激ナコトヲ申

○小山委員長 蠶絲業組合法案ニ對ス

只今青木君、永田君カラ、

○青木委員 敢テ加藤君ノ御發言ニ對

○永田委員 先刻私ガ過激ナコトヲ申

○小山委員長 蠶絲業組合法案ニ對ス

「質疑ナシ」ト呼フ者アリ」

○高橋(守)委員 當委員會ハ本日ハ此程度デ打切リマシテ、サウシテ次回ハ直チニ討論ニ移ッテ採決ヲナサルヤウニ希望シマス

○青木委員 委員外ノ高橋君ガ質問ヲ希望シテ居ルノデスガ、マダ高橋君ハ來テ居リマセヌカラ已ムヲ得マセヌガ、若シ簡單デアルト云フコトデアッタナラバ、採決前ニ御許ヲ願ヒタイト思ヒマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○小山委員長 御諮リヲ致シマス、蠶絲業法中改正法律案竝ニ蠶絲業組合法案ニ對スル質疑ハ、本日ヲ以テ打切リトシ、次回ニ於テ委員外ノ高橋君ノ質問ガ簡單デアレバ、討論ニ入ル前ニ之ヲ許スト云フコトニ御了承ヲ願ヒマス、之ヲ以テ散會ヲ致シマス、次回ノ會議ハ公報ヲ以テ申上ゲマス

午後七時散會

昭和六年三月十六日印刷

昭和六年三月十七日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社